



Gスクリーン 袖パネル

このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためにも、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。

■本書の見かた

この取付説明書では、以下のような記号、記載、アイコンを使用しています。

■安全に関する記号と説明



警告

・取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。



注意

・取付けを誤った場合、使用者などが中程度の損傷・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

■情報に関する記号と説明

施工上のお願い

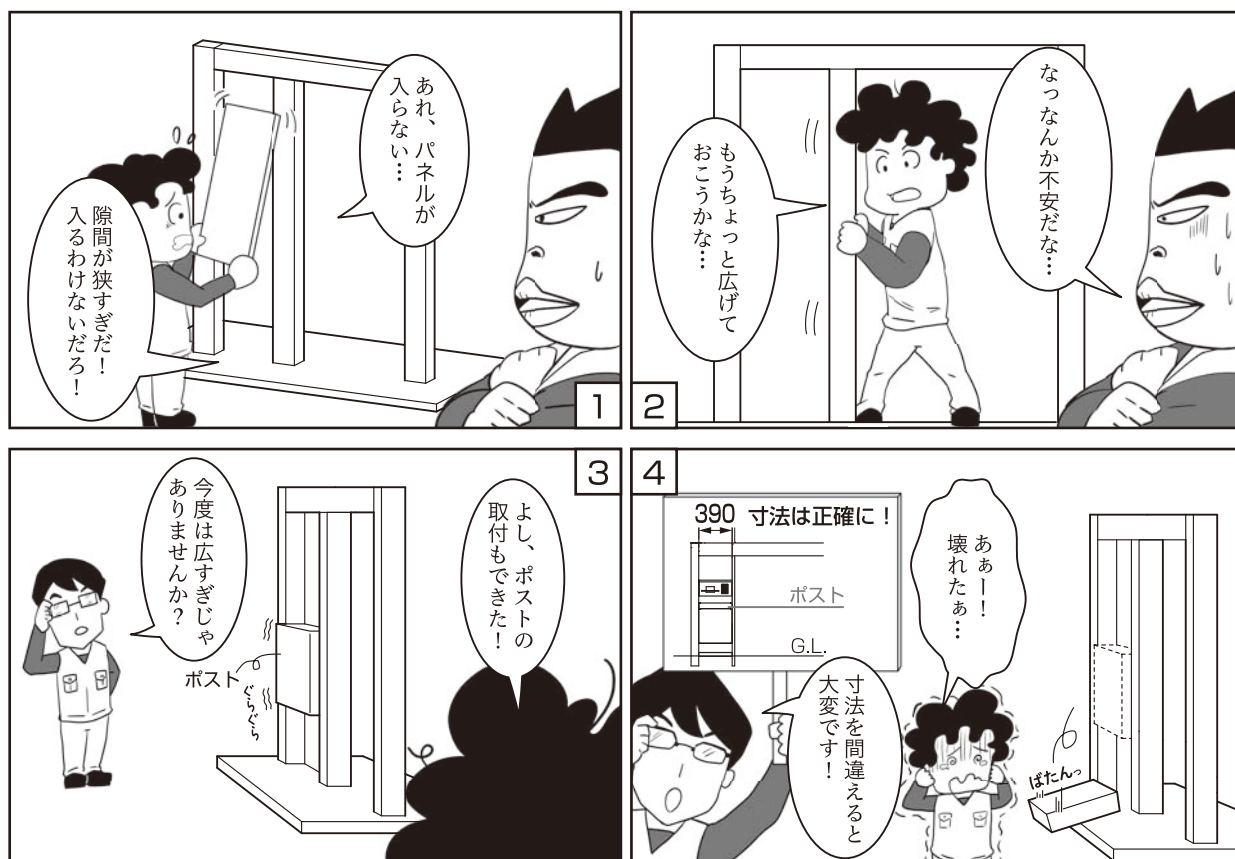
・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

■ネジ等の締結部品の記号

ネジやナット等の締結部品を記号で示してます。(例：1-1、1-2、2-3等)

締結部品の種類は「**■梱包明細表**」を参照してください。

□特に注意していただきたい施工



施工上の注意	3	6 井桁タイプの施工方法	20
施工の前に	3	6-1 施工の流れ	20
施工上のご注意	3	6-2 事前準備	21
基礎工事について	4	6-3 柱の建込み	23
電気配線工事について	4	6-4 柱とフレームの取付け	24
施工の後に	4	6-5 袖パネル(井桁タイプ)の取付け	25
チェックリスト	5	6-6 柱と袖パネルの埋込、水抜き穴の加工	27
梱包明細図	5	6-7 ポスト(面付け)の取付け	27
1 袖パネルタイプと各部名称	7	7 ボードタイプの施工方法	28
1-1 袖パネルタイプ	7	7-1 施工の流れ	28
1-2 各部名称	8	7-2 事前準備	29
2 基本寸法と基礎工事	9	7-3 柱の建込み	32
2-1 基本寸法	9	7-4 柱とフレームの取付け	33
2-2 基礎工事	10	7-5 部材の取付け	34
3 照明/スマート宅配ポスト配線システム	11	7-6 ポスト(埋込み)の取付け	35
4 配線工事	12	7-7 中骨の取付け	38
4-1 AC100V配線の場合	12	7-8 ボードの取付け	40
4-2 DC12V配線の場合	12	7-9 柱と袖パネルの埋込、水抜き穴の加工	41
5 格子タイプの施工方法	13	7-10 ポスト(面付け)の取付け	41
5-1 施工の流れ	13	8 仕上げ	42
5-2 事前準備	14	8-1 柱キャップ、フレームカバーの取付け、シーリング	42
5-3 柱の建込み	16		
5-4 柱とフレームの取付け	17		
5-5 袖パネル(格子タイプ)の取付け	18		
5-6 柱と袖パネルの埋込、水抜き穴の加工	19		
5-7 ポスト(面付け)の取付け	19		

施工の前に

⚠ 注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。

施工上のお願い

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工場所に寸法的に正しく納まるか事前に必ず確認をしてください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- ポストを設置する場合、ポストの取出口蓋や電装ボックスの外扉の養生用のビニール袋は、キズ防止のため施工完了まで外さないでください。
- オプションの表札用ベースを設置する場合は、「Gスクリーン 袖パネル 表札パネル 取付説明書(EXM-050)」も合わせて参照してください。
- オプションのリースフックを設置する場合は、「Gスクリーン 袖パネル リースフック 取付説明書(EXM-051)」も合わせて参照してください。
- スマート宅配ポストの設定については、「スマート宅配ポスト 取扱説明書(UA229)」を参照してください。
- 使用するシーリング剤は、以下のアルコール系シーリング剤を現場で手配してください。
 - ・信越化学工業(株)「シーラント72」
 - ・GE東芝シリコン(株)「トスシール380」
 - ・ダウ・東レ(株)「ES960」

施工上のご注意

⚠ 注意



- 納まり図を確認し、本体高さが指定寸法以下になるようにしてください。
- ボルト、ネジ、ナットは当社指定品を指定本数使用し、下記締付トルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。強度低下などの原因になります。

〈推奨トルク〉

※φ4ネジ、ナット:2.5N・m±0.5N・m
(25±5kgf・cm)

※φ5ネジ:3.0N・m±0.5N・m
(30±5kgf・cm)



- アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造や、指定箇所以外の穴加工はしないでください。
- 取付説明書の指示に従って、柱と格子に水抜き穴をあけてください。内部の水が凍結膨張し、破損するおそれがあります。

施工上のご注意

つづき

施工上のお願い

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
- ・作業服および保護具（保護帽、安全带、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
- ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
- ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
- ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
- ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
- ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- ポストを設置する場合は、ポスト、電装ボックスにキズが付かないよう養生などをし施工を行ってください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- Gフレームの基本アーチ以外の施工に関しては、「Gフレーム 取付説明書(E248)」を参照してください。

基礎工事について

⚠ 注意

- 基礎石は指定寸法以上のものを使用し、確実に設置してください。強度低下の原因になります。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- 養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。

施工上のお願い

- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、施工中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。

電気配線工事について

⚠ 注意



- AC100Vの電線の埋設工事、配線作業に関しては、電気工事店の有資格者に依頼してください。故障や漏電した場合に感電するおそれがあります。
- LED照明（ダウンライト・表札灯）はDC12V以外では使用しないでください。過電圧を加えると火災・感電の原因になります。

施工の後に

施工上のお願い

- 取扱説明書は施主様にお渡しください。

チェックリスト

※下記項目は重要事項ですので必ず点検してください。

●ネジ締め

No.	ページ	チェック内容	
1	15	スリーブは【9b】φ5×70 ナベドリルネジを使用して推奨トルクで取付け、ゆるみがないことを確認しましたか。	☐
	22		
	31		
2	15	袖パネル端部柱取付金具は【1a】φ5×30 ナベタッピン 2 種を使用して推奨トルクで取付け、ゆるみがないことを確認しましたか。	☐
	22		
	31		
3	17	フレーム取付金具は【9a】φ5×16 ナベドリルネジを使用して推奨トルクで取付け、ゆるみがないことを確認しましたか。	☐
	24		
	33		
4	17	袖パネル端部柱取付金具は【1b】φ5×16 ナベドリルネジを使用して推奨トルクで取付け、ゆるみがないことを確認しましたか。	☐
	24		
	33		
5	25	井桁タイプの横材固定金具は【3b】φ4×13 ナベドリルネジを使用して推奨トルクで取付け、ゆるみがないことを確認しましたか。	☐
6	26	井桁タイプの横材と縦材は【3a】φ4×12 ナベタッピン 3 種と【3b】φ4×13 ナベドリルネジを使用して推奨トルクで取付け、ゆるみがないことを確認しましたか。	☐
7	34	ボードタイプの縦部材、巾木、中骨は【4a】φ4×13 ナベドリルネジを使用して推奨トルクで取付け、ゆるみがないことを確認しましたか。	☐
	35		
	36		

●水抜き穴

No.	ページ	チェック内容	
1	16	柱、袖パネル端部柱の水抜き穴があいていることを確認しましたか。	☐
	23		
	32		
2	19	格子タイプの袖パネル、井桁タイプの縦材、ボードタイプの巾木の水抜き穴があいていることを確認しましたか。	☐
	27		
	39		

●配線

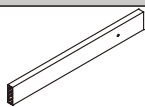
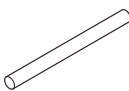
No.	ページ	チェック内容	
1	36	配線用の穴加工部は、ヤスリ等でバリ取りを行いましたか。	☐

チェックリスト

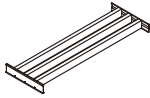
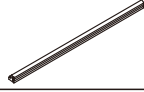
梱包明細表

梱包明細表

【1】袖パネル端部柱セット

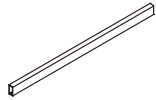
名 称	略 図	員 数	
		H24	H29
袖パネル端部柱		1	1
袖パネル端部柱取付け金具		1	1
アンカー棒(φ8×200)		1	1
【1a】φ5×30ナベタッピンネジ2種		2	2
【1b】φ5×16ナベドリルネジ		2	2
取付説明書 Gスクリーン 袖パネル (EXM049)	—	1	1

【2】袖パネル格子タイプセット

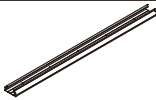
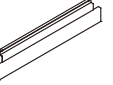
名 称	略 図	員 数	
		H24	H29
格子タイプ 本体		1	1
格子タイプ枠上後付ビート		1	1
ネジスペーサー(4×20)		2	2
【2a】φ4×30 ナベドリルネジ		2	2
【2b】φ4×25ナベタッピンネジ3種		4	4

梱包明細表

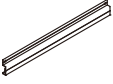
【3】 袖パネル井桁タイプセット

名 称	略 図	員 数	
		H24	H29
縦材		2	2
横材		3	3
横材カバー		3	3
横材固定金具		6	6
【3a】φ4×12ナベタッピンネジ3種		6	6
【3b】φ4×13ナベドリルネジ		12	12
【3c】φ4×25ナベタッピンネジ3種		4	4

【4】 袖パネルボードタイプ部材セット

名 称	略 図	員 数	
		H24	H29
縦部材		2	2
中骨		6	6
巾木		2	2
【4a】φ4×13ナベドリルネジ		36	40
【4b】φ4×25ナベタッピンネジ3種		4	4

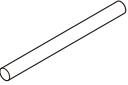
【5】 袖パネルボードタイプ中骨セット

名 称	略 図	員 数
中骨		2
【5a】φ4×13ナベドリルネジ		4

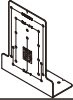
【6】 袖パネルボードタイプパネルセット

名 称	略 図	員 数	
		H24	H29
ボード 基本用		2	2
ボード 調整用		2	2

【7】 柱セット

名 称	略 図	員 数	
		90角柱	150角柱
柱		1	1
アンカー棒		1	1

【8】 フレーム施工キットA

名 称	略 図	員 数
フレーム取付穴位置治具		1
取付説明書 Gスクリーン 袖パネル 〈EXM049〉	—	1
取扱説明書 Gフレーム 〈UE067〉	—	1

【9】 フレーム標準90×150セット

名 称	略 図	員 数							
		標準 W10	標準 W15	標準 W20	標準 W30	標準 W40	標準 W50	標準 W55	標準 W60
フレーム 標準 90×150		1	1	1	1	1	1	1	1
フレーム 標準 スリーブ		2	2	2	2	2	2	2	2
フレームカバー 標準 90×150		1	1	1	1	1	2	2	2
フレーム取付金具 90×150		2	2	2	2	2	2	2	2
【9a】φ5×16 ナベドリルネジ		12	12	12	12	12	12	12	12
【9b】φ5×70 ナベドリルネジ		10	10	10	10	10	10	10	10
【9c】φ6×120 六角コーチスクリュー		2	2	2	2	2	2	—	—

【10】 柱キャップセット

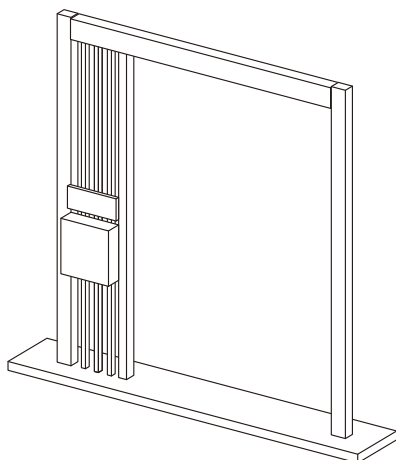
名 称	略 図	員 数
柱キャップ		1

1 袖パネルタイプと各部名称

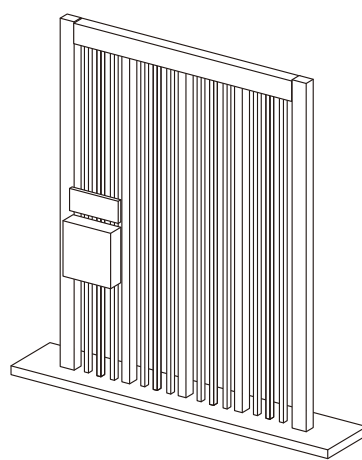
1-1 袖パネルタイプ

格子タイプの場合

■アーチファンクション

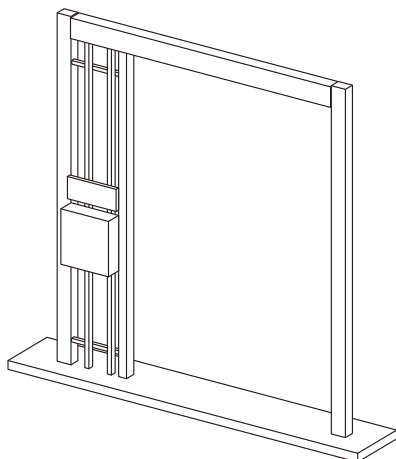


■パネルファンクション※図は4スパンの場合を示します。

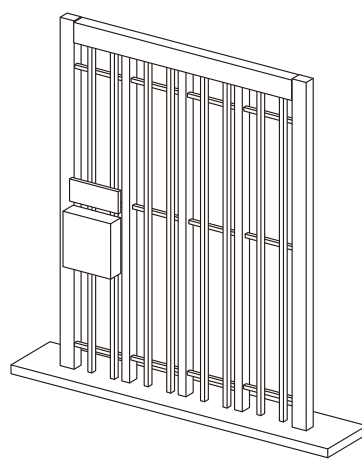


井桁タイプの場合

■アーチファンクション

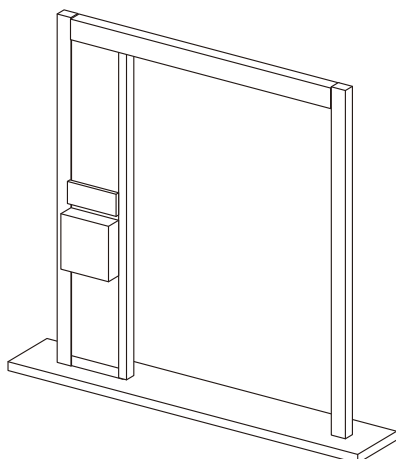


■パネルファンクション※図は4スパンの場合を示します。

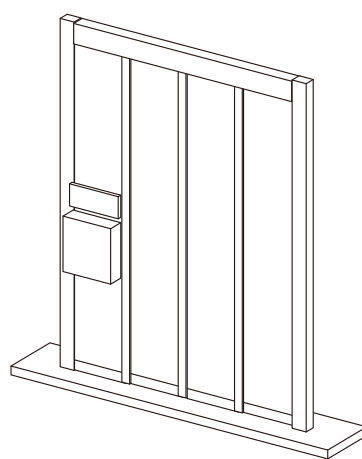


ボードタイプの場合

■アーチファンクション

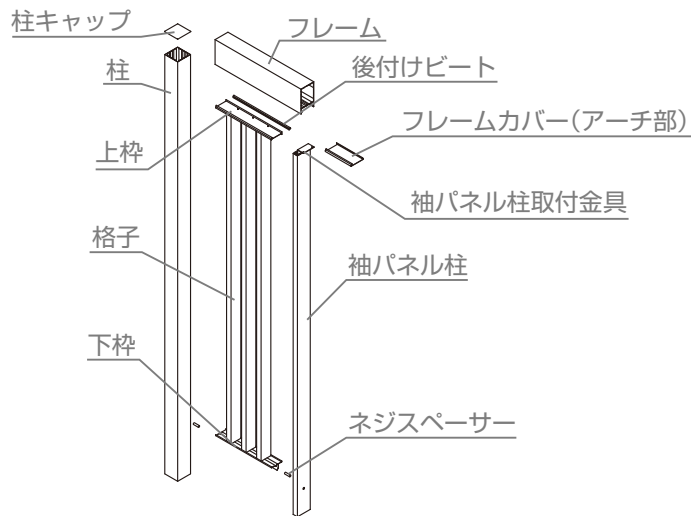


■パネルファンクション※図は4スパンの場合を示します。

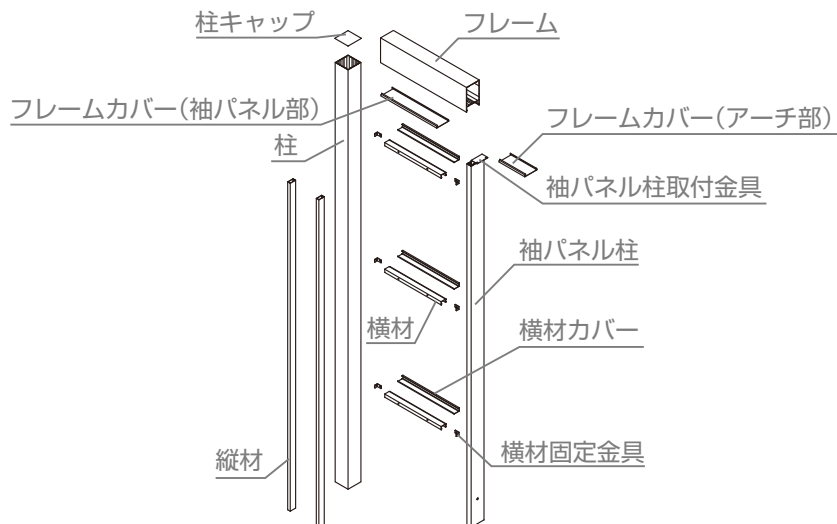


1-2 各部名称

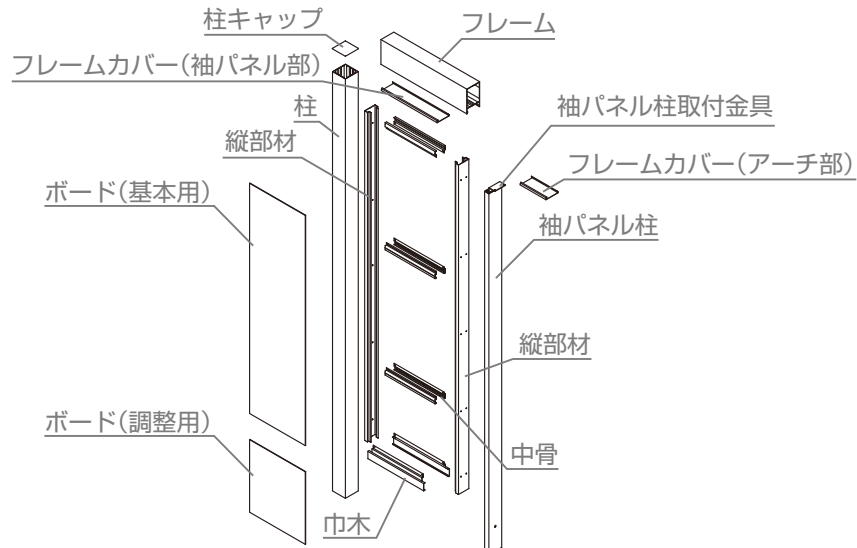
格子タイプの場合



井桁タイプの場合



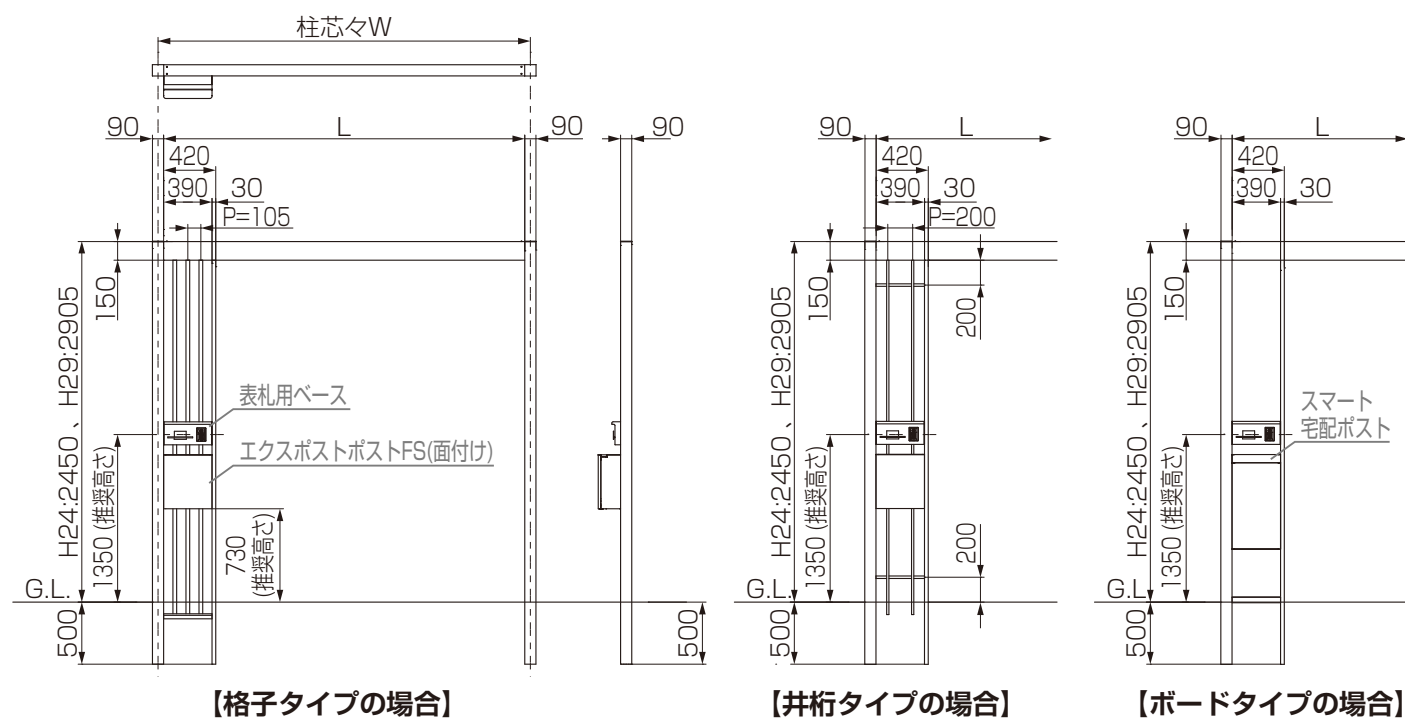
ボードタイプの場合



2 基本寸法と基礎工事

2-1 基本寸法

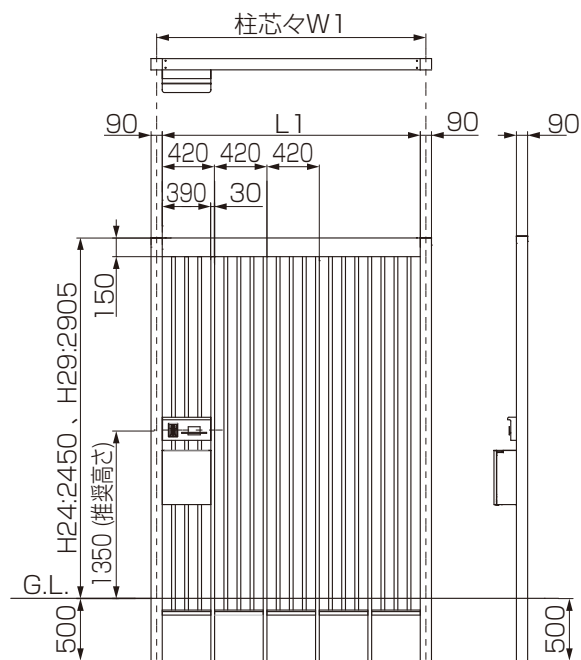
■アーチファンクション



	W10	W15	W20	W30	W40	W50	W55	W60
W	1000	1500	2000	3000	4000	5000	5500	6000
L	910	1410	1910	2910	3910	4910	5410	5910

■パネルファンクション

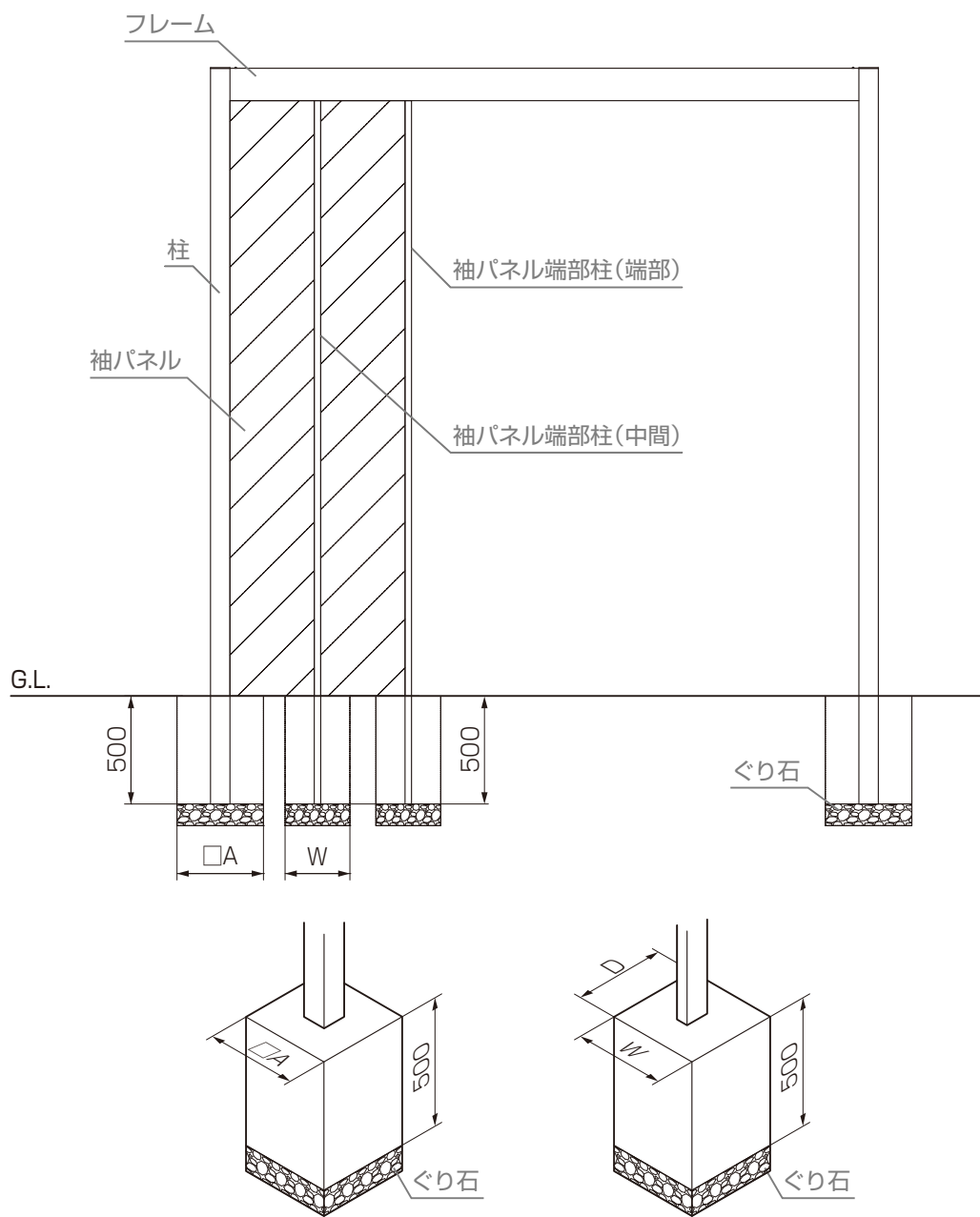
※図は格子タイプの場合を示します。他タイプのパネルの場合も同様の寸法です。



	1スパン	2スパン	3スパン	4スパン	5スパン	6スパン	7スパン
W1	480	900	1320	1740	2160	2580	3000
L1	390	810	1230	1650	2070	2490	2910
	8スパン	9スパン	10スパン	11スパン	12スパン	13スパン	14スパン
W1	3420	3840	4260	4680	5100	5520	5940
L1	3330	3750	4170	4590	5010	5430	5850

2-2 基礎工事

※図は2スパンの場合を示します。



【柱】

【袖パネル端部柱】

			H24			H29		
			格子	井桁	ボード	格子	井桁	ボード
柱	□A	※Ⅰ	350			400		
		※Ⅱ	400			450		
袖パネル端部柱 (端部)	W		300	300	400	300	300	400
	D		300	300	400	300	300	400
袖パネル端部柱 (中間)	W		300	300	400	300	300	400
	D		300	300	400	300	300	650

※Ⅰ：フレーム長さが2910以下の場合

※Ⅱ：フレーム長さが2911以上の場合

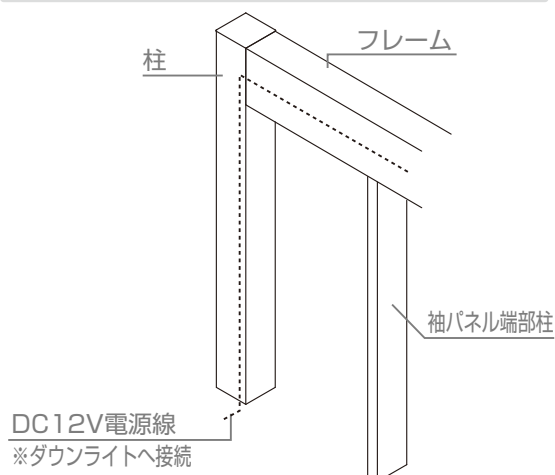
施工上のお願い

●柱と袖パネル端部柱など、隣接する基礎は連続基礎で施工してください。

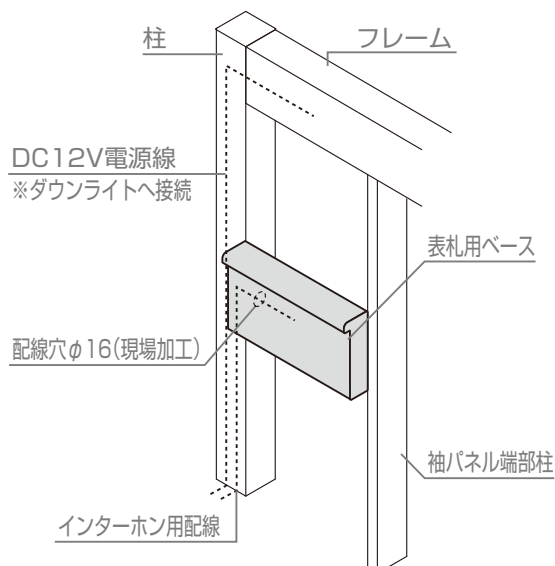
3 照明/スマート宅配ポスト配線システム図

※本記載は配線の一例です。照明の配置プランを十分に確認した上でトランス電源、配線などの選択および現場工事(穴加工・配線・結線)を行ってください。

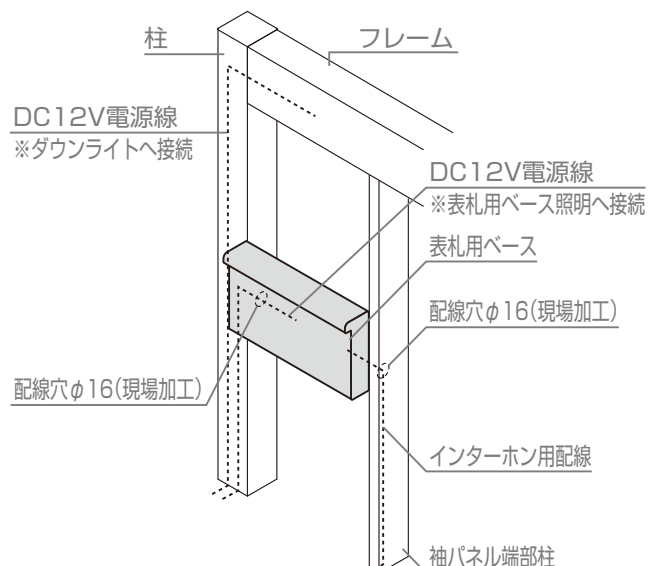
▼ ダウンライトのみを取付ける場合 ▼



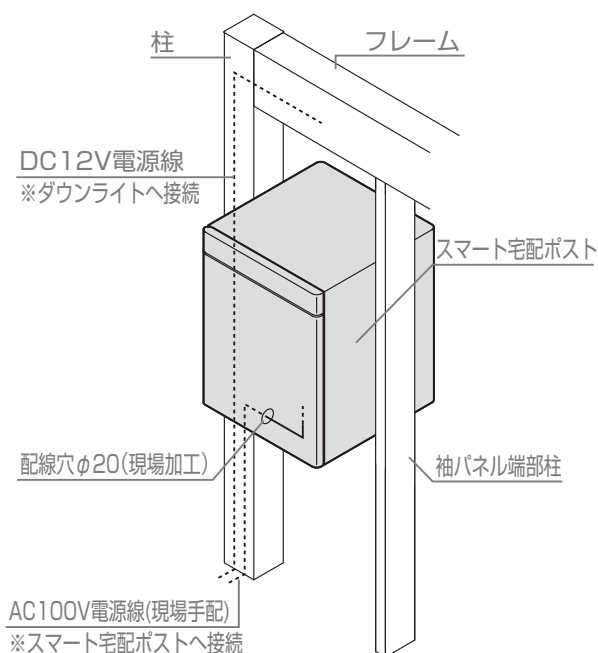
▼ ダウンライトと表札用ベース(照明無し)を取付ける場合 ▼



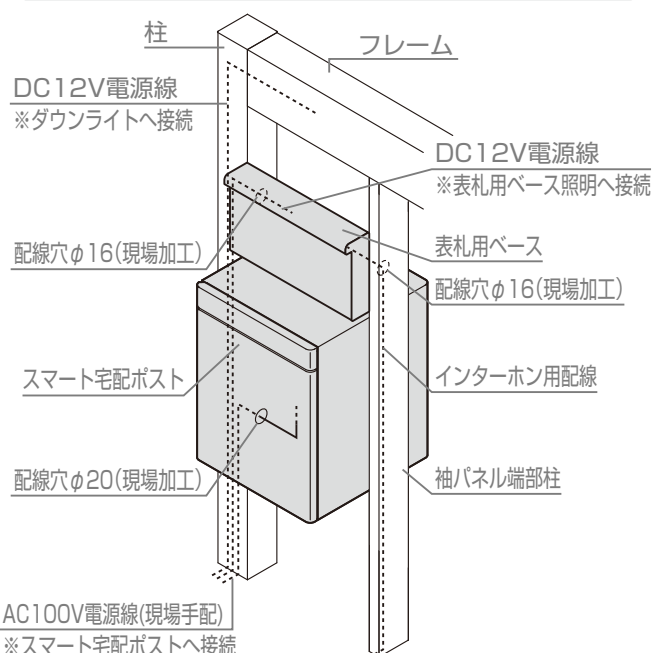
▼ ダウンライトと表札用ベース(照明有り)を取付ける場合 ▼



▼ ダウンライトとスマート宅配ポストを取付ける場合 ▼



▼ ダウンライトと表札用ベース(照明有り)、スマート宅配ポストを取付ける場合 ▼



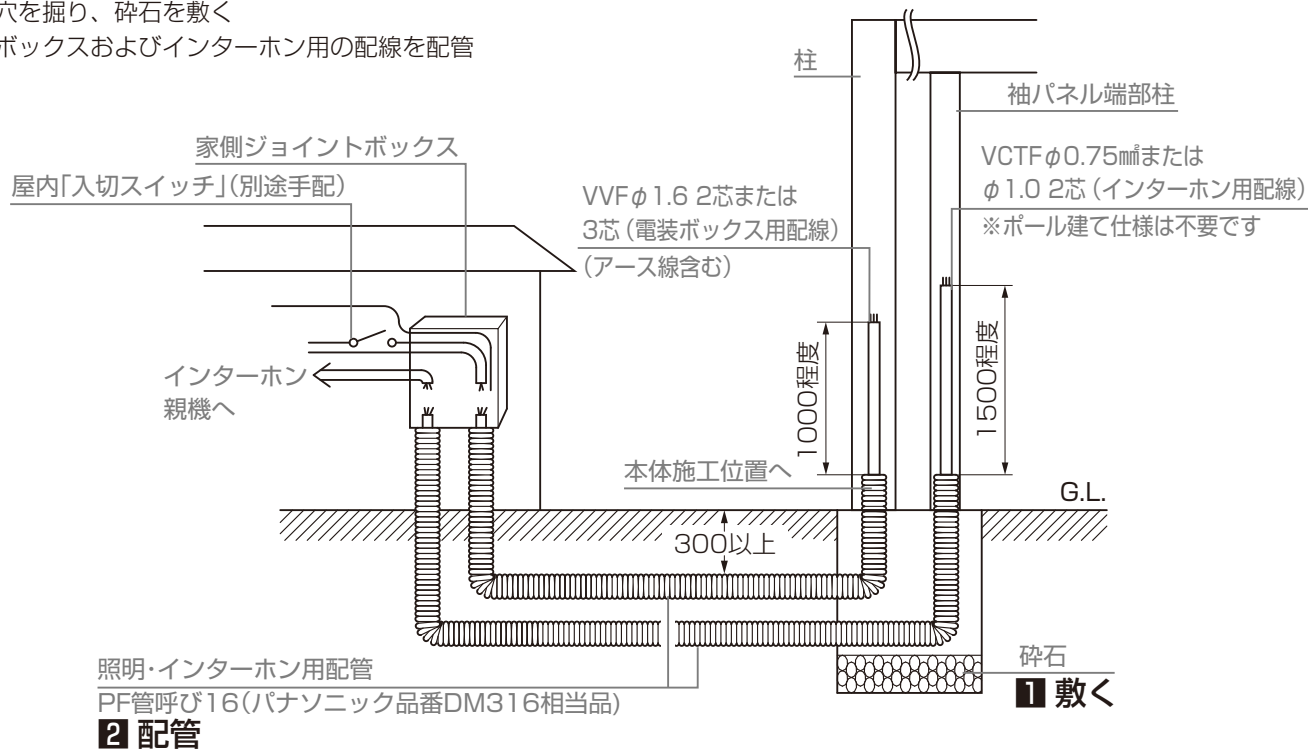
4 配線工事

施工上のお願い

- スマート宅配ポストに使用する電装ボックスはAC100Vの電源が必要になります。
- アース(D種接地工事)をとってください。
- 電装ボックス用配線、インターホン用配線は、PF管により隔離してください。
- 屋内「入切スイッチ」は必ず設けてください。照明交換やお手入れの際に電源をOFFにできなくなります。
- EEスイッチ等の自動点滅器は使用しないでください。使用すると正常に作動しない場合があります。
- PF管のファンクション側の端部は、パテ埋めなどでの処理を施してください。
- 照明用配線、インターホン子機用配線は取付方法を確認し、作業内容に合わせた配線長さを考慮してください。

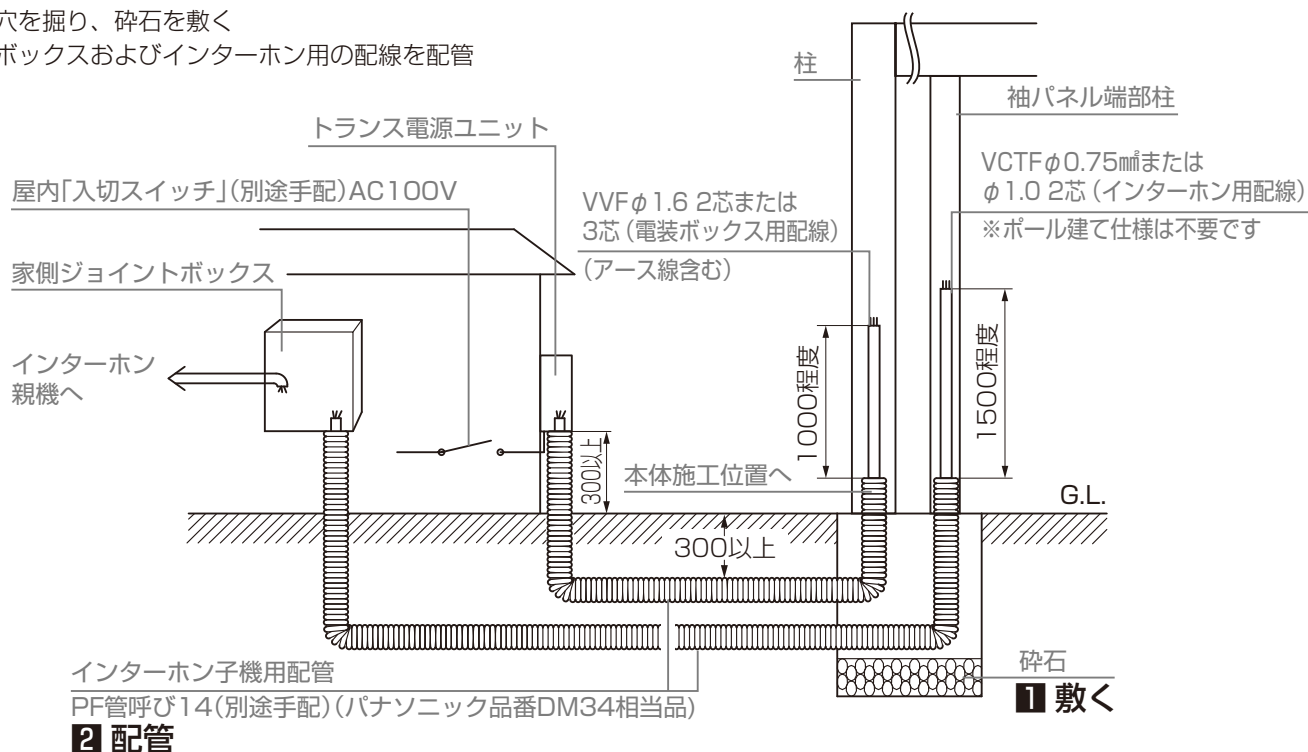
4-1 AC100V配線の場合

- 1: 基礎穴を掘り、砕石を敷く
- 2: 電装ボックスおよびインターホン用の配線を配管



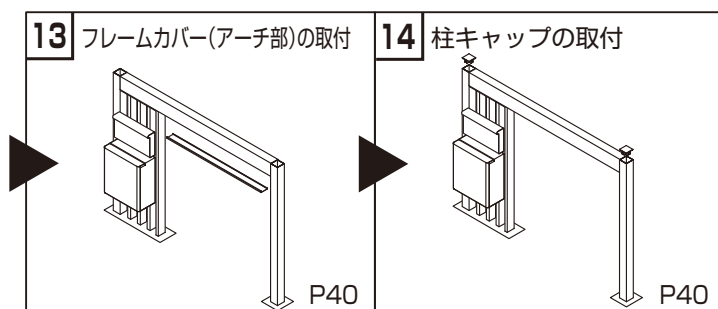
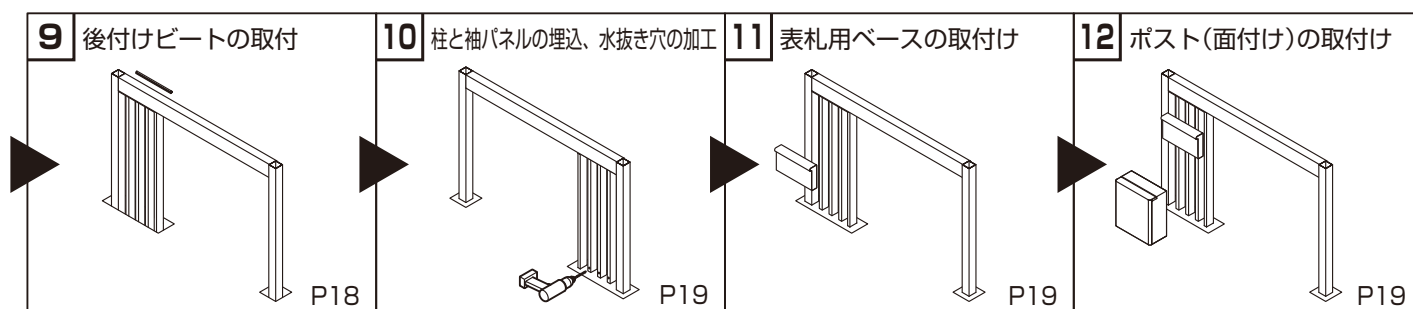
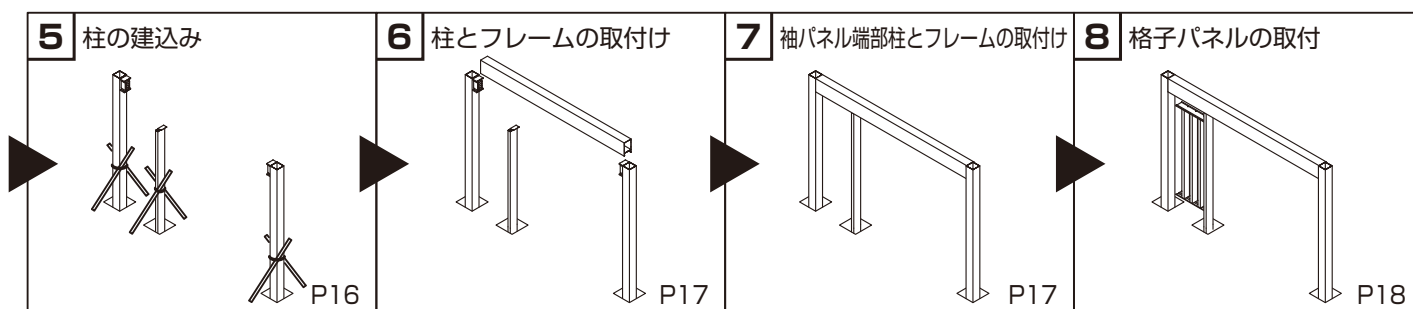
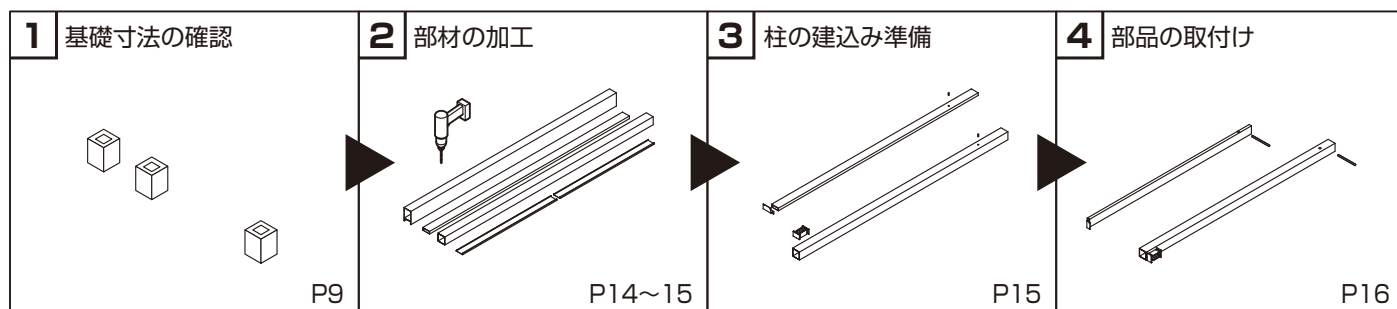
4-2 DC12V配線の場合

- 1: 基礎穴を掘り、砕石を敷く
- 2: 電装ボックスおよびインターホン用の配線を配管



5 格子タイプの施工方法

5-1 施工の流れ



5 格子タイプの施工方法

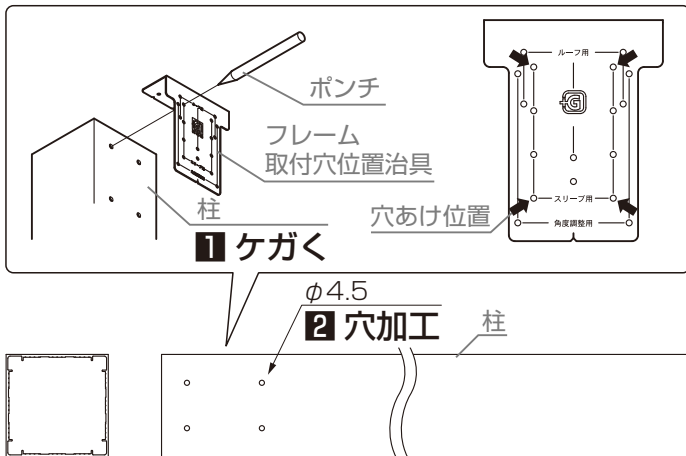
5-2 事前準備

5-2-1 柱の加工

- 1: フレーム取付穴位置治具で柱にケガク
- 2: 柱にφ4.5の穴加工

施工上のお願い

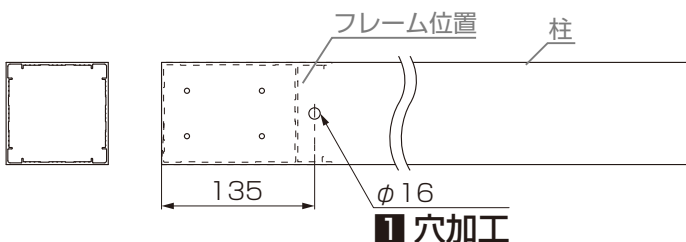
- フレーム取付穴位置治具の穴位置をよく確認してください。



■ダウンライト配線用穴の加工

※LEDダウンライトを取付ける場合の作業です。

- 1: 下記の図を参照して柱にφ16の穴加工



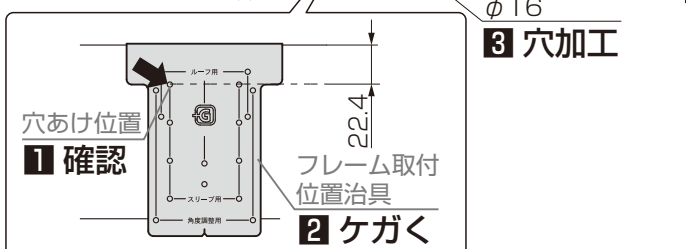
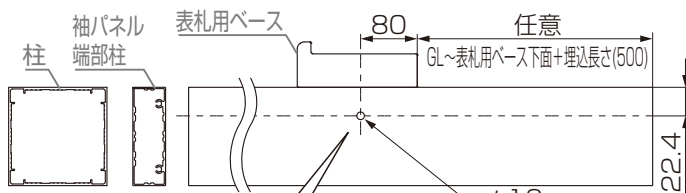
■表札用ベースの配線

※表札用ベースを取付ける場合の作業です。

- 1: 加工位置を確認
- 2: フレーム取付位置治具で柱にケガク
- 3: 柱または袖パネル端部柱にφ16の穴加工

施工上のお願い

- 配線の種類・本数と配線を通す柱をよく確認してから加工を行ってください。
- フレーム取付位置治具の穴位置をよく確認してください。
- 柱と袖パネル端部柱の両方に穴加工を行う場合、穴加工の高さを合わせてください。



5-2-2 フレームの加工

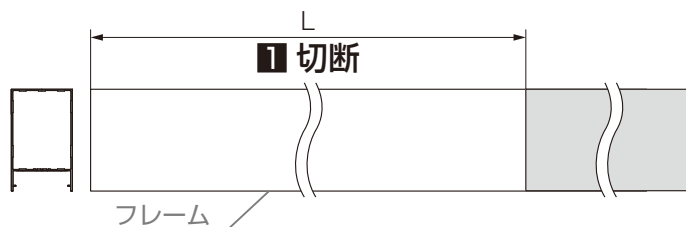
- 1: 下記表を参照してフレームを切断

施工上のお願い

- アーチファンクションの場合、フレームの切断は不要です。現場の納まりにより切断が必要な場合は任意の長さに切断してください。
- パネルファンクションの場合、袖パネルのスパンにより切断寸法が異なります。表に従ってL寸法を決定し切断してください。袖パネルが7スパンの場合は、フレームを切断する必要はありません。

表

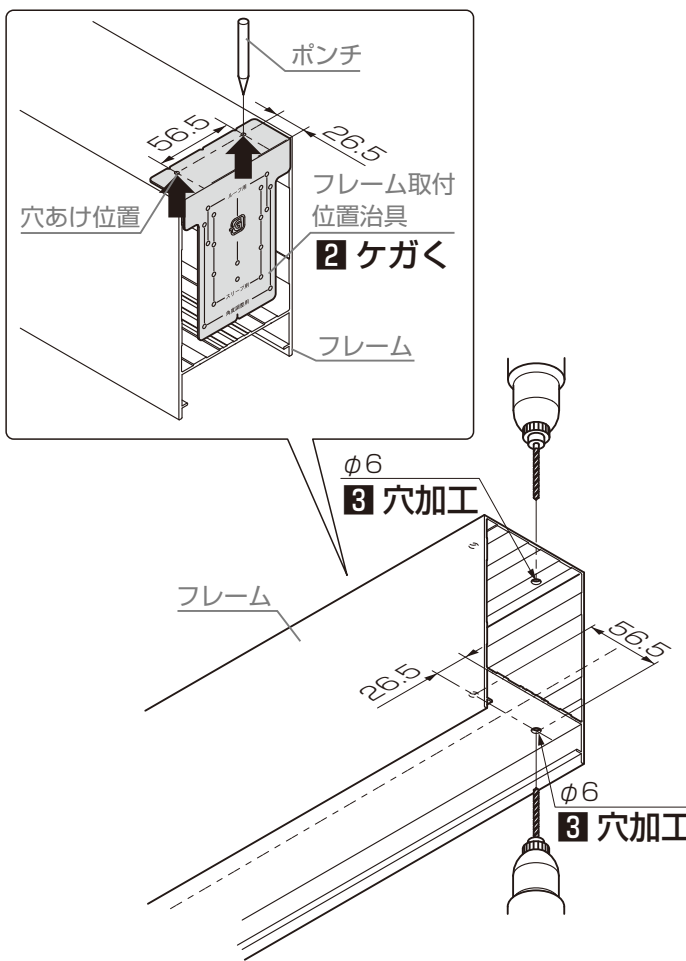
	1スパン	2スパン	3スパン	4スパン	5スパン	6スパン	7スパン
L	390	810	1230	1650	2070	2490	2910
	8スパン	9スパン	10スパン	11スパン	12スパン	13スパン	14スパン
L	3330	3750	4170	4590	5010	5430	5850



- 2: フレーム取付位置治具でフレームにケガク
- 3: フレームにφ6の穴加工

施工上のお願い

- フレーム取付位置治具の穴位置をよく確認してください。



5 格子タイプの施工方法

5-2 事前準備(つづき)

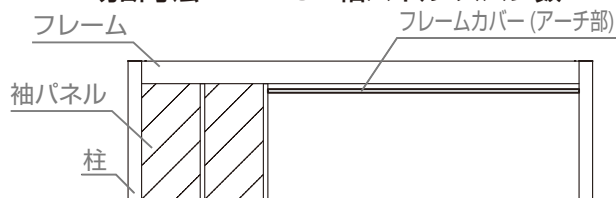
5-2-3 フレームカバーの加工

※アーチファンクションの場合の作業です。

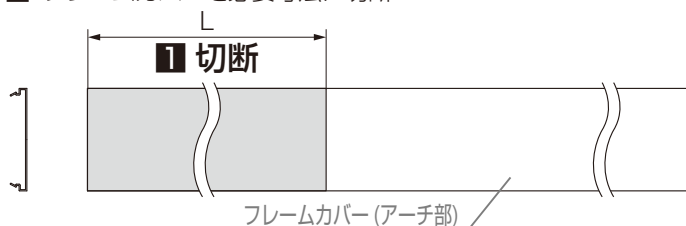
施工上のお願い

- 袖パネル スパン数によって切断寸法が異なります。以下の数式によってLを決定しフレームカバー(アーチ部)を切り出してください。※切断寸法Lの部分は使用しません。

切断寸法 $L = 420 \times \text{袖パネル スパン数}$



1: フレームカバーを必要寸法に切断



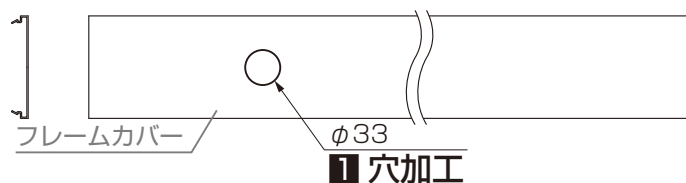
■ダウンライト配線用穴の加工

※LEDダウンライトを付ける場合の作業です。

施工上のお願い

- LEDダウンライトはフレームカバー(アーチ部)にのみ取付けることができます。
- LEDダウンライト用孔は任意の位置に加工してください。
- LEDダウンライトの取付けは「LEDダウンライト取付説明書(Z536)」を参照してください。

1: フレームにφ33の穴加工



5-2-4 部品の取付け

【1】袖パネル端部柱セット

名 称	略 図	員 数	
		H24	H29
【1a】φ5×30ナベタッピンネジ2種	(+) 〰️	2	2

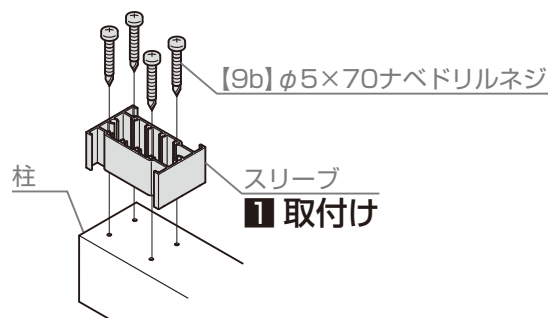
【2】袖パネル格子タイプセット

名 称	略 図	員 数	
		H24	H29
ネジスペーサー(4×20)	〰️	2	2
【2a】φ4×30 ナベドリルネジ	(+) 〰️	2	2

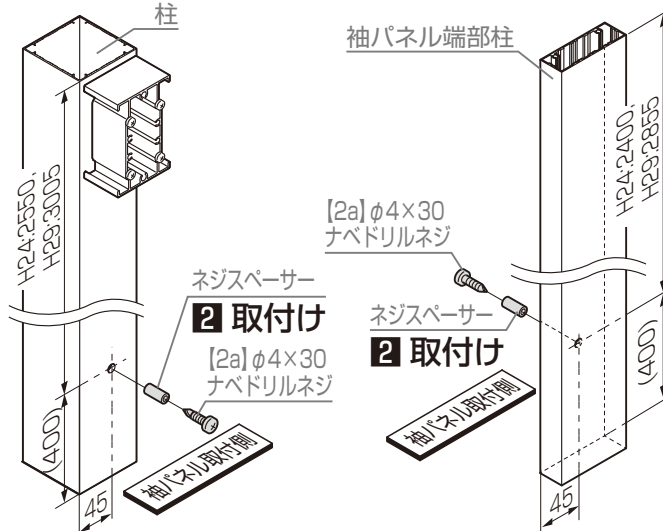
【9】フレーム標準90×150セット

名 称	略 図	員 数							
		標準 W10	標準 W15	標準 W20	標準 W30	標準 W40	標準 W50	標準 W55	標準 W60
【9b】φ5×70 ナベドリルネジ	(+) 〰️	10	10	10	10	10	10	10	10

1: スリーブを柱に【9b】で取付け

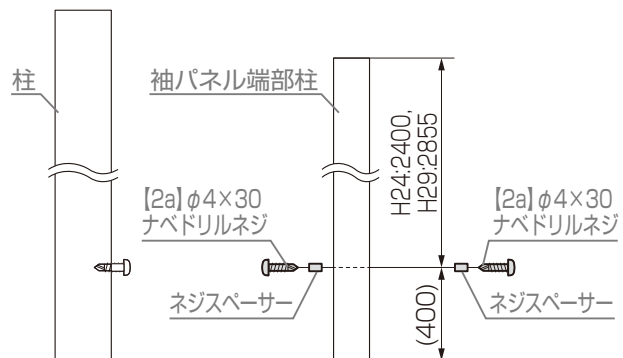


2: ネジスペーサーを柱と袖パネル端部柱の袖パネル取付け面に【2a】で取付け

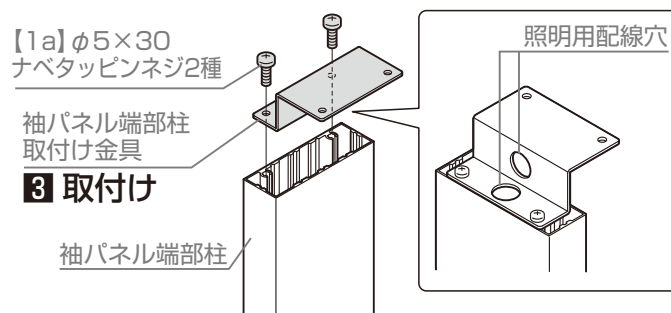


パネルファンクション場合

- 袖パネル端部柱の両面にネジ・ネジスペーサーを取付けてください。



3: 袖パネル端部柱取付け金具を袖パネル端部柱に【1a】で取付け

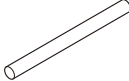


5 格子タイプの施工方法

5-3 柱の建込み

5-3-1 柱の建込み準備

【1】袖パネル端部柱セット

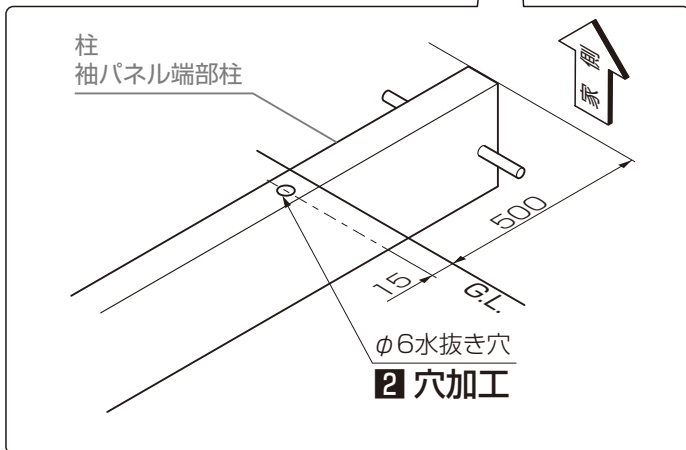
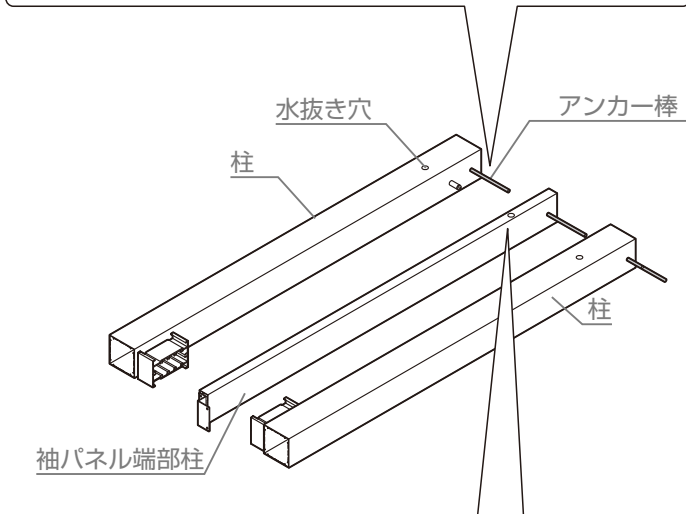
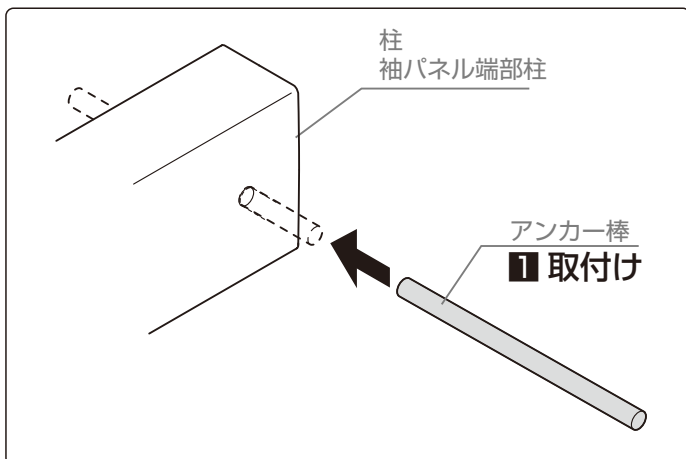
名 称	略 図	員 数	
		H24	H29
アンカー棒($\phi 8 \times 200$)		1	1

1: 柱、袖パネル端部柱にアンカー棒を取付け

2: 柱、袖パネル端部柱に $\phi 6$ の水抜き穴加工

⚠ 注意

●水抜き穴をあけないと、柱が破損するおそれがあります。



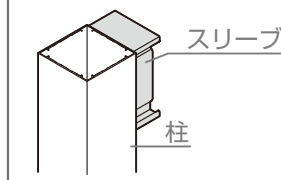
5-3-2 柱の建込み

1: 柱、袖パネル端部柱を建込む

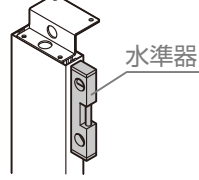
⚠ 注意

●基本寸法を確認して柱の向きとピッチ、垂直を確認してください。

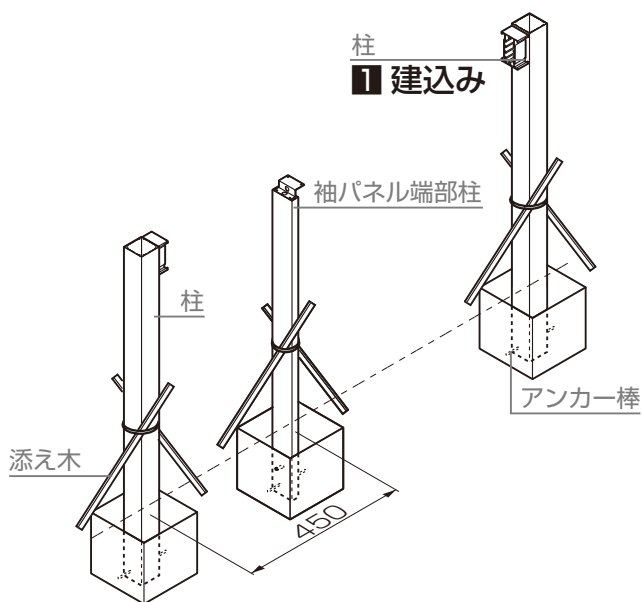
●柱の向き確認



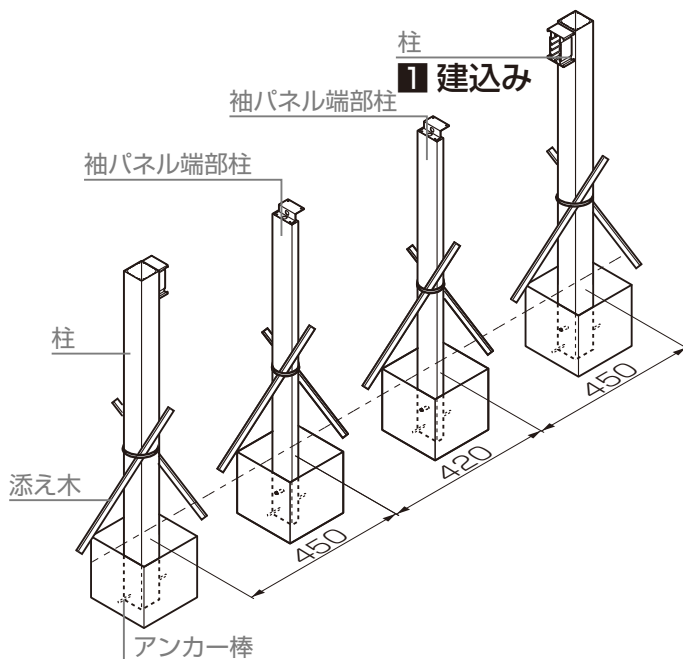
●垂直の確認



■アーチファンクション



■パネルファンクション



5 格子タイプの施工方法

5-4 柱とフレームの取付け

【9】 フレーム標準90×150セット

名 称	略 図	員 数							
		標準 W10	標準 W15	標準 W20	標準 W30	標準 W40	標準 W50	標準 W55	標準 W60
【9a】φ5×16 ナベドリルネジ		12	12	12	12	12	12	12	12

1: フレームをスリーブに差込み

2: フレームをスリーブにフレーム取付金具と【9a】で取付け

【1】 袖パネル端部柱セット

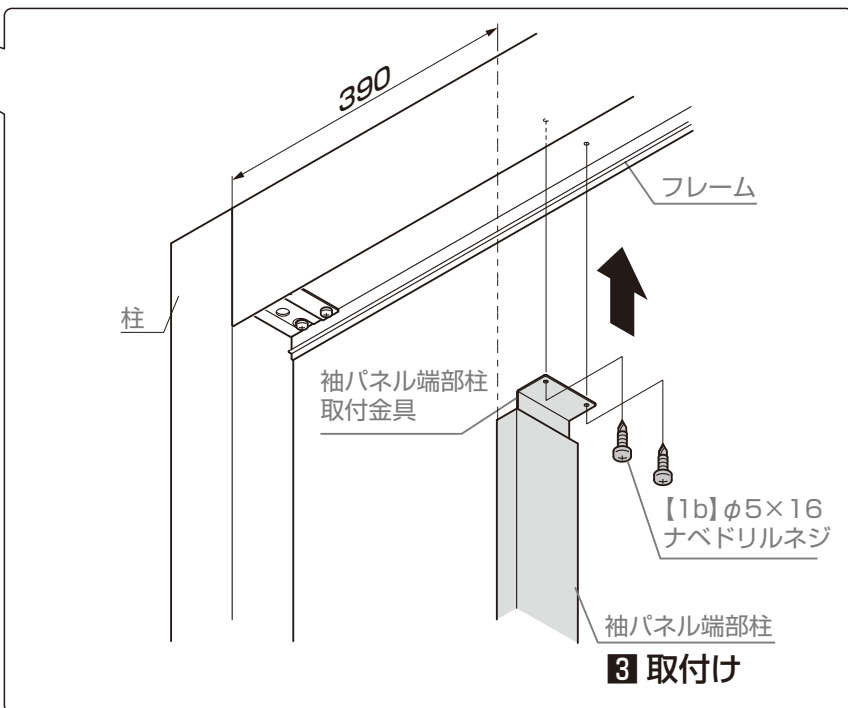
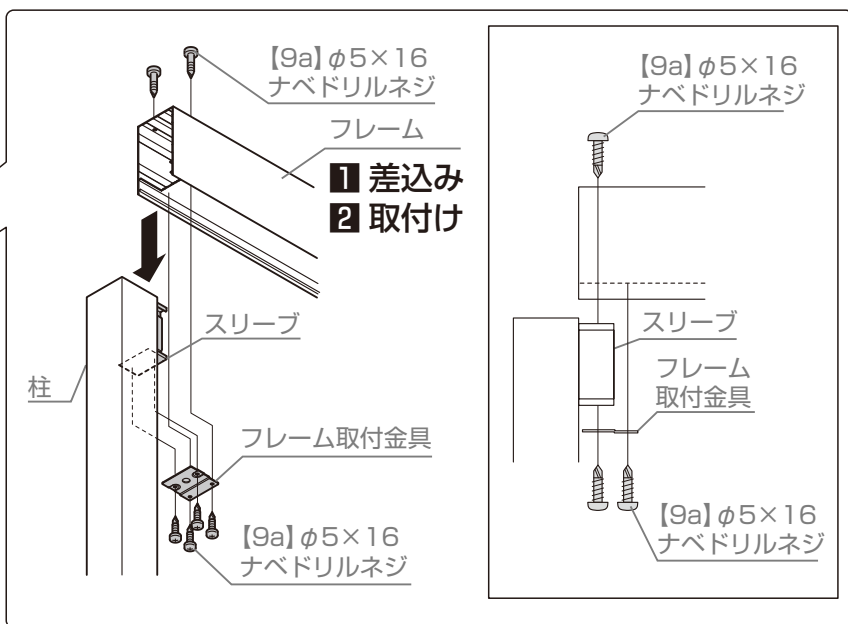
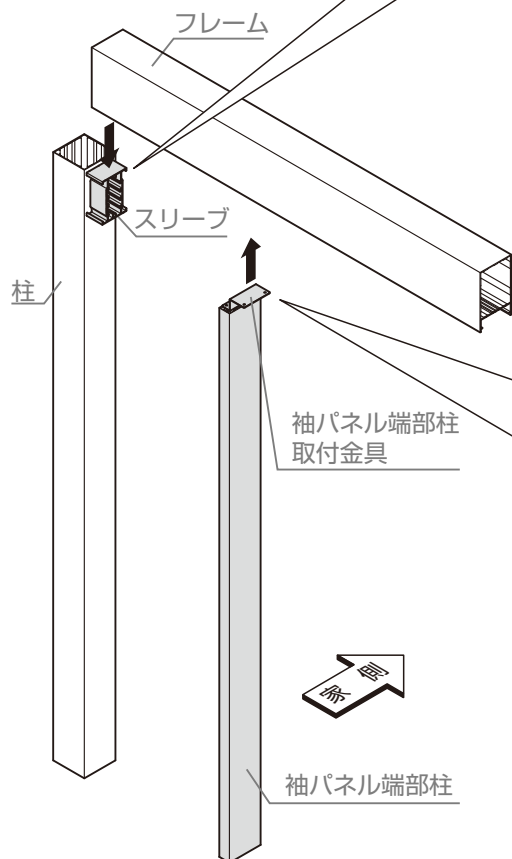
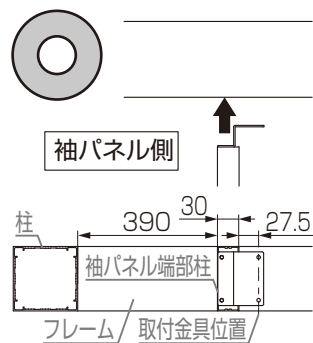
名 称	略 図	員 数	
		H24	H29
【1b】φ5×16ナベドリルネジ		2	2

3: 袖パネル端部柱をフレームに【1b】で取付け

施工上のお願い

●柱と袖パネル端部柱間、または袖パネル端部柱間の内々寸法は、必ず390になるよう取付けてください。

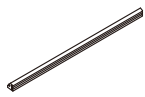
●袖パネル端部柱取付金具は袖パネルが取り付けられない側に固定してください。尚、パネルファンクションなど袖パネル端部柱が連続して取り付けの場合は、袖パネル端部柱取付金具の向きを合わせて固定してください。



5 格子タイプの施工方法

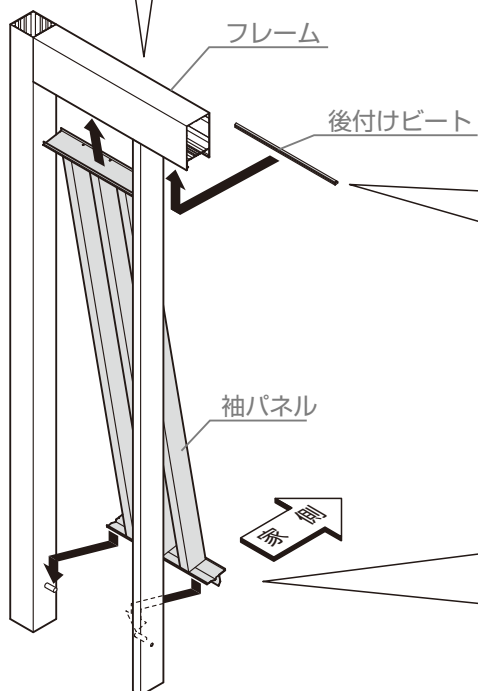
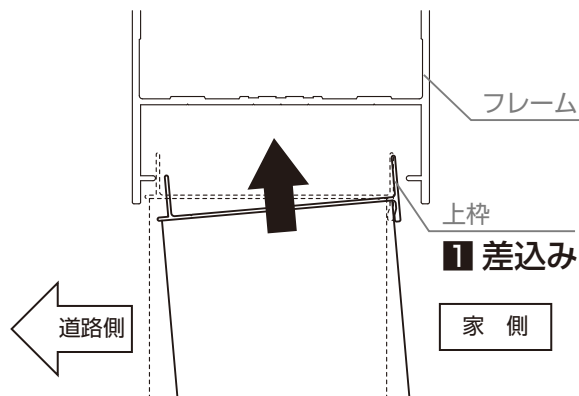
5-5 袖パネル(格子タイプ)の取付け

【2】袖パネル格子タイプセット

名 称	略 図	員 数	
		H24	H29
格子タイプ枠上後付ビート		1	1

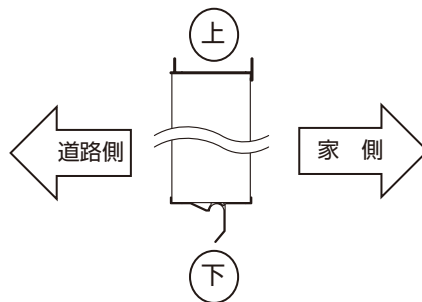
- 1: 袖パネル(格子タイプ)の上枠を家側からフレームに差込み
- 2: 下枠をネジスペーサーに仮置き
- 3: 後付けビートを袖パネル(格子タイプ)の上枠とフレームのすき間にはめ込む

●上枠が正しい位置に納まっていることを確認してください。



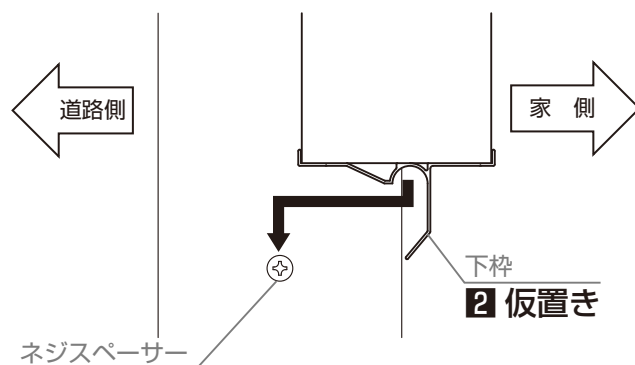
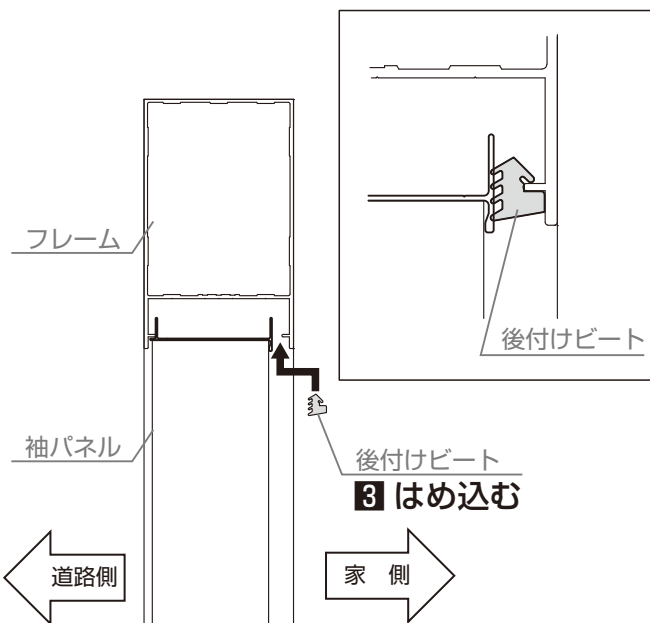
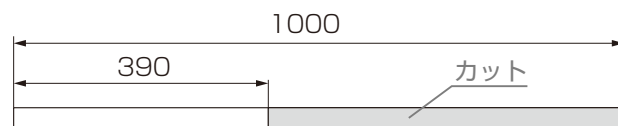
施工上のお願い

●取付け前に袖パネル(格子タイプ)の向きを確認してください。



施工上のお願い

●後付けビートは390mmにカットして取付けてください。



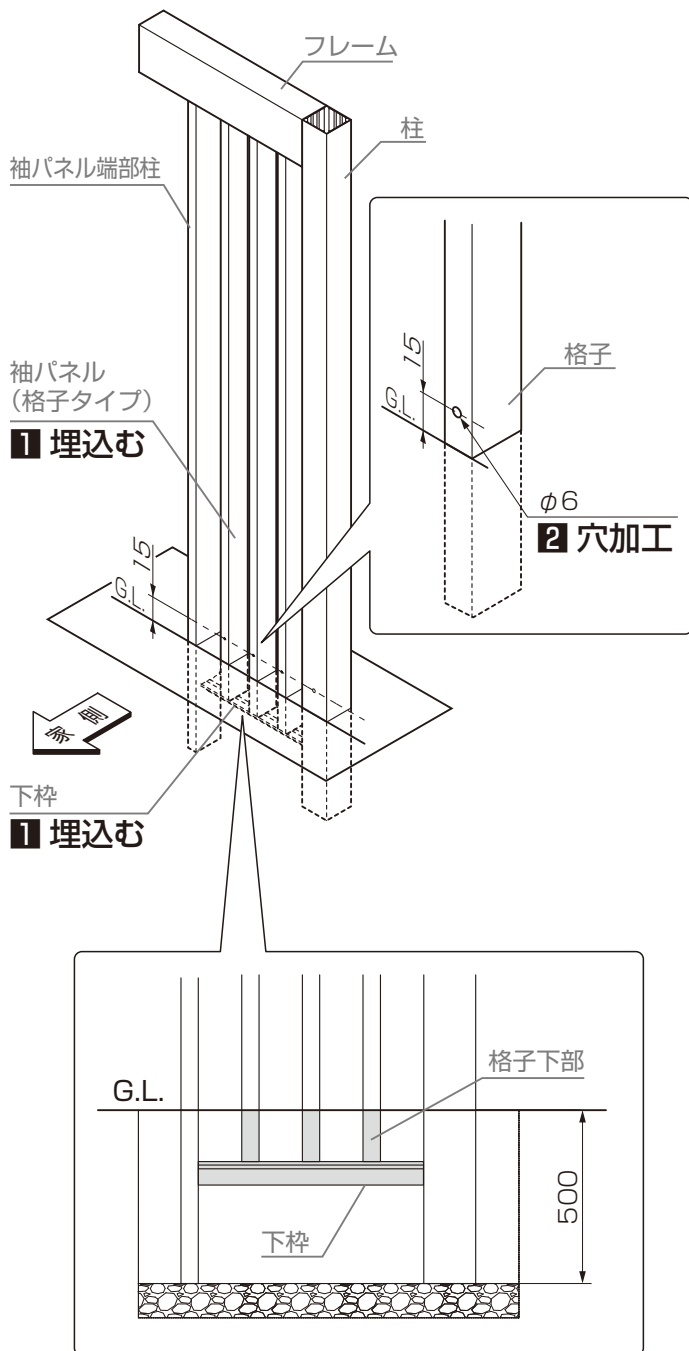
5 格子タイプの施工方法

5-6 柱と袖パネルの埋込、水抜き穴の加工

⚠ 注意

●水抜き穴をあけないと、袖パネル(格子タイプ)が破損するおそれがあります。

- 1: G.L.位置に合わせて袖パネル(格子タイプ)の下枠と格子の下部を埋込む
- 2: 袖パネル(格子タイプ)の各格子(3本)にφ6の水抜き穴を加工



施工上のお願い

●続けて「8.仕上げ」を参照しフレームカバーなどの取付けをしてください。

5-7 ポスト(面付け)の取付け

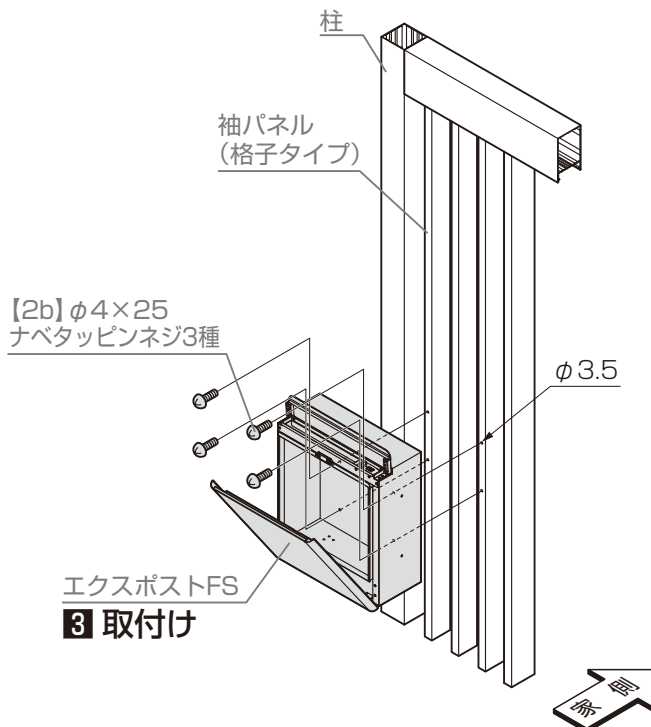
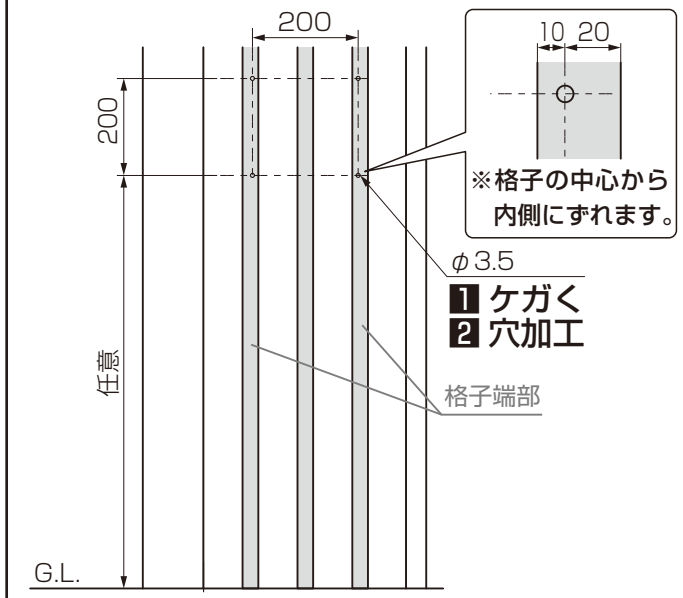
【2】袖パネル格子タイプセット

名 称	略 図	員 数	
		H24	H29
【2b】φ4×25ナベタッピンネジ3種		4	4

- 1: 格子端部にポスト取付穴の位置をケガく
- 2: 格子端部にφ3.5の穴加工
- 3: ポスト本体を袖パネル(格子タイプ)に【2b】で取付け

施工上のお願い

●任意の高さに合わせてください。



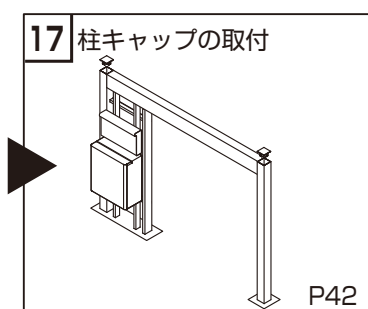
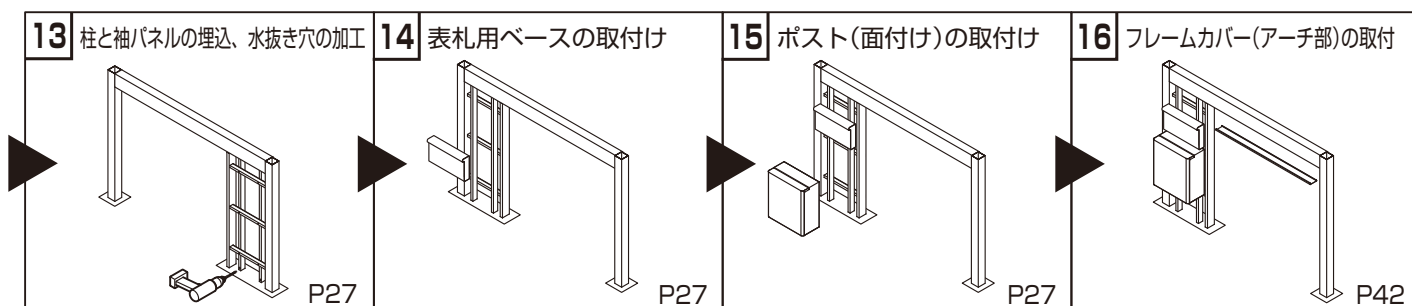
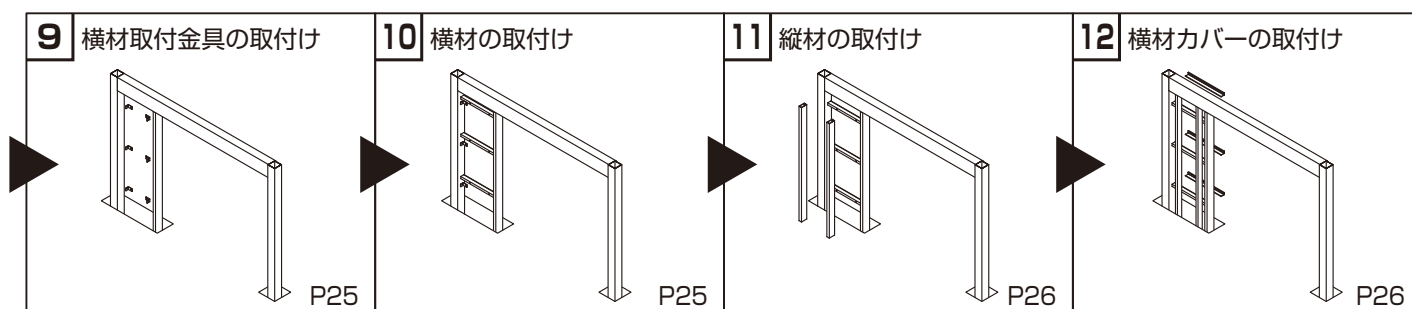
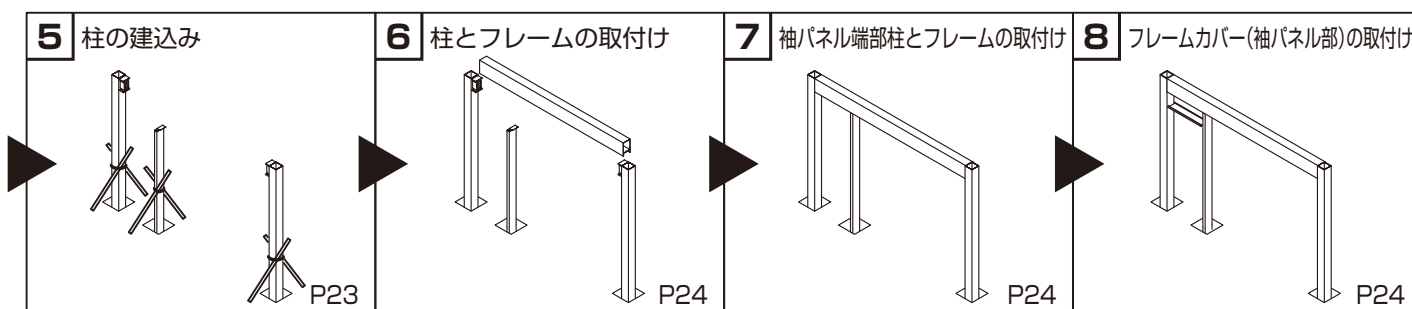
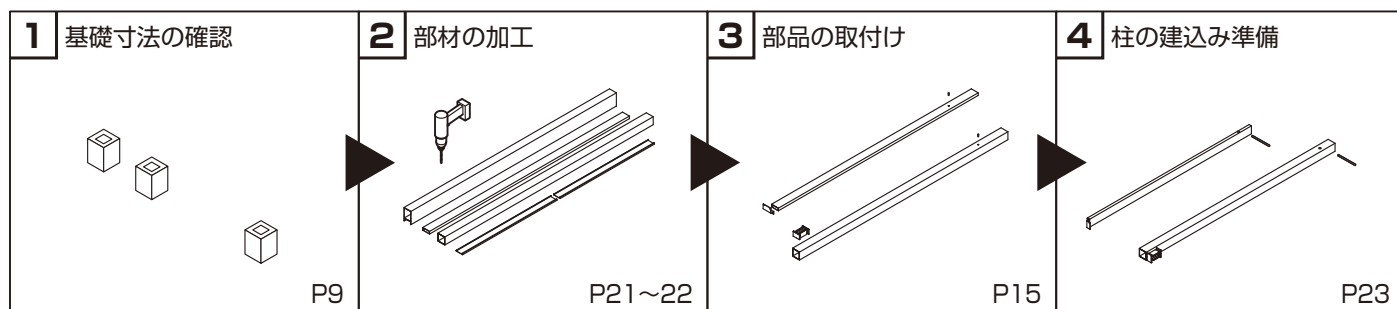
施工上のお願い

●表札用ベースを取付ける場合は「表札用ベースの取付説明書」を参照してください。

6 井桁タイプの施工方法

6-1 施工の流れ

井桁タイプの
施工方法



6 井桁タイプの施工方法

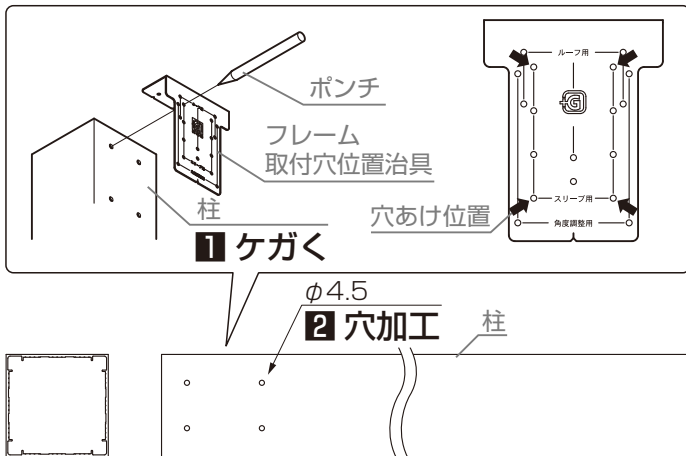
6-2 事前準備

6-2-1 柱の加工

- 1: フレーム取付穴位置治具で柱にケガク
- 2: 柱にφ4.5の穴加工

施工上のお願い

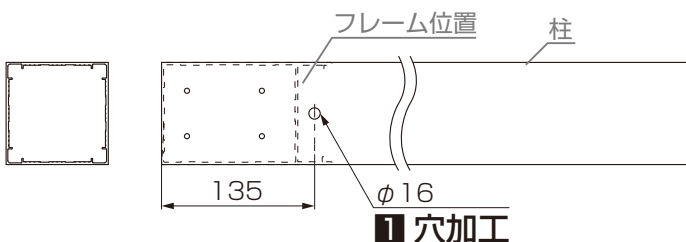
- フレーム取付穴位置治具の穴位置をよく確認してください。



■ダウンライト配線用穴の加工

※LEDダウンライトを取付ける場合の作業です。

- 1: 下記の図を参照して柱にφ16の穴加工



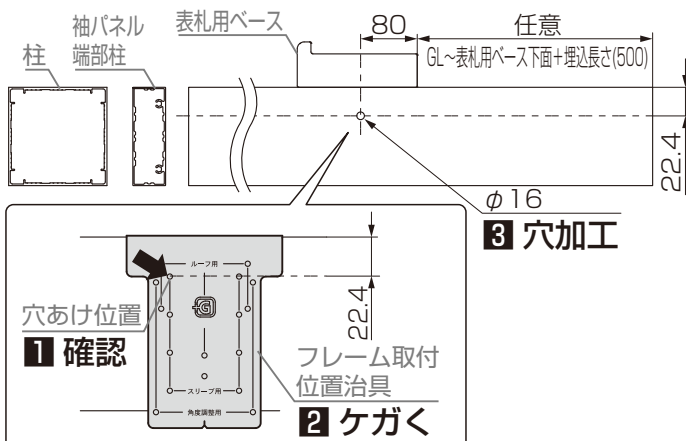
■表札用ベースの配線

※表札用ベースを取付ける場合の作業です。

- 1: 加工位置を確認
- 2: フレーム取付位置治具で柱にケガク
- 3: 柱または袖パネル端部柱にφ16の穴加工

施工上のお願い

- 配線の種類・本数と配線を通す柱をよく確認してから加工を行ってください。
- フレーム取付位置治具の穴位置をよく確認してください。
- 柱と袖パネル端部柱の両方に穴加工を行う場合、穴加工の高さを合わせてください。



6-2-2 フレームの加工

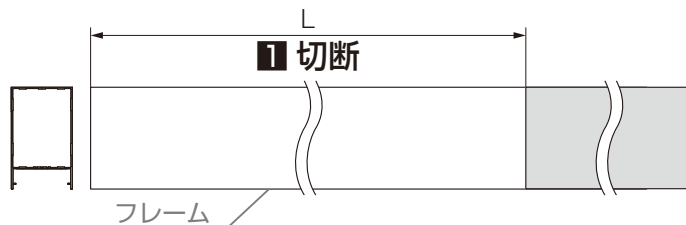
- 1: 下記表を参照してフレームを切断

施工上のお願い

- アーチファンクションの場合、フレームの切断は不要です。現場の納まりにより切断が必要な場合は任意の長さに切断してください。
- パネルファンクションの場合、袖パネルのスパンにより切断寸法が異なります。表に従ってL寸法を決定し切断してください。袖パネルが7スパンの場合は、フレームを切断する必要はありません。

表

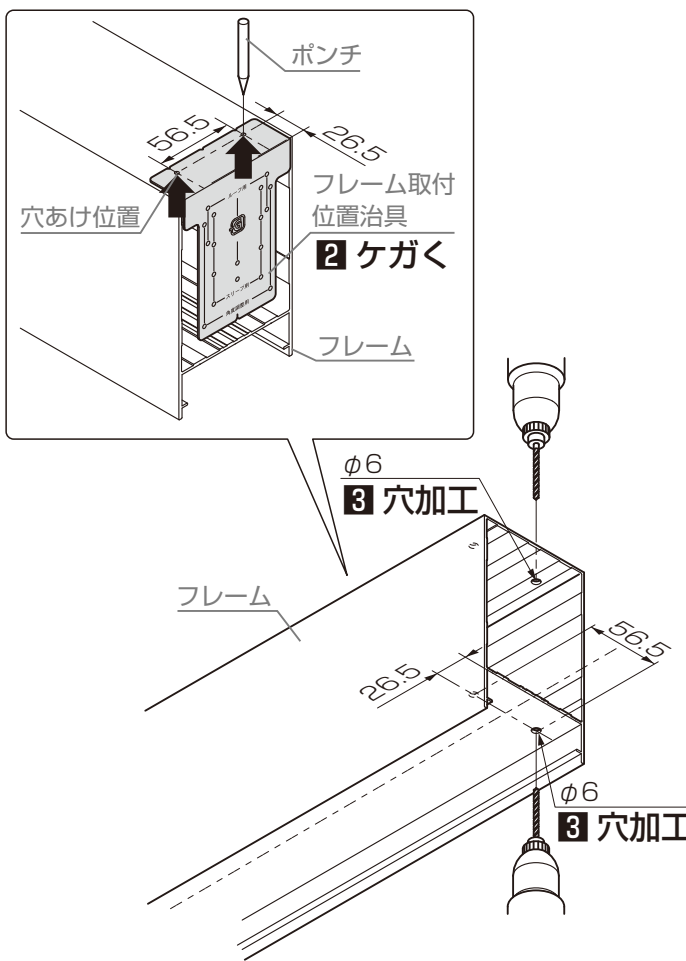
	1スパン	2スパン	3スパン	4スパン	5スパン	6スパン	7スパン
L	390	810	1230	1650	2070	2490	2910
L	3330	3750	4170	4590	5010	5430	5850



- 2: フレーム取付位置治具でフレームにケガク
- 3: フレームにφ6の穴加工

施工上のお願い

- フレーム取付位置治具の穴位置をよく確認してください。



6 井桁タイプの施工方法

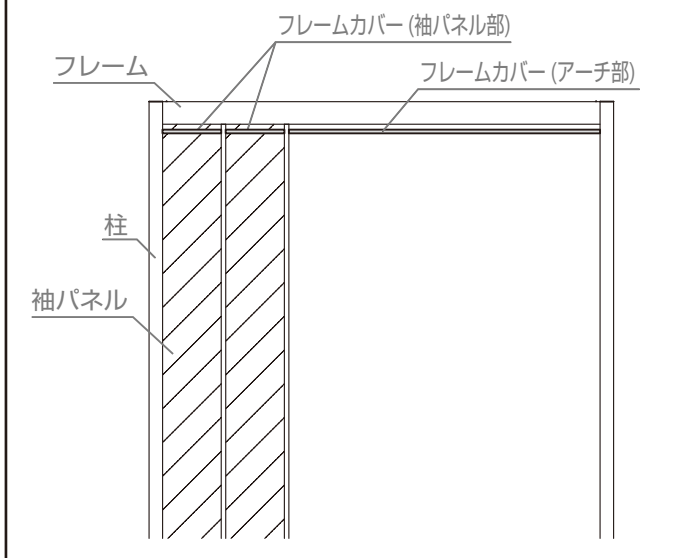
6-2 事前準備（つづき）

6-2-3 フレームカバーの加工

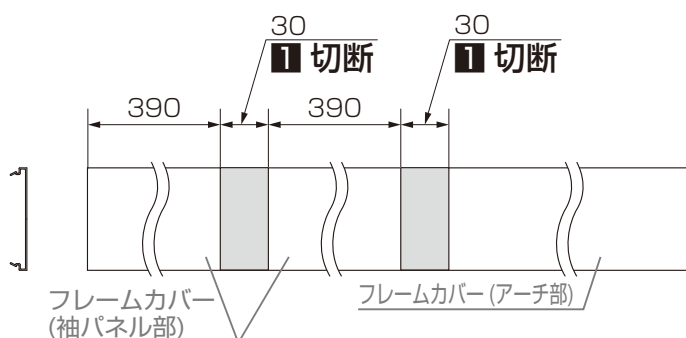
施工上のお願い

- フレームカバーの袖パネル端部柱を取付ける部分を切断してください。

切断寸法 L=袖パネル端部柱1ヶ所あたり30mm×取付本数



- ❶: フレームカバー(袖パネル部)、フレームカバー(アーチ部)をそれぞれ必要寸法に切断
※図は袖パネル 井桁タイプ2スパン取付けの場合を示す。

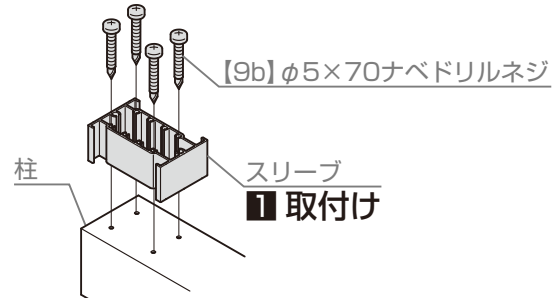


6-2-4 部品の取付け

【9】フレーム標準90×150セット

名 称	略 図	員 数							
		標準 W10	標準 W15	標準 W20	標準 W30	標準 W40	標準 W50	標準 W55	標準 W60
【9b】φ5×70 ナベドリルネジ		10	10	10	10	10	10	10	10

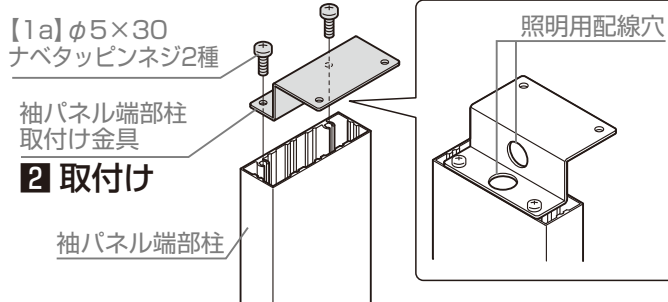
- ❶: スリーブを柱に【9b】で取付け



【1】袖パネル端部柱セット

名 称	略 図	員 数	
		H24	H29
袖パネル端部柱取付け金具		1	1
【1a】φ5×30ナベタッピンネジ2種		2	2

- ❷: 袖パネル柱取付け金具を袖パネル端部柱に【1a】で取付け



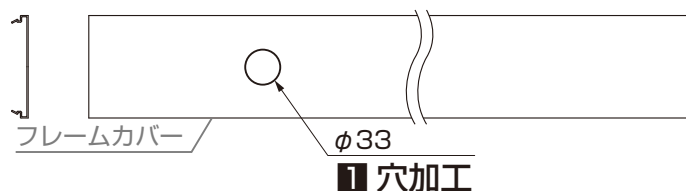
■ダウンライト配線用穴の加工

※LEDダウンライトを取付ける場合の作業です。

施工上のお願い

- LEDダウンライトはフレームカバー(アーチ部)にのみ取付けることができます。
- LEDダウンライト用孔は任意の位置に加工してください。
- LEDダウンライトの取付けは「LEDダウンライト取付説明書(Z536)」を参照してください。

- ❶: フレームにφ33の穴加工

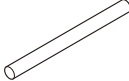


6 井桁タイプの施工方法

6-3 柱の建込み

6-3-1 柱の建込み準備

【1】袖パネル端部柱セット

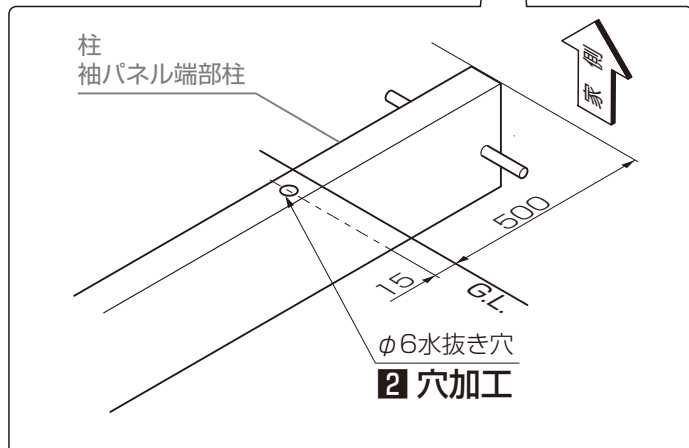
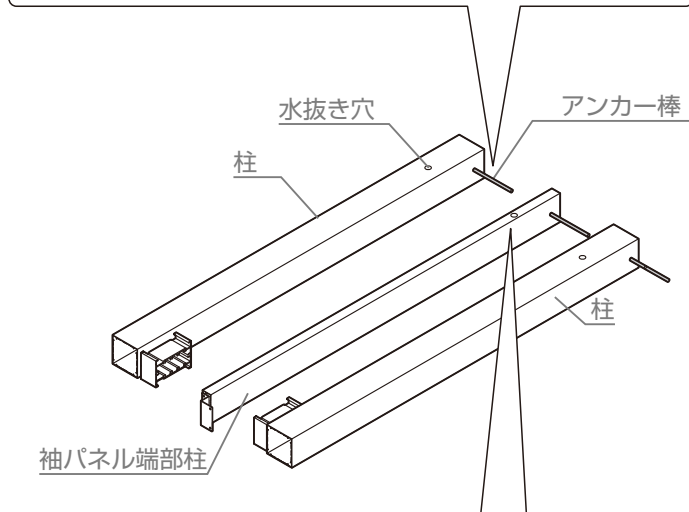
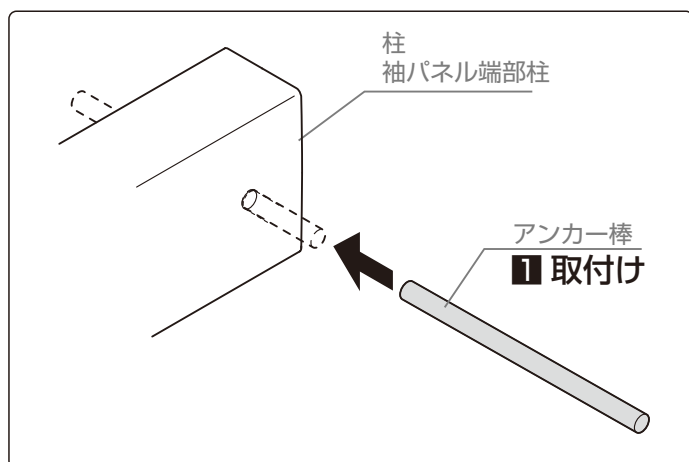
名 称	略 図	員 数	
		H24	H29
アンカー棒($\phi 8 \times 200$)		1	1

1: 柱、袖パネル端部柱にアンカー棒を取付け

2: 柱、袖パネル端部柱に $\phi 6$ の水抜き穴加工

⚠ 注意

●水抜き穴をあけないと、柱が破損するおそれがあります。



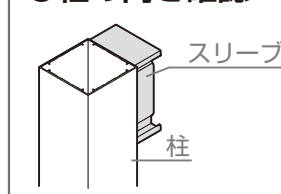
6-3-2 柱の建込み

1: 柱、袖パネル端部柱を建込む

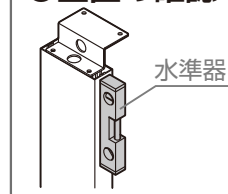
⚠ 注意

●基本寸法を確認して柱の向きとピッチ、垂直を確認してください。

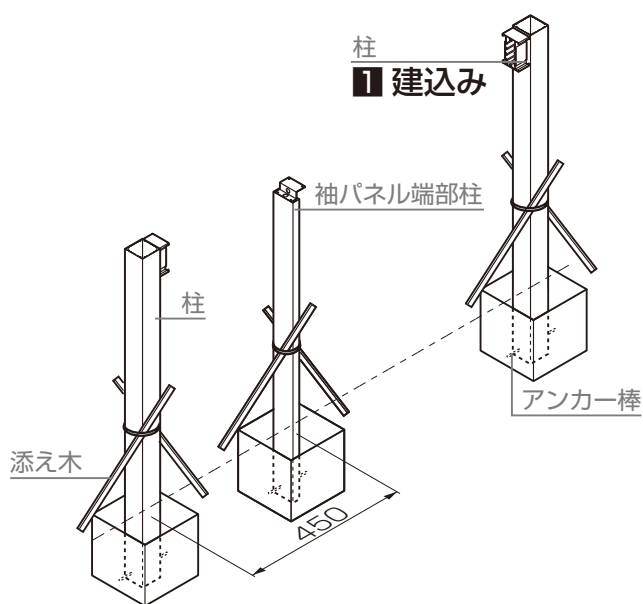
●柱の向き確認



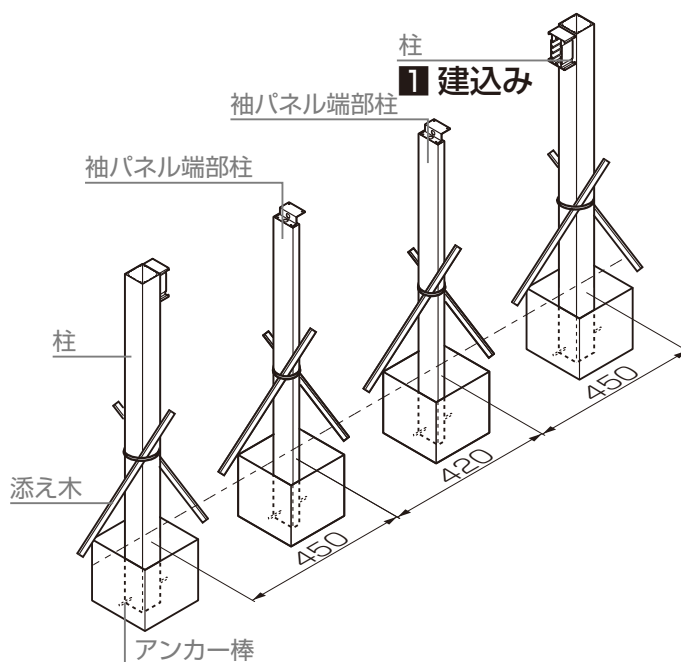
●垂直の確認



■アーチファンクション



■パネルファンクション



6 井桁タイプの施工方法

6-4 柱とフレームの取付け

【9】 フレーム標準90×150セット

名 称	略 図	員 数							
		標準 W10	標準 W15	標準 W20	標準 W30	標準 W40	標準 W50	標準 W55	標準 W60
【9a】φ5×16 ナベドリルネジ		12	12	12	12	12	12	12	12

①: フレームをスリーブに差込み

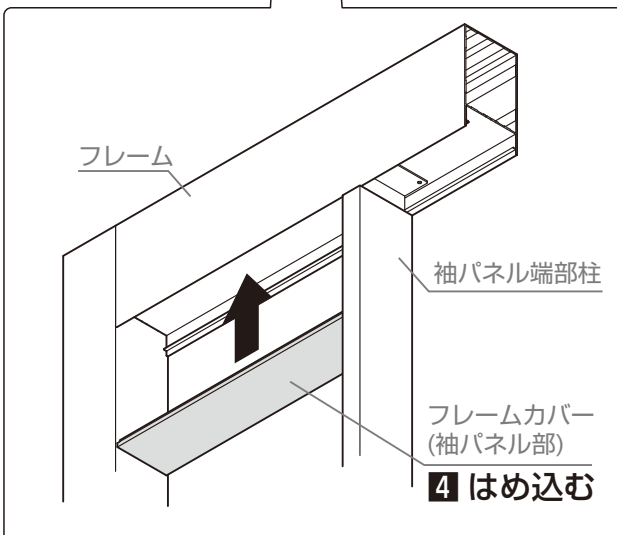
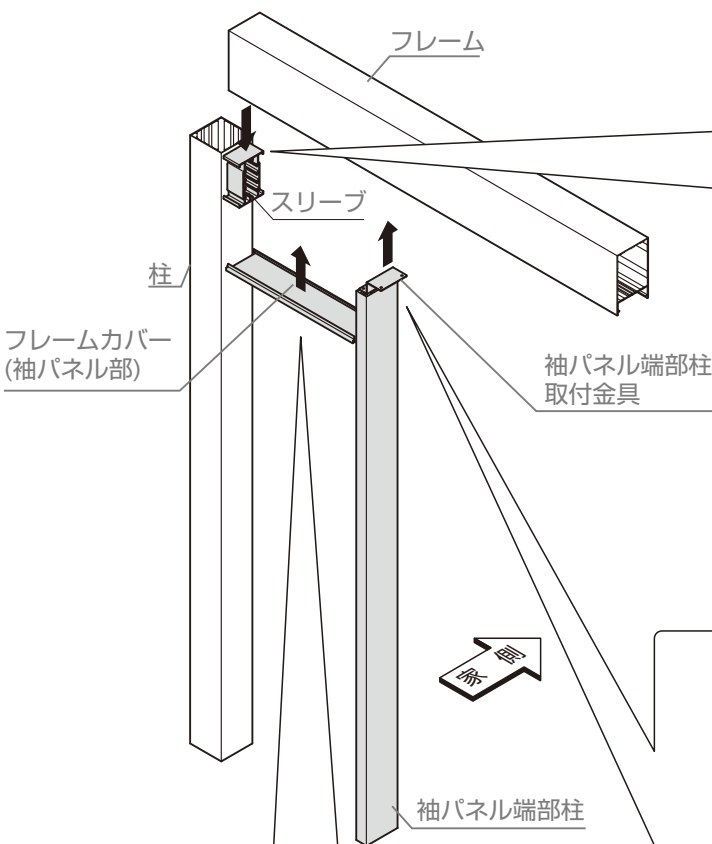
②: フレームをスリーブにフレーム取付金具と【9a】で取付け

【1】 袖パネル端部柱セット

名 称	略 図	員 数	
		H24	H29
【1b】φ5×16ナベドリルネジ		2	2

③: 袖パネル端部柱をフレームに【1b】で取付け

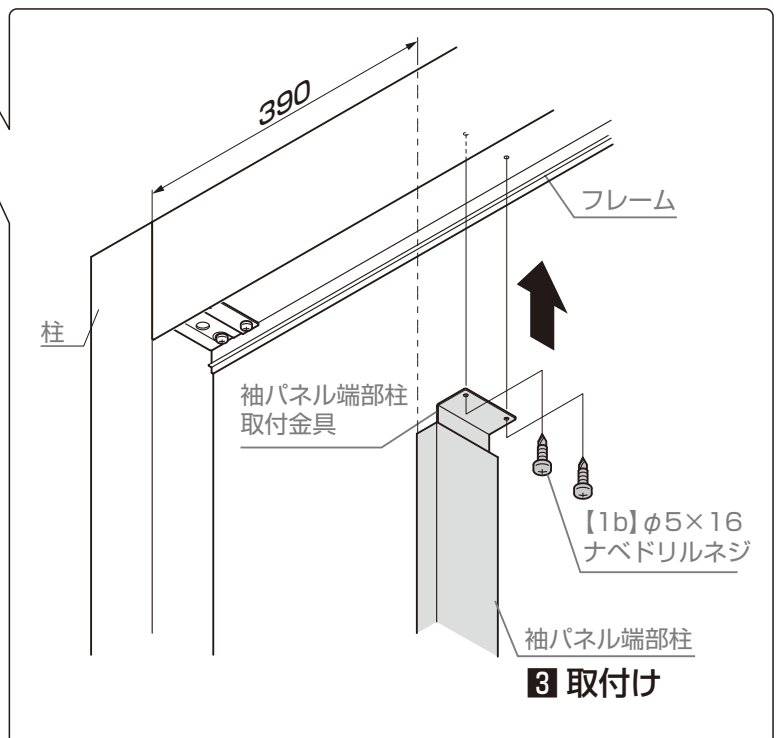
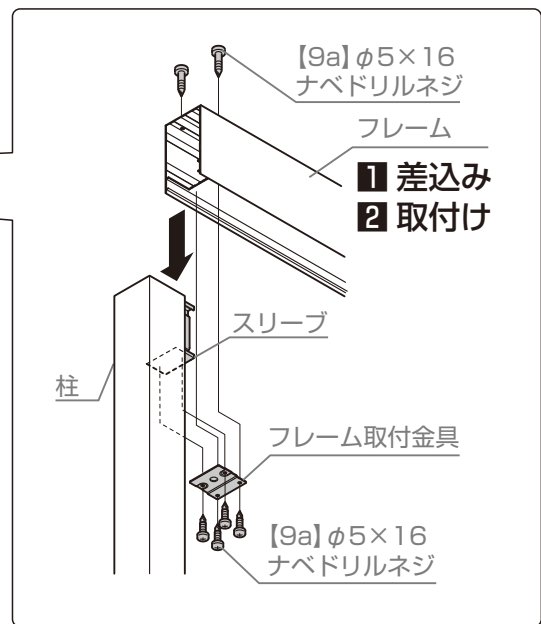
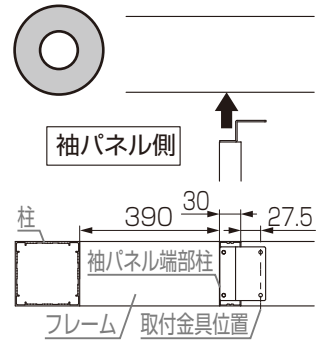
④: 390mmのフレームカバー(袖パネル部)をフレームの袖パネル取付け部にはめ込む



施工上のお願い

●柱と袖パネル端部柱間、または袖パネル端部柱間の内々寸法は、必ず390になるよう取付けてください。

●袖パネル端部柱取付金具は袖パネルが取り付けられない側に固定してください。尚、パネルファンクションなど袖パネル端部柱が連続して取り付け場合は、袖パネル端部柱取付金具の向きを合わせて固定してください。



6 井桁タイプの施工方法

6-5 袖パネル(井桁タイプ)の取付け

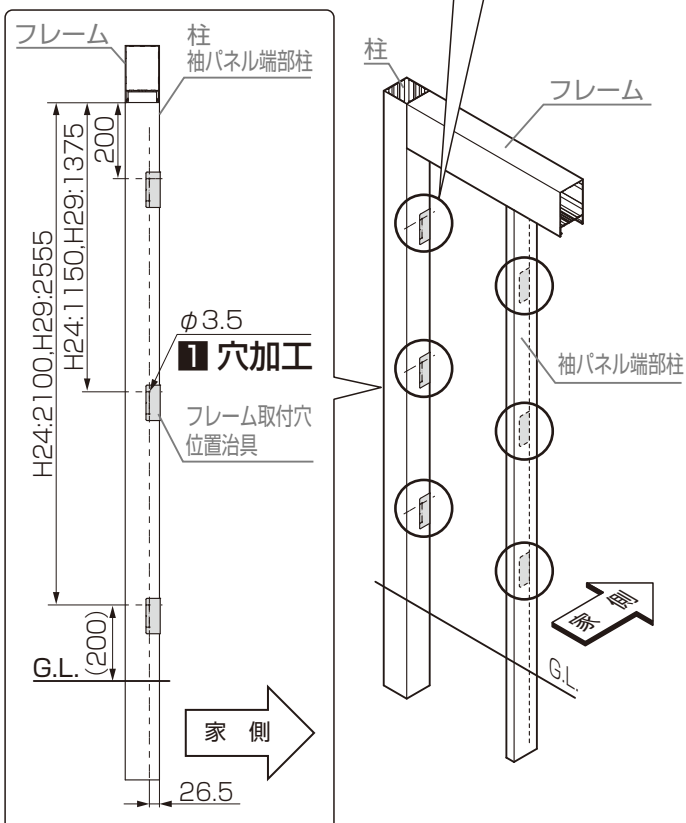
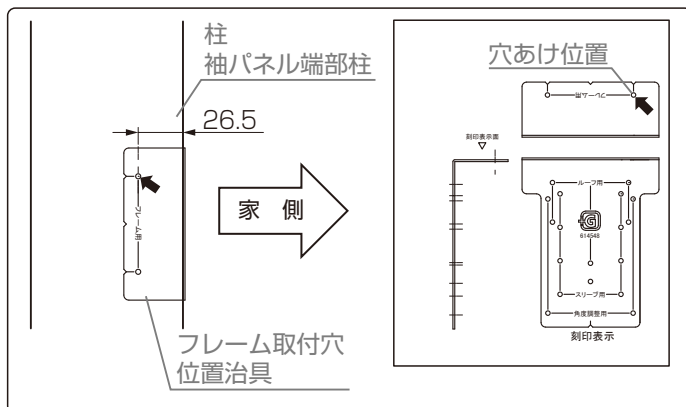
【3】 袖パネル井桁タイプセット

名 称	略 図	員 数	
		H24	H29
横材固定金具		6	6
【3a】φ4×12ナベタッピンネジ3種		6	6
【3b】φ4×13ナベドリルネジ		6	6

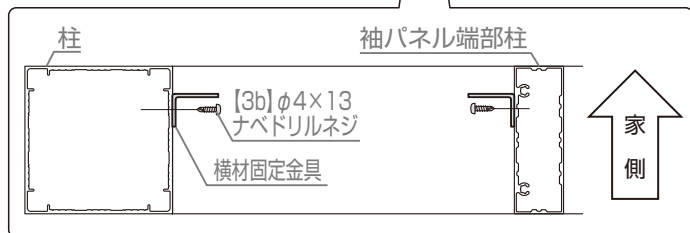
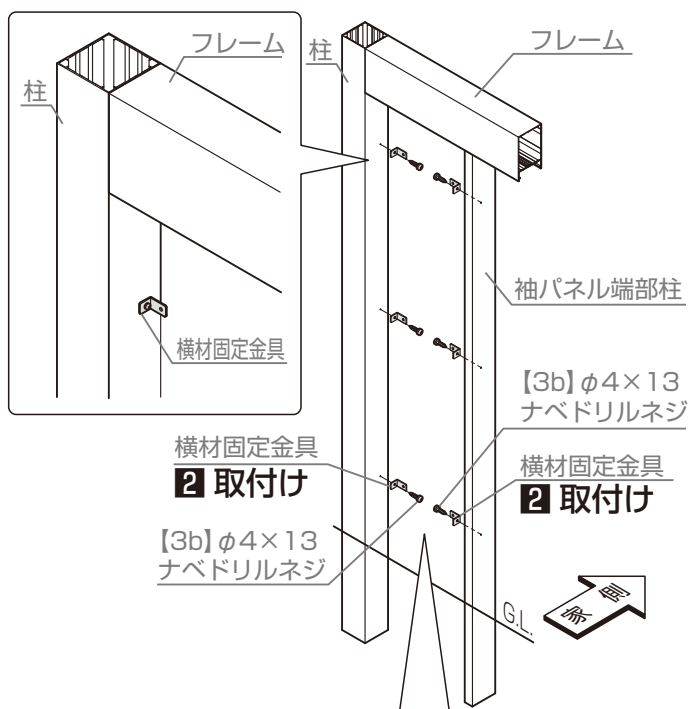
施工上のお願い

- 横材固定金具用の下穴は、フレーム取付穴位置治具を柱にあて位置を決めてください。
- フレーム取付穴位置治具の穴位置をよく確認してください。
- 高さ切り詰めする場合、中段の横材固定金具の取付位置は、上下段の金具の中間になる高さに取付けてください。
- 横材固定金具の向きに注意して取付けてください。

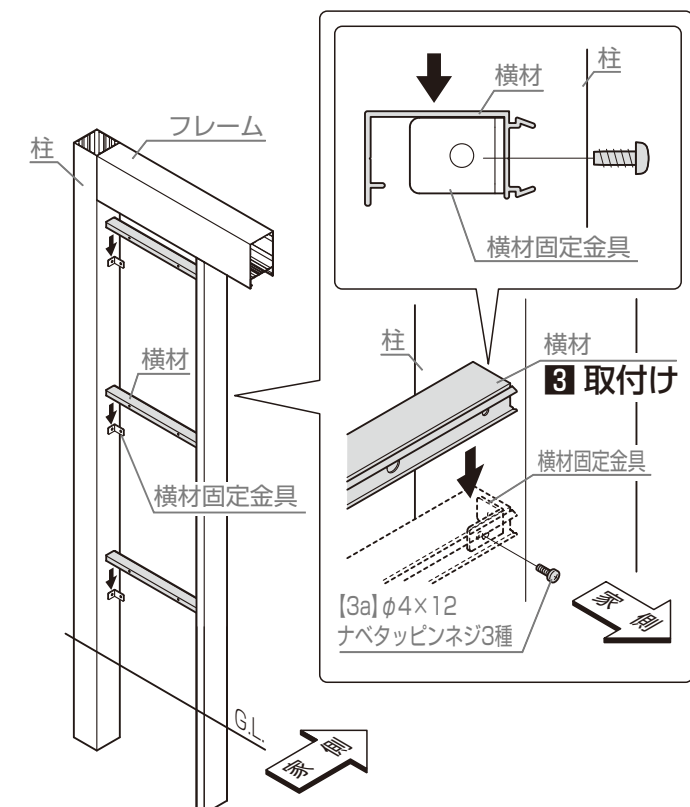
1: 柱と袖パネル端部柱の袖パネル取付け面にφ3.5の穴加工



2: 横材固定金具を柱、袖パネル端部柱に【3b】で取付け



3: 横材を横材固定金具に【3a】で取付け



施工上のお願い

- 横材の向きに注意して取付けてください。

6 井桁タイプの施工方法

6-5 袖パネル(井桁タイプ)の取付け(つづき)

【3】 袖パネル井桁タイプセット

名 称	略 図	員 数	
		H24	H29
【3b】φ4×13ナベドリルネジ		6	6

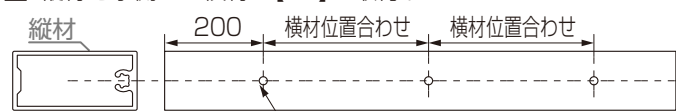
施工上のお願い

- 縦材の向きに注意して取付けてください。タッピングホール面が家側になります。
- 縦材の上端はフレームカバーに突き当ててください。
- 縦材の間隔(芯々)が200mmになっているか確認してください。
- 縦材のラッピング貼り合わせ面の向きを合わせて取り付けてください。

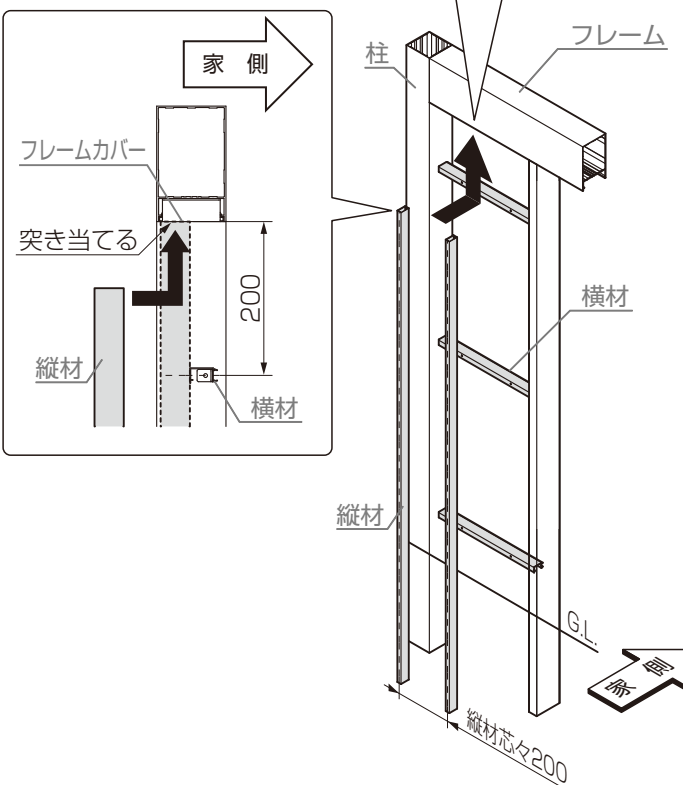
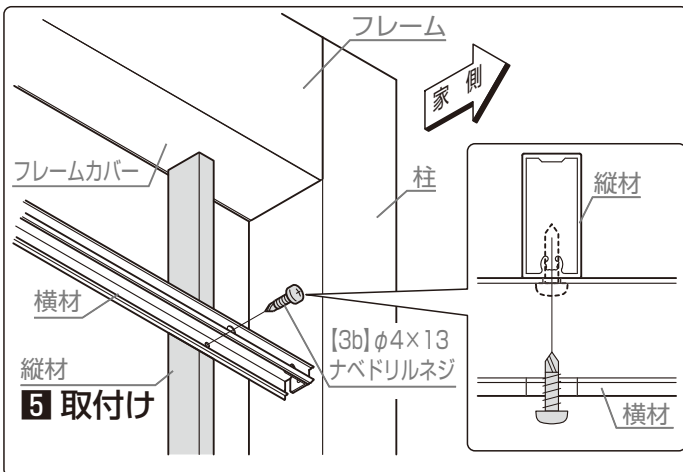


4: 縦材にφ3.5の穴加工

5: 縦材を家側から横材に【3b】で取付け



4 穴加工



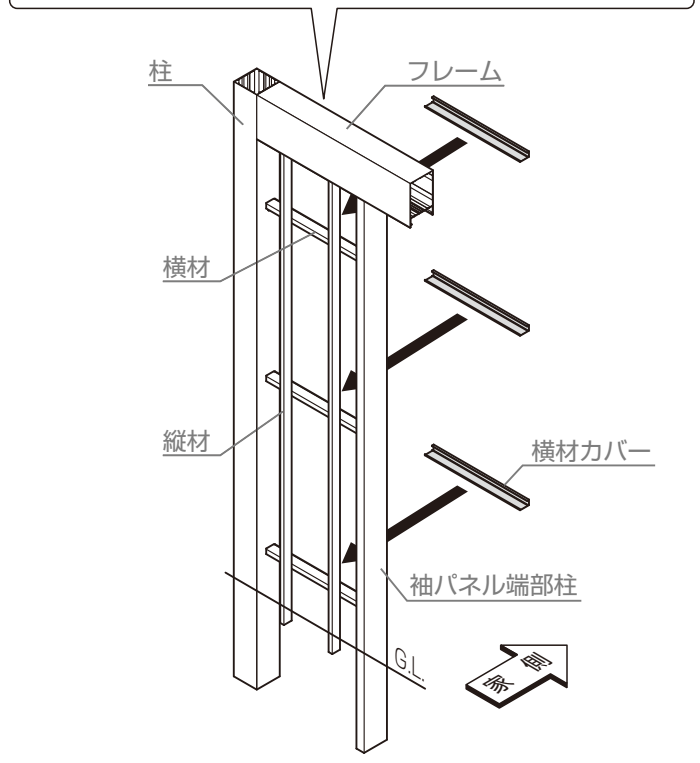
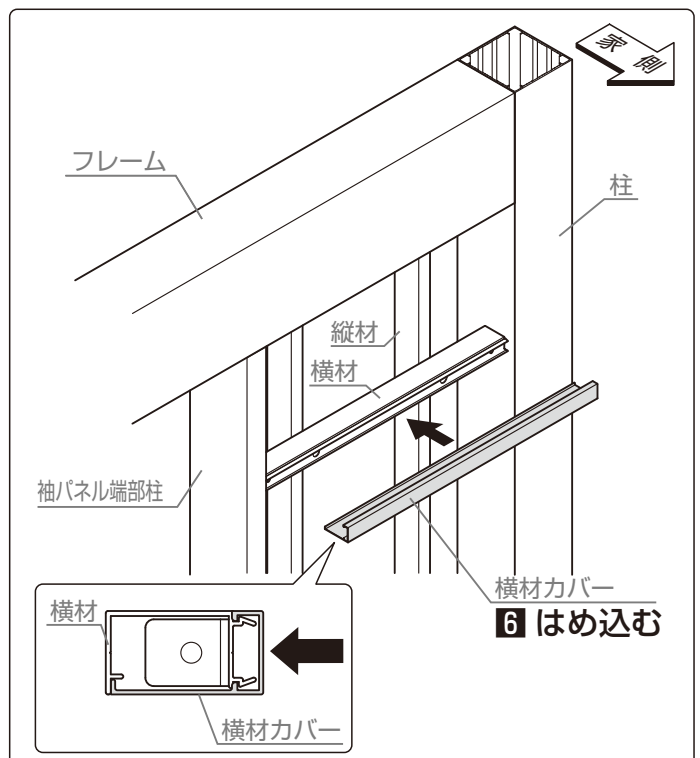
【3】 袖パネル井桁タイプセット

名 称	略 図	員 数	
		H24	H29
井桁タイプ 横材カバー		3	3

施工上のお願い

- 横材カバーは横材に対して水平にはめ込んでください。はまりにくい場合は、あて木をしてハンマーでたたいてはめ込んでください。

6: 横材カバーを横材に勘合ではめ込む



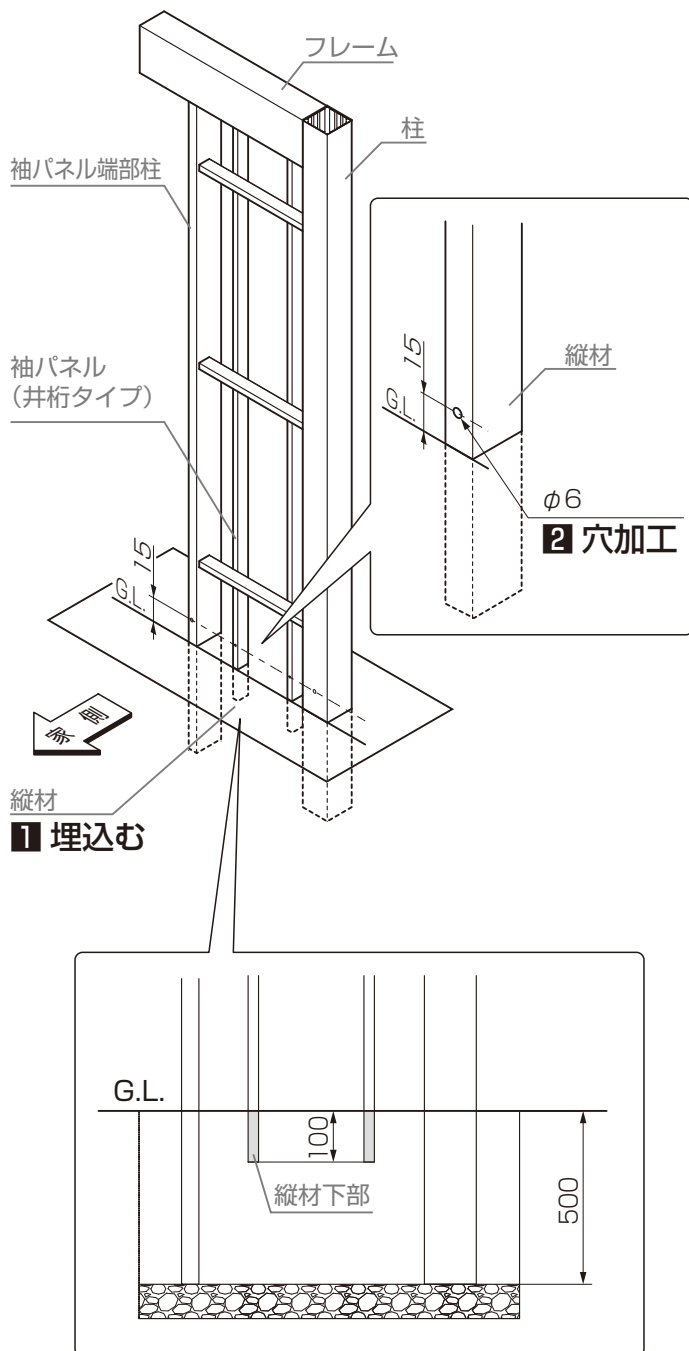
6 井桁タイプの施工方法

6-6 柱と袖パネルの埋込、水抜き穴の加工

⚠ 注意

●水抜き穴をあけないと、縦材が破損するおそれがあります。

- 1: G.L.位置に合わせて縦材の下部を埋込む
- 2: 縦材(2本)にφ6の水抜き穴加工



施工上のお願い

●続けて「8.仕上げ」を参照しフレームカバーなどの取付けをしてください。

6-7 ポスト(面付け)の取付け

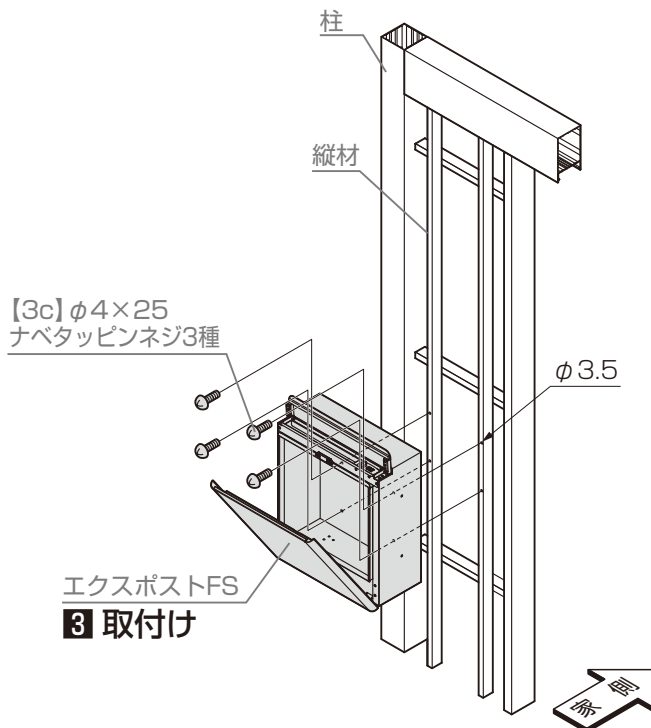
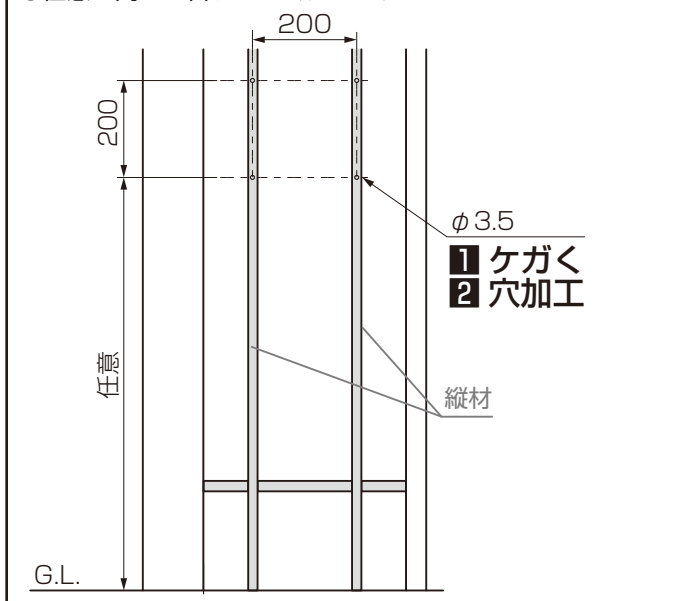
【3】 袖パネル井桁タイプセット

名 称	略 図	員 数	
		H24	H29
【3c】φ4×25ナベタッピンネジ3種	(+) 〰〰〰	4	4

- 1: 縦材にポスト取付穴の位置をケガく
- 2: 縦材にφ3.5の穴加工
- 3: ポスト本体を縦材に【3c】で取付け

施工上のお願い

●任意の高さに合わせてください。



施工上のお願い

●表札用ベースを取付ける場合は「表札用ベースの取付説明書」を参照してください。

7 ボードタイプの施工方法

7-1 施工の流れ

ボードタイプの
施工方法

●①～⑧はP.20「井桁タイプの施工方法」を参照してください。

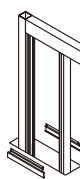
9 縦部材の取付け



P29～33

P34

10 巾木の取付け



P34

11 中骨の取付け



P36

12 ボードの取付け



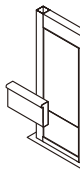
P41

13 柱と袖パネルの埋込、水抜き穴の加工



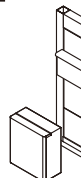
P40

14 表札用ベースの取付け



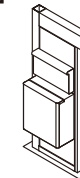
P39

15 ポスト(面付け)の取付け



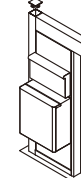
P39

16 フレームカバー(アーチ部)の取付



P42

17 柱キャップの取付



P42

※【オプション】
ポスト(埋込み)を取付ける場合

●①～⑧はP.20「井桁タイプの施工方法」を参照してください。
●⑨部材の加工については縦部材とボードの加工があります。

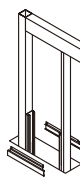
P29～33

9 縦部材(下)の取付け



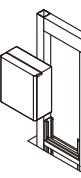
P34

10 巾木の取付け



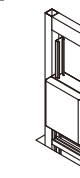
P34

11 ポストの取付け



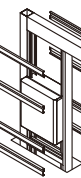
P35,36

12 縦部材(上)の取付け



P36

13 中骨の取付け



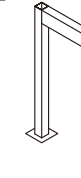
P38

14 ボードの取付け



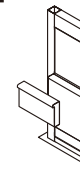
P40

15 柱と袖パネルの埋込、水抜き穴の加工



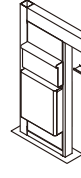
P41

16 表札用ベースの取付け



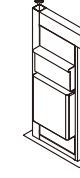
P39

17 フレームカバー(アーチ部)の取付



P42

18 柱キャップの取付



P42

7 ボードタイプの施工方法

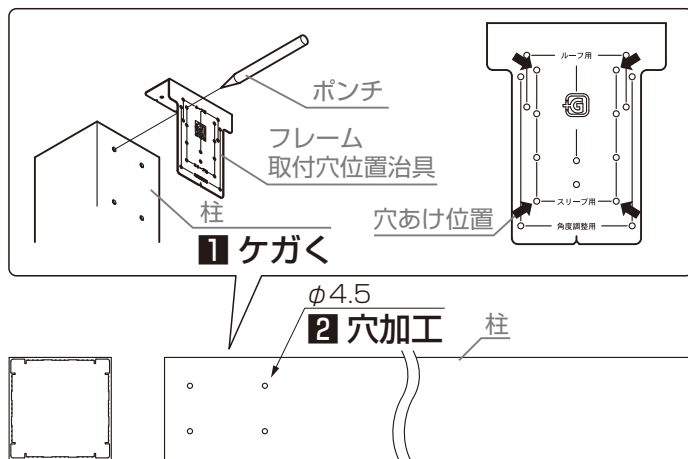
7-2 事前準備

7-2-1 柱の加工

- 1: フレーム取付穴位置治具で柱にケガく
- 2: 柱に $\phi 4.5$ の穴加工

施工上のお願い

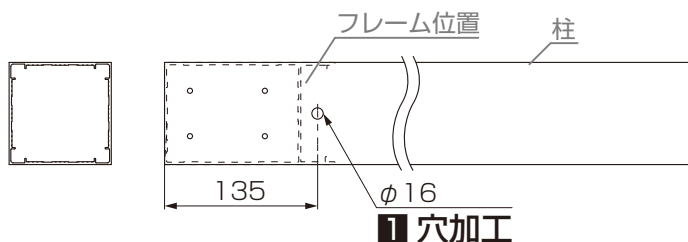
- フレーム取付穴位置治具の穴位置をよく確認してください。



■ダウンライト配線用穴の加工

※LEDダウンライトを取付ける場合の作業です。

- 1: 下記の図を参照して柱に $\phi 16$ の穴加工



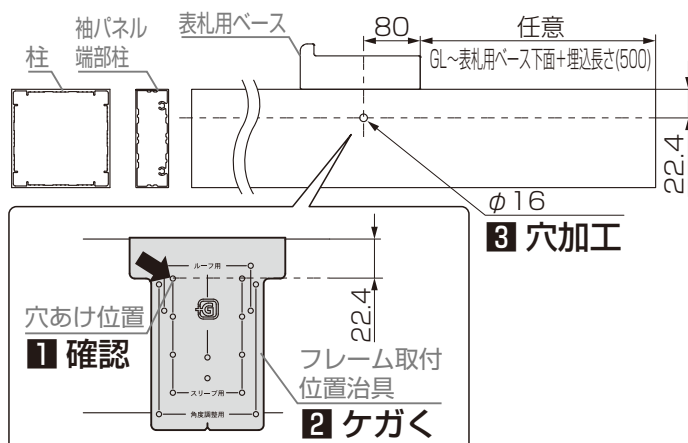
■表札用ベースの配線

※表札用ベースを取付ける場合の作業です。

- 1: 加工位置を確認
- 2: フレーム取付位置治具で柱にケガく
- 3: 柱または袖パネル端部柱に $\phi 16$ の穴加工

施工上のお願い

- 配線の種類・本数と配線を通す柱をよく確認してから加工を行ってください。
- フレーム取付位置治具の穴位置をよく確認してください。
- 柱と袖パネル端部柱の両方に穴加工を行う場合、穴加工の高さを合わせてください。



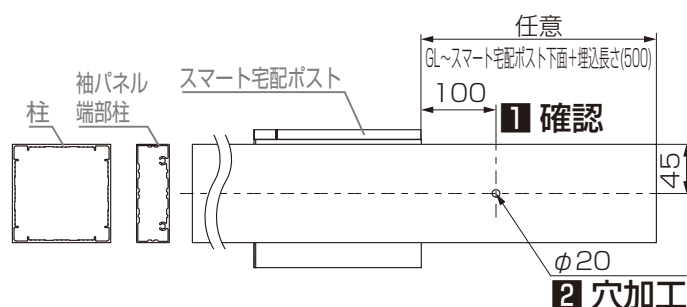
■スマート宅配ポスト用配線穴の加工

※スマート宅配ポストを取付ける場合の作業です。

- 1: 加工位置を確認
- 2: 柱または袖パネル端部柱に $\phi 20$ の穴加工

施工上のお願い

- 配線を通す柱をよく確認してから加工を行ってください。



7-2 事前準備 (つづき)

7-2-2 フレームの加工

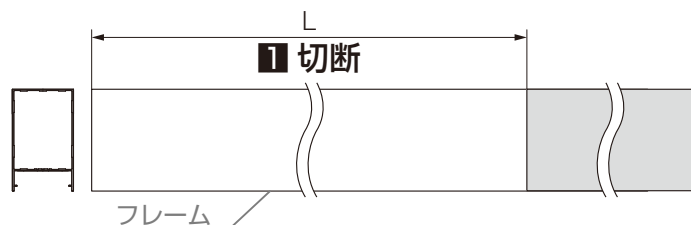
1: 下記表を参照してフレームを切断

施工上のお願い

- アーチファンクションの場合、フレームの切断は不要です。現場の納まりにより切断が必要な場合は任意の長さに切断してください。
- パネルファンクションの場合、袖パネルのスパンにより切断寸法が異なります。表に従ってL寸法を決定し切断してください。袖パネルが7スパンの場合は、フレームを切断する必要はありません。

切断寸法表

	1スパン	2スパン	3スパン	4スパン	5スパン	6スパン	7スパン
L	390	810	1230	1650	2070	2490	2910
	8スパン	9スパン	10スパン	11スパン	12スパン	13スパン	14スパン
L	3330	3750	4170	4590	5010	5430	5850

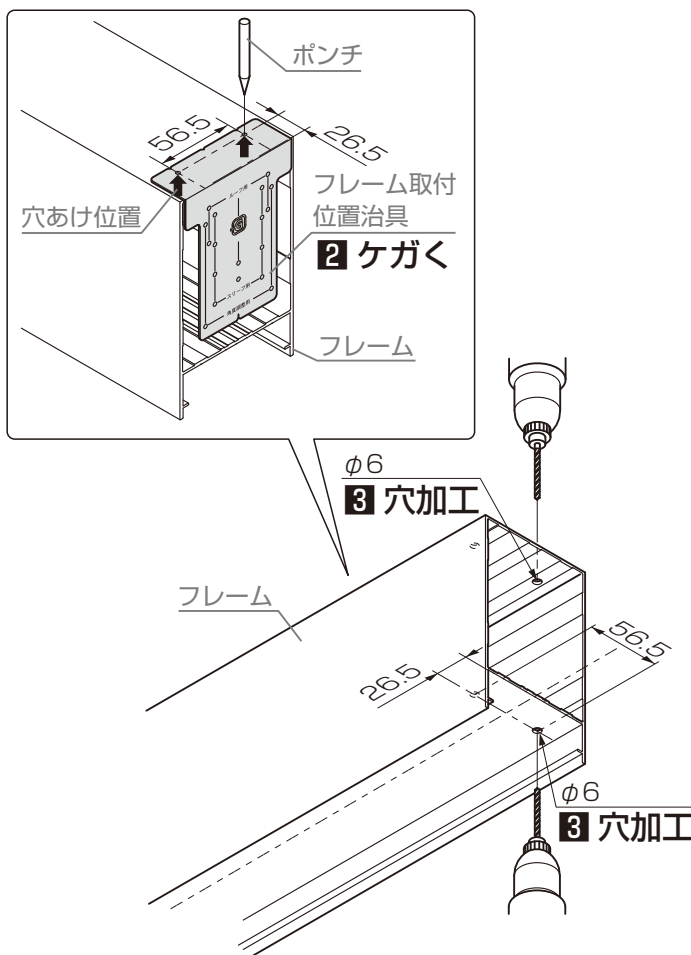


2: フレーム取付位置治具でフレームにケガく

3: フレームにφ6の穴加工

施工上のお願い

- フレーム取付位置治具の穴位置をよく確認してください。

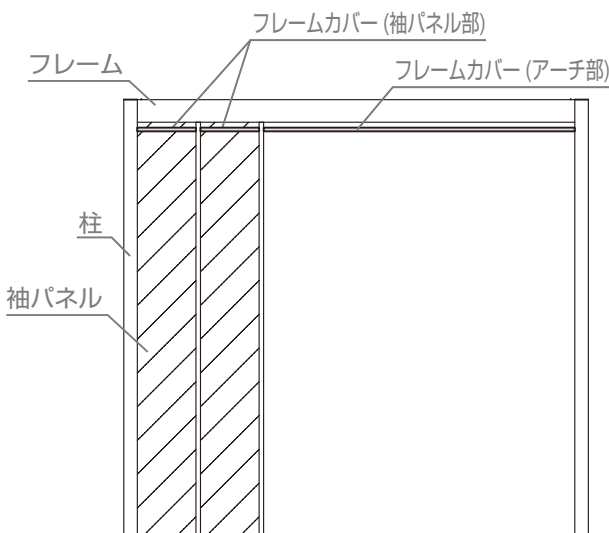


7-2-3 フレームカバーの加工

施工上のお願い

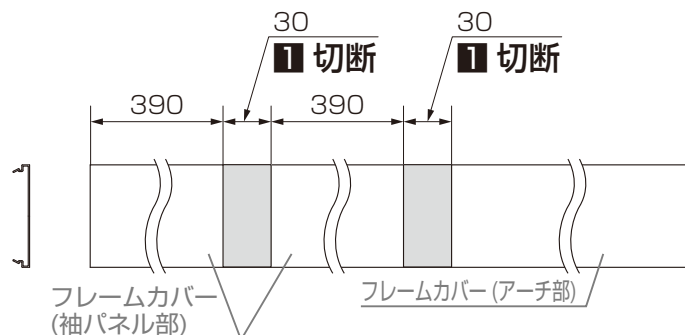
- フレームカバーの袖パネル端部柱を取付ける部分を切断してください。

切断寸法 L=袖パネル端部柱1ヶ所あたり30mm×取付本数



1: フレームカバー(袖パネル部)、フレームカバー(アーチ部)をそれぞれ必要寸法に切断

※図は袖パネル 井桁タイプ2スパン取付けの場合を示す。



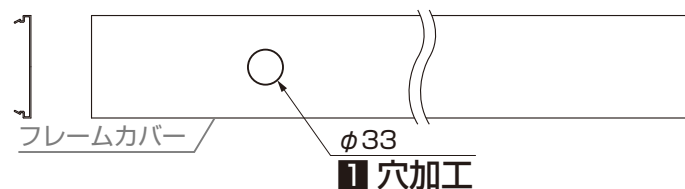
■ダウンライト配線用穴の加工

※LEDダウンライトを取付ける場合の作業です。

施工上のお願い

- LEDダウンライトはフレームカバー(アーチ部)にのみ取付けることができます。
- LEDダウンライト用孔は任意の位置に加工してください。
- LEDダウンライトの取付けは「LEDダウンライト取付説明書(Z536)」を参照してください。

1: フレームにφ33の穴加工



7 ボードタイプの施工方法

7-2 事前準備(つづき)

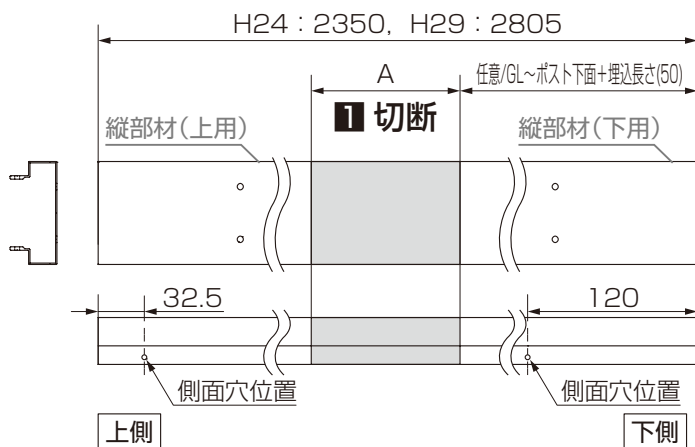
7-2-4 縦部材の加工

※ポスト(埋込み)を取付ける場合の作業です。

施工上のお願い

- 縦部材の上下は側面の穴位置で確認してください。
- 取付けるポストによって切断寸法Aが異なります。表を参照して切断寸法Aを確認してください。
- ポストの取付け高さを実測し、縦部材(上用)、縦部材(下用)を切断してください。

1: 縦部材をA寸法に切断



	切断寸法A
エクスポストFS	437
スマート宅配ポストTA	763

■スマート宅配ポスト用配線穴の加工

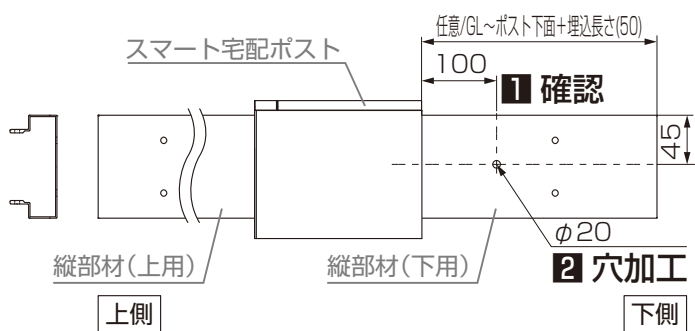
※スマート宅配ポストを取付ける場合の作業です。

1: 加工位置を確認

2: 配線を通す柱側に取付ける縦部材(下用)にφ20の穴加工

施工上のお願い

- 配線を通す柱をよく確認してから加工を行ってください。



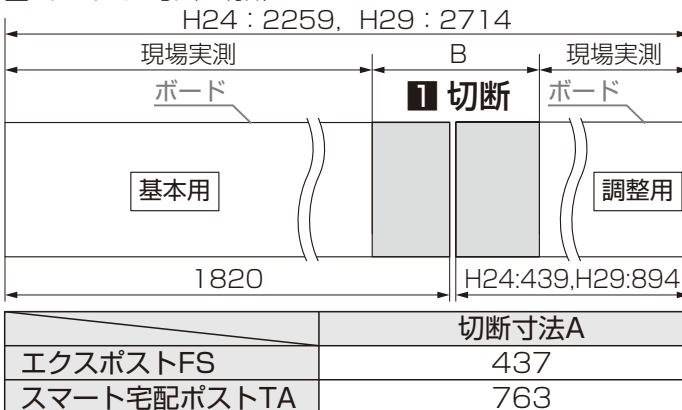
7-2-5 ボードの加工

※ポスト(埋込み)を取付ける場合の作業です。

施工上のお願い

- 切断面のバリを抑制するため、ボードは表面から刃を入れて切断してください。また、必要に応じて切断面をやすりなどで仕上げてください。
- 取付けるポストによって切断寸法Bが異なります。表を参照して切断寸法Bを確認してください。
- ポストの取付け高さを実測し、ボード(基本用)、ボード(調整用)を切断してください。

1: ボードをB寸法に切断

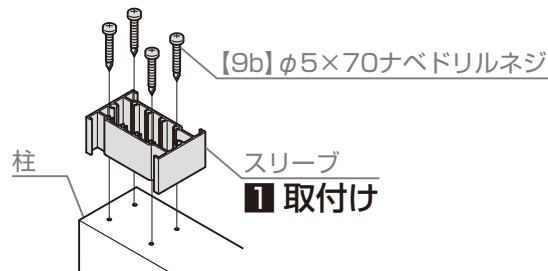


7-2-6 部品の取付け

【9】 フレーム標準90×150セット

名 称	略 図	員 数							
		標準 W10	標準 W15	標準 W20	標準 W30	標準 W40	標準 W50	標準 W55	標準 W60
【9b】φ5×70 ナベドリルネジ		10	10	10	10	10	10	10	10

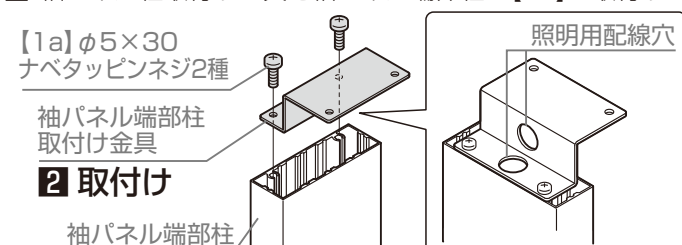
1: スリーブを柱に【9b】で取付け



【1】 袖パネル端部柱セット

名 称	略 図	員 数	
		H24	H29
袖パネル端部柱取付け金具		1	1
【1a】φ5×30ナベタッピンネジ2種		2	2

2: 袖パネル柱取付け金具を袖パネル端部柱に【1a】で取付け

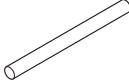


7 ボードタイプの施工方法

7-3 柱の建込み

7-3-1 柱の建込み準備

【1】袖パネル端部柱セット

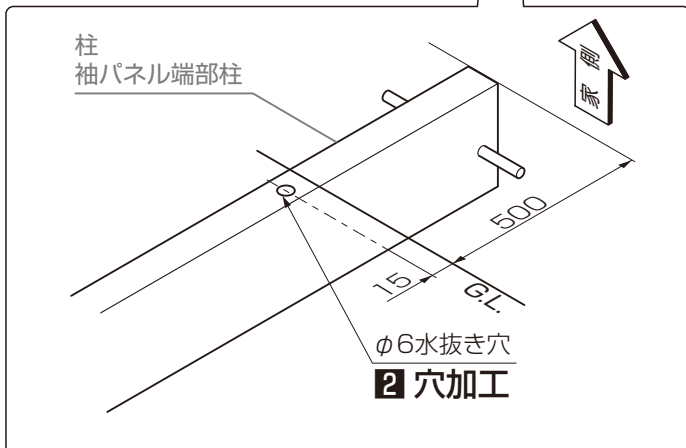
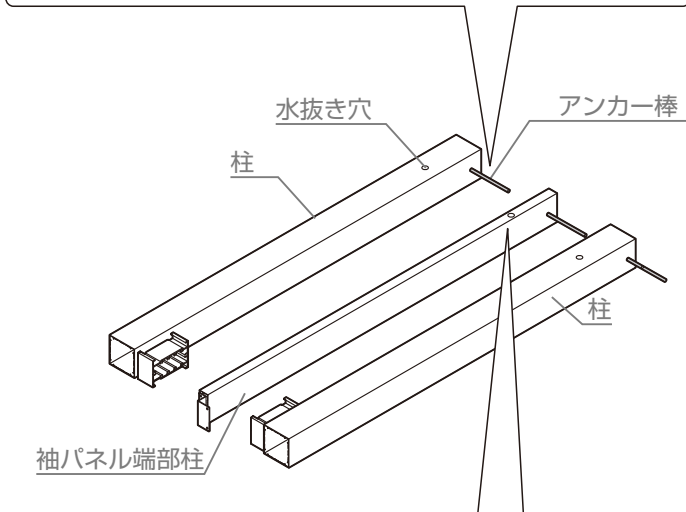
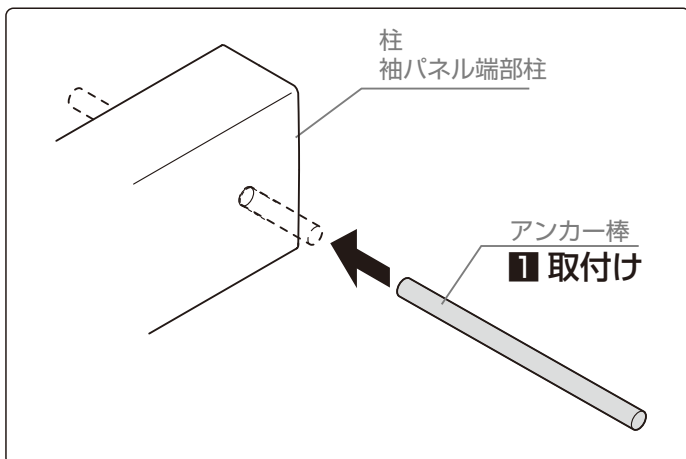
名 称	略 図	員 数	
		H24	H29
アンカー棒($\phi 8 \times 200$)		1	1

1: 柱、袖パネル端部柱にアンカー棒を取付け

2: 柱、袖パネル端部柱に $\phi 6$ の水抜き穴加工

⚠ 注意

●水抜き穴をあけないと、柱が破損するおそれがあります。



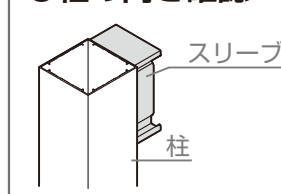
7-3-2 柱の建込み

1: 柱、袖パネル端部柱を建込む

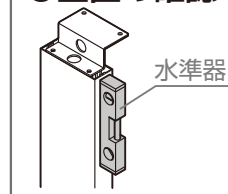
⚠ 注意

●基本寸法を確認して柱の向きとピッチ、垂直を確認してください。

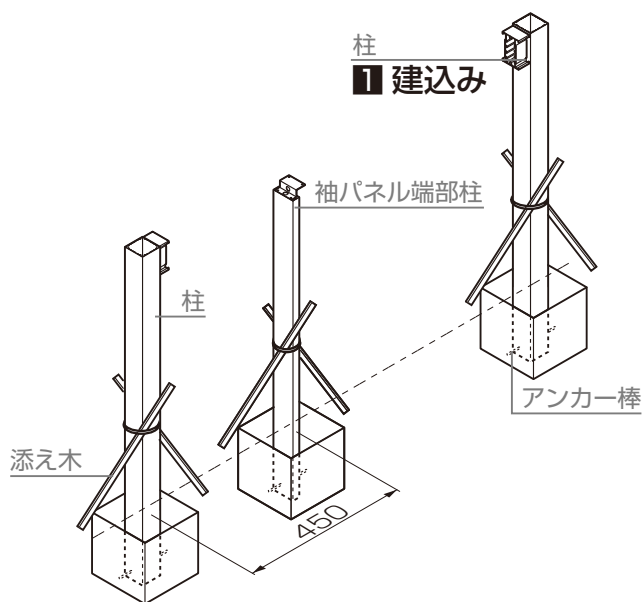
●柱の向き確認



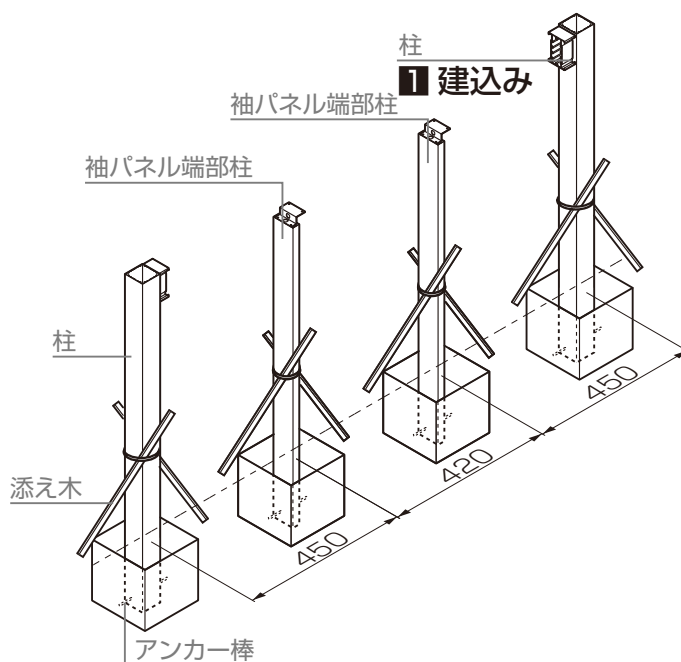
●垂直の確認



■アーチファンクション



■パネルファンクション



7-4 柱とフレームの取付け

【9】 フレーム標準90×150セット

名 称	略 図	員 数							
		標準 W10	標準 W15	標準 W20	標準 W30	標準 W40	標準 W50	標準 W55	標準 W60
【9a】φ5×16 ナベドリルネジ		12	12	12	12	12	12	12	12

1: フレームをスリーブに差込み

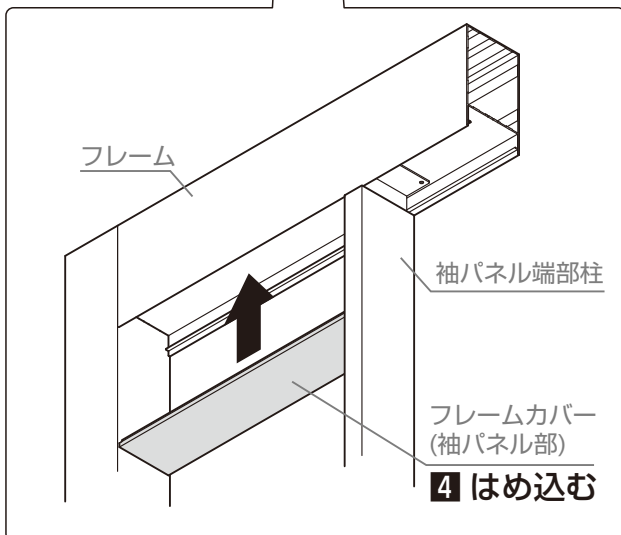
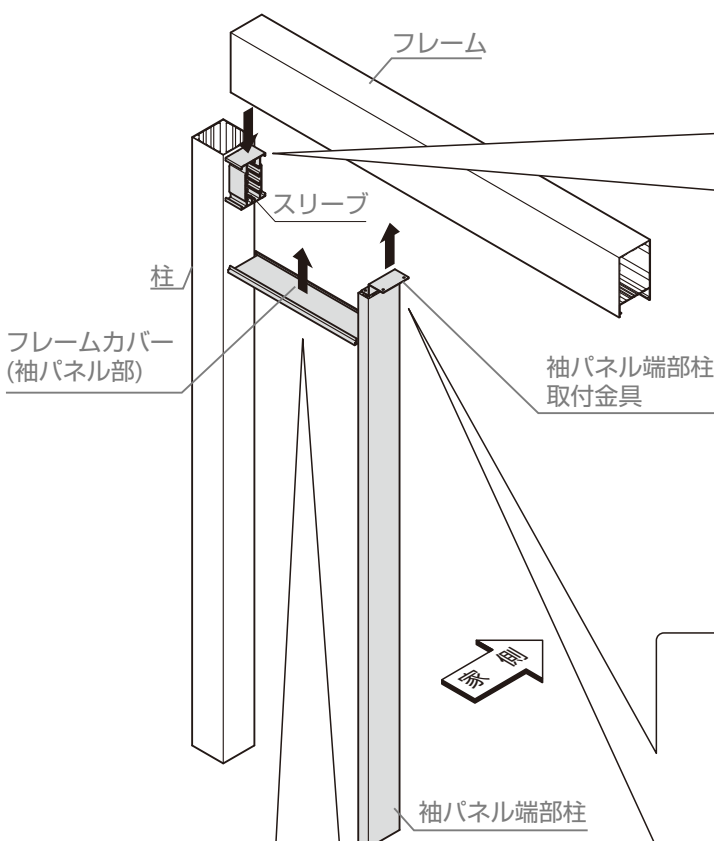
2: フレームをスリーブにフレーム取付金具と【9a】で取付け

【1】 袖パネル端部柱セット

名 称	略 図	員 数	
		H24	H29
【1b】φ5×16ナベドリルネジ		2	2

3: 袖パネル端部柱をフレームに【1b】で取付け

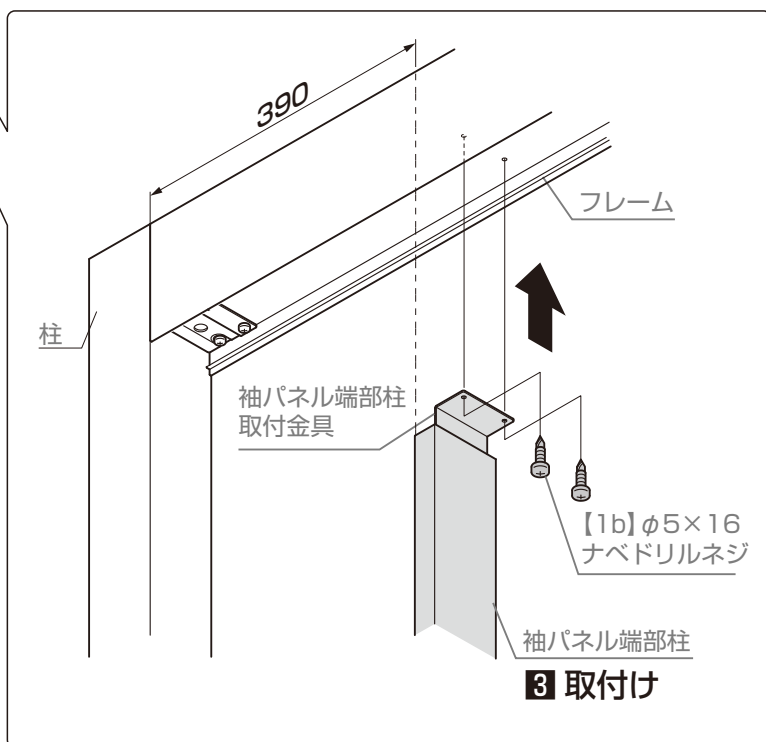
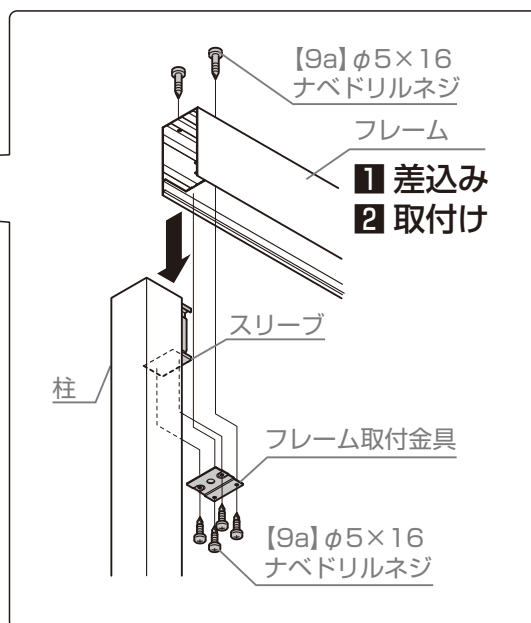
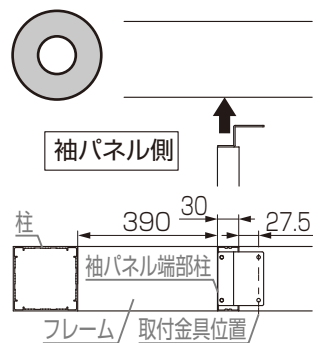
4: 390mmのフレームカバー(袖パネル部)をフレームの袖パネル取付け部にはめ込む



施工上のお願い

●柱と袖パネル端部柱間、または袖パネル端部柱間の内々寸法は、必ず390になるよう取付けてください。

●袖パネル端部柱取付金具は袖パネルが取り付けられない側に固定してください。尚、パネルファンクションなど袖パネル端部柱が連続して取り付けの場合は、袖パネル端部柱取付金具の向きを合わせて固定してください。



7 ボードタイプの施工方法

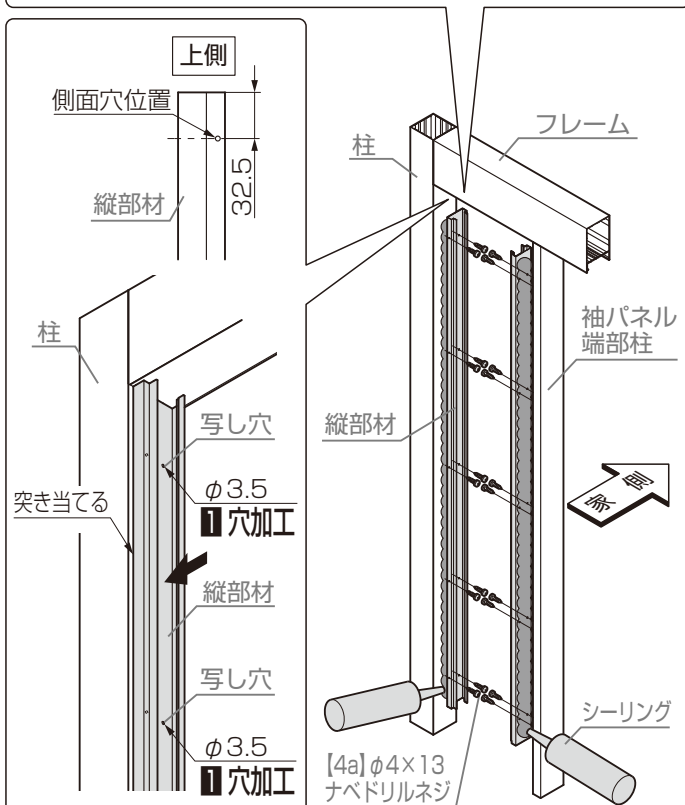
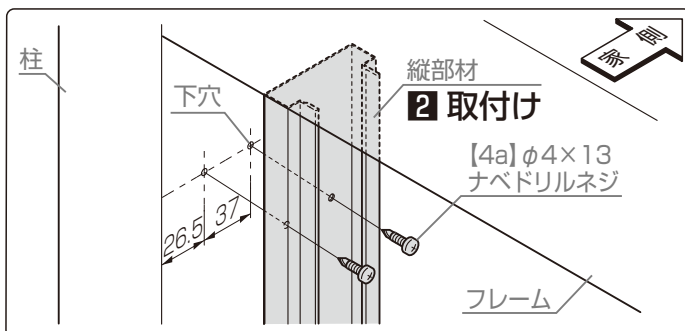
7-5 部材の取付け

【4】 袖パネルボードタイプ部材セット

名 称	略 図	員 数	
		H24	H29
ボード 縦部材		2	2
【4a】φ4×13ナベドリルネジ		36	40

①: 縦部材を柱、袖パネル端部柱に突き当ててφ3.5の写し穴加工

②: 縦部材を下穴に【4a】で取付け

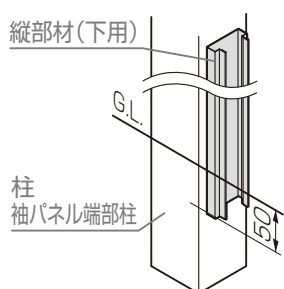


施工上のお願

- 仕上がり後の光漏れ防止のため縦材と柱の間にシーリングをしてから取付けてください。

ポスト（埋込み）を取付ける場合

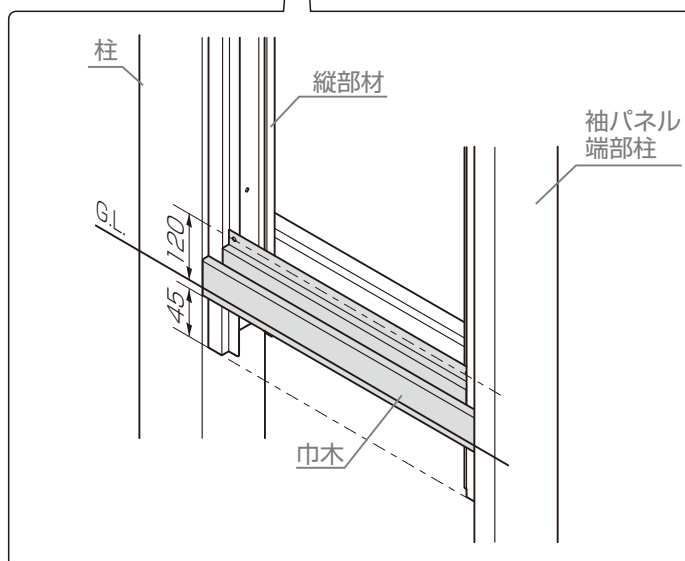
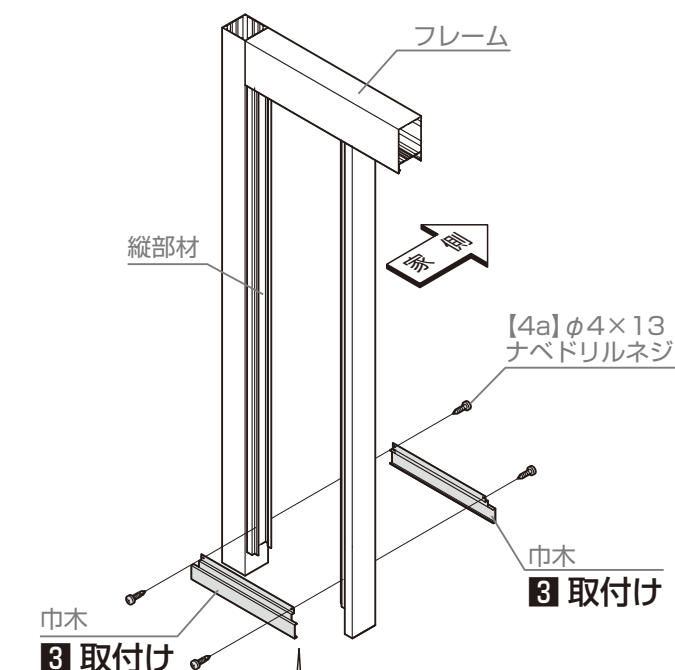
- ポスト（埋込み）を取付ける場合は、縦部材（下用）のみ取付けてください。
- 柱と縦部材（下用）のφ20の配線用穴加工の位置が合うように取付けてください。
- 縦部材（下用）の下端をG.L.下50mm位置に合わせて取付けてください。



【4】 袖パネルボードタイプ部材セット

名 称	略 図	員 数	
		H24	H29
ボード 巾木		2	2
【4a】φ4×13ナベドリルネジ		36	40

③: 巾木を縦部材に【4a】で取付け



7 ボードタイプの施工方法

7-6 ポスト(埋込み)の取付け

※ポスト(埋込み)を取付ける場合の作業です。

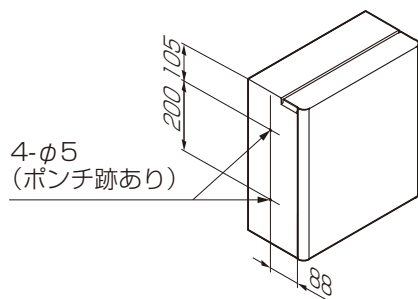
■エクスポストFS(埋込み)の場合

【4】 袖パネルボードタイプ部材セット

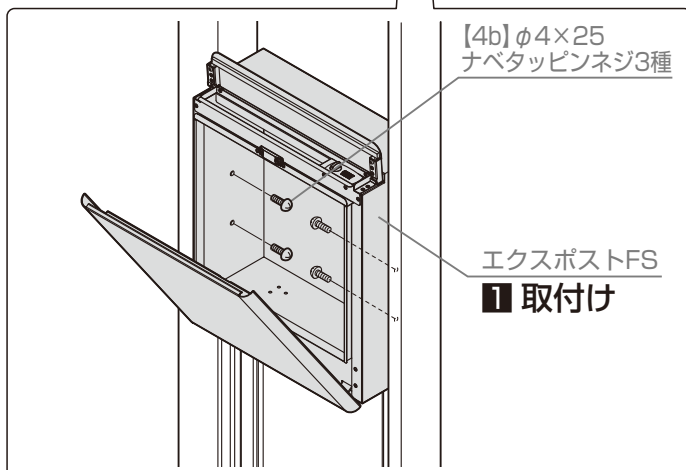
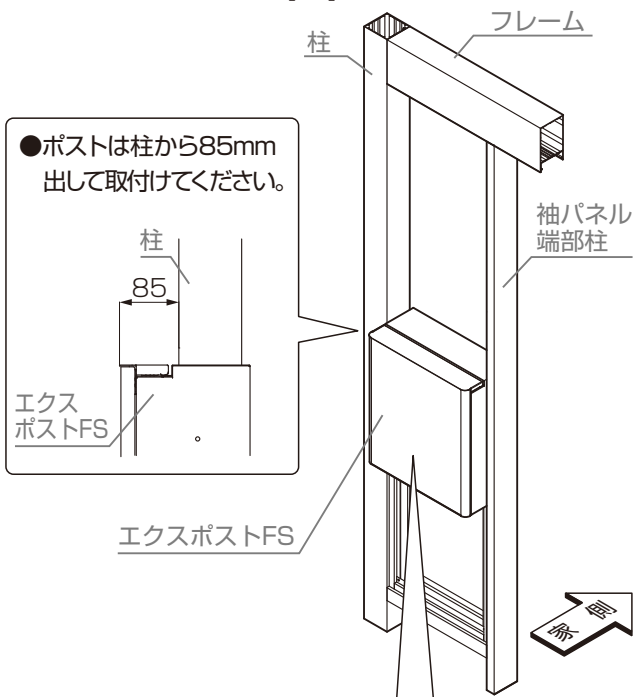
名 称	略 図	員 数	
		H24	H29
【4b】φ4×25ナベタッピンネジ3種		4	4

施工上のお願

- 電装ボックスにφ5の穴をあけてください。反対側も同様の穴加工をしてください。
- エクスポストFSを取付ける際は、キズを付けないようにゆっくり取付けてください。



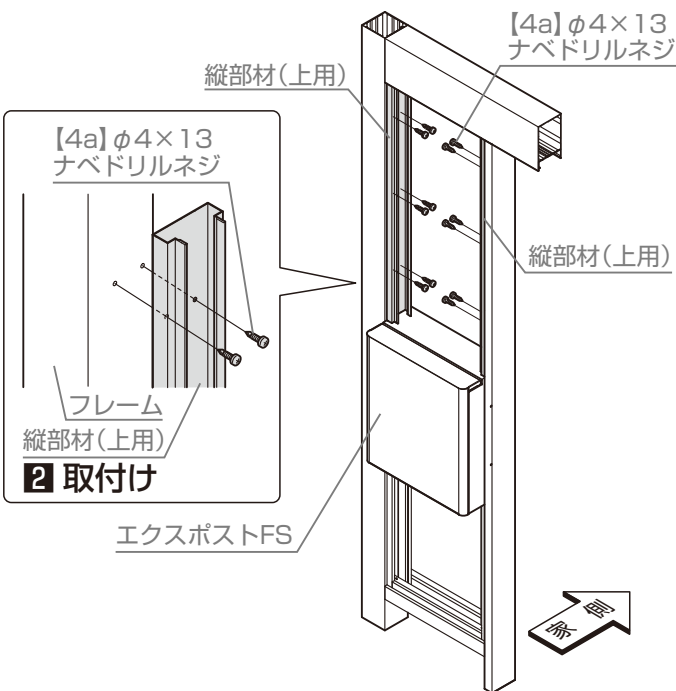
1: エクスポストFSを柱に【4b】で内側から取付け



【4】 袖パネルボードタイプ部材セット

名 称	略 図	員 数	
		H24	H29
【4a】φ4×13ナベドリルネジ		36	40

2: 縦部材(上用)の上部をフレームに【4a】で取付け



ボードタイプの
施工方法

7 ボードタイプの施工方法

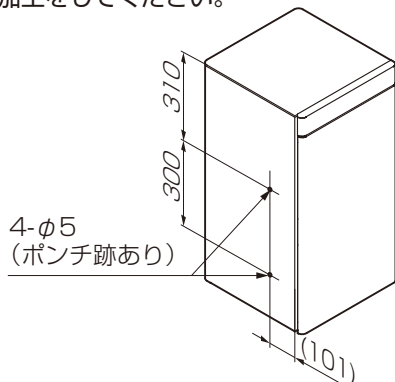
7-6 ポスト(埋込み)の取付け(つづき)

※ポスト(埋込み)を取付ける場合の作業です。

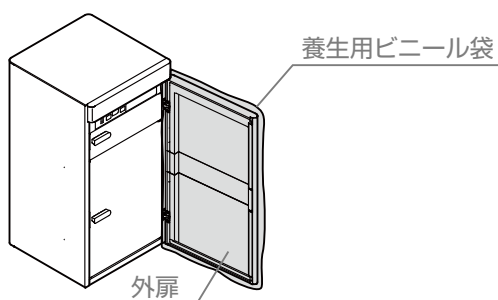
■スマート宅配ポスト(埋込み)の場合

施工上のお願い

- 電装ボックスにφ5の穴をあけてください。反対側も同様の穴加工をしてください。

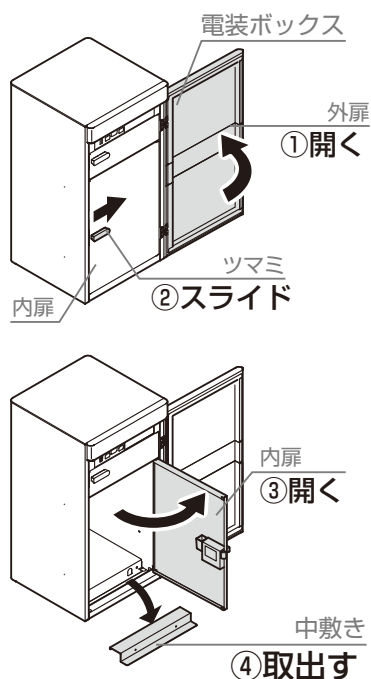


- スマート宅配ポストを取付ける際は、キズを付けないようにゆっくり取付けてください。
- 外扉に取付いている養生用のビニール袋は、施工完了まで外さないでください。



▼ 電装ボックス内配線のための準備 ▼

- 内扉を開いて中敷きを取出してください。
- 取外した中敷きは紛失しないようにしてください。



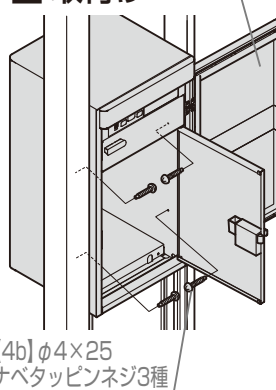
【4】袖パネルボードタイプ部材セット

名 称	略 図	員 数	
		H24	H29
【4a】φ4×13ナベドリルネジ	(+)➡	36	40
【4b】φ4×25ナベタッピンネジ3種	(+)➡	4	4

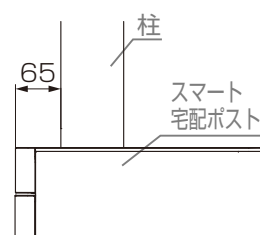
①: スマート宅配ポストを柱に【4b】で内側から取付け

スマート宅配ポスト

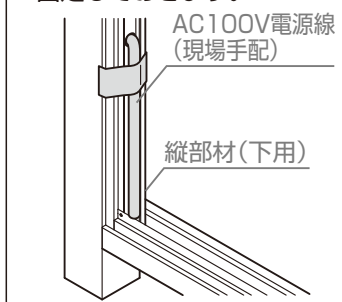
① 取付け



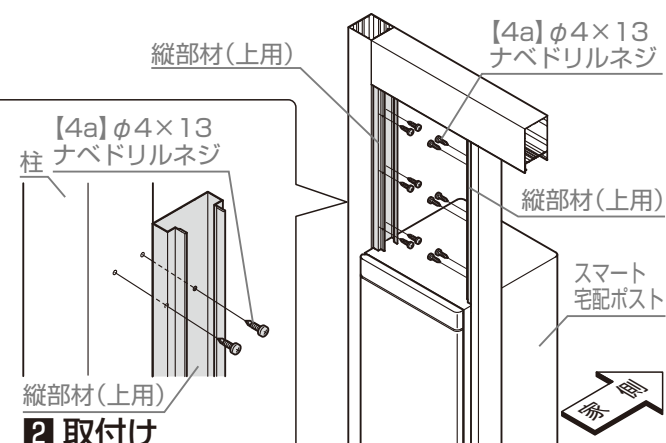
- ポストは柱から65mm出して取付けてください。



- 柱、縦部材にあけた穴から電源ケーブルを約500mm程度引き出し、テープで仮固定しておきます。



②: 縦部材(上用)の上部をフレームに【4a】で取付け



7 ボードタイプの施工方法

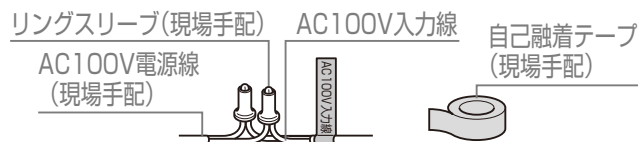
7-6 ポスト(埋込み)の取付け(つづき)

※ポスト(埋込み)を取付ける場合の作業です。

■スマート宅配ポスト(埋込み)の場合

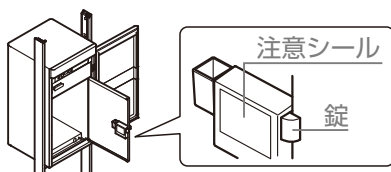
⚠ 警告

- DC12V接続コネクタを外し、AC100Vを接続しないでください。操作パネルやDC12V内蔵トランスの故障や火災の原因となります。
- 配線接続部はリングスリーブで確実にを行い、自己融着テープなどでテーピング処理を施してください。不完全な場合、絶縁不良による火災、感電の原因となります。



施工上のお願い

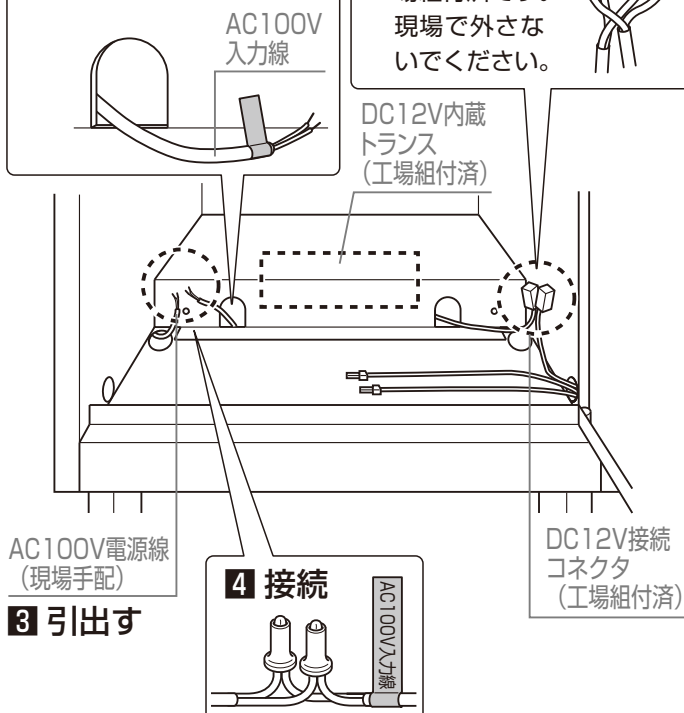
- 電源ケーブルは道路側から見て、左側から引き出してください。後の取付け作業がやりやすくなります。
- 電源ケーブルを接続した後もポストと宅配ボックスの内扉錠の注意シールは剥がさないでください。電源ケーブルの接続前と通電前に注意シールを剥がして内扉を閉めると、施錠されて開かなくなります。



- 3: 電源ケーブルを電装ボックスの下面から通し、電装ボックス内に引出す
- 4: 電源ケーブルとAC100V入力線を接続

- AC100V入力線の配線は奥の孔から出ています。

- DC12V接続コネクタは工場組付済です。現場で外さないでください。



施工上のお願い

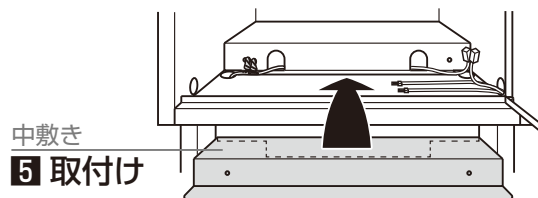
- 使用しない照明用出力線の先端を自己融着テープなどで防水テーピングしてください。



- 5: 中敷きを電装ボックスに取付け
- 6: 屋内「入切スイッチ」を「入」にして、電装ボックスに電源が入ったことを確認
- 7: 内扉の錠のシールを剥がす

⚠ 注意

- 配線をはさまないようにしてください。



操作パネル

6 確認

注意シール

7 剥がす

- 初期表示状態の操作パネルは、以下の表示が点灯します。



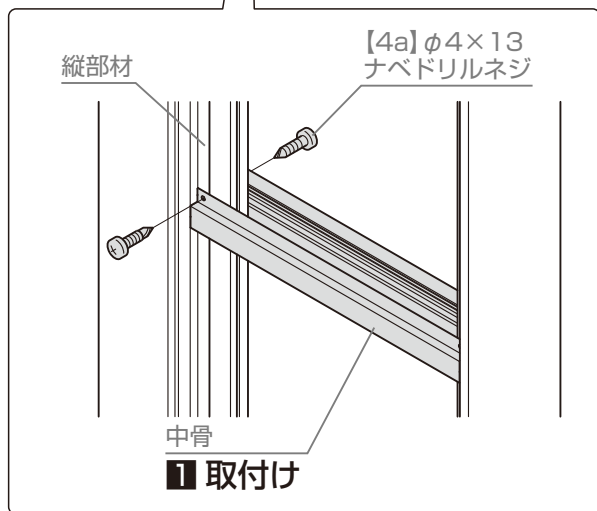
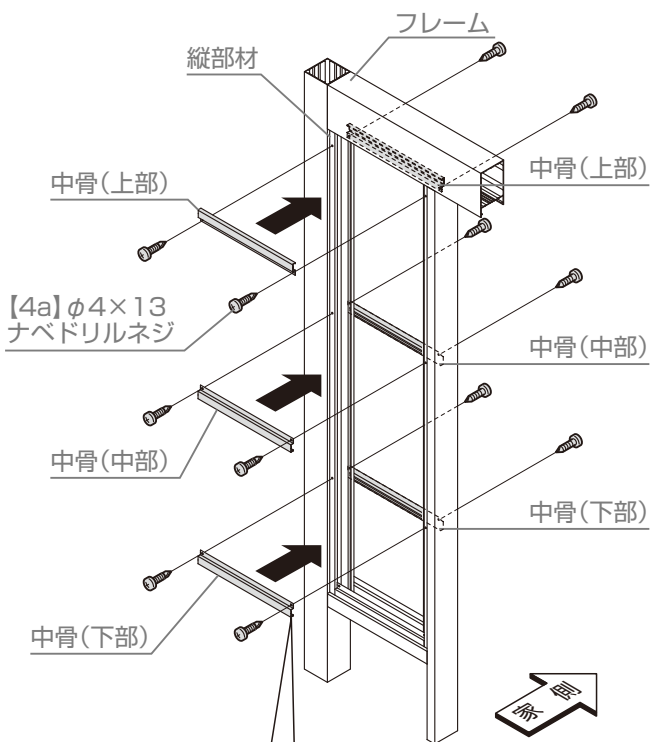
- 「開始」「扉」「施錠」が点灯

7-7 中骨の取付け

【4】 袖パネルボードタイプ部材セット

名 称	略 図	員 数	
		H24	H29
ボード 中骨		6	6
【4a】φ4×13ナベドリルネジ		36	40

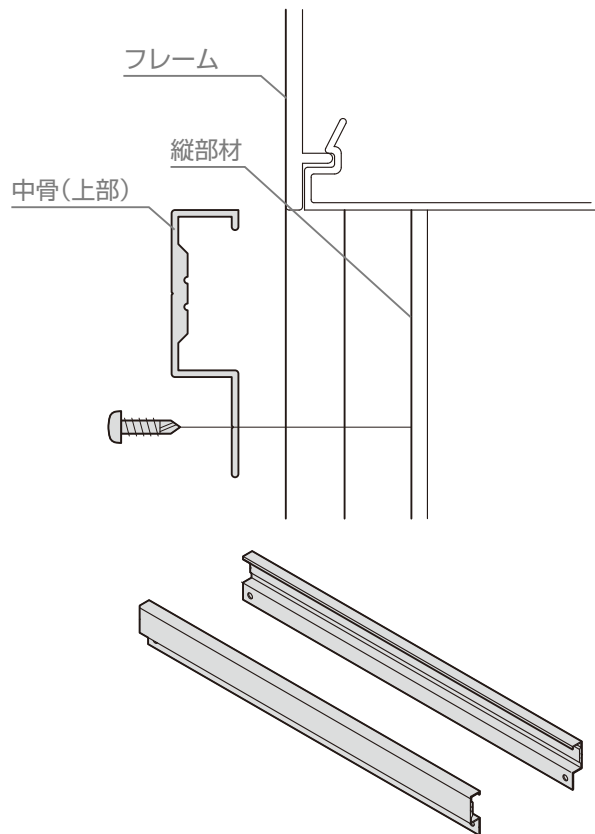
1: 中骨を縦部材に【4a】で取付け



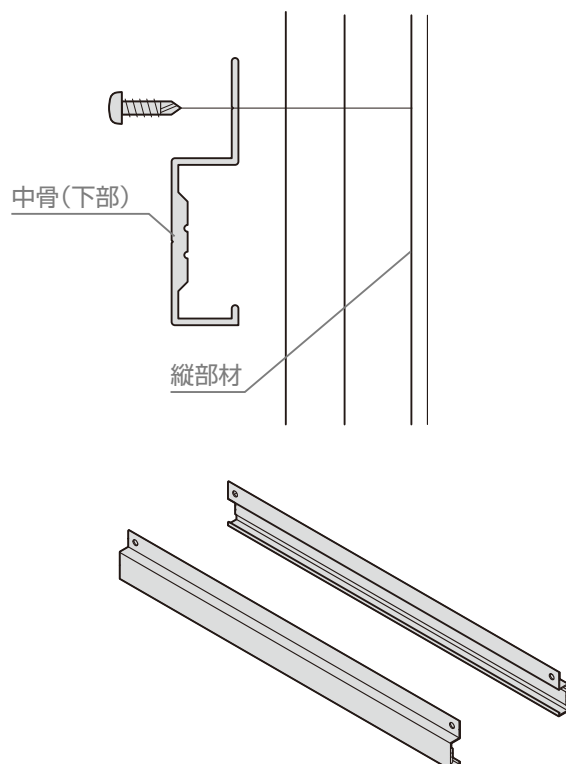
施工上のお願い

●上部の中骨は他の箇所と向きが異なります。よく確認し取り付けてください。

▼ 上部 ▼



▼ 中部、下部 ▼



7-7 中骨の取付け(つづき)

■ポスト(埋込み)の場合

【4】袖パネルボードタイプ部材セット

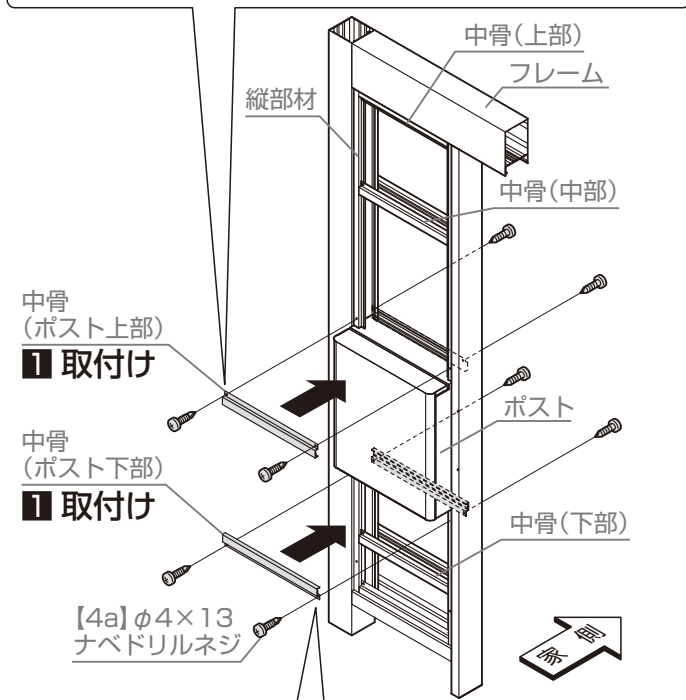
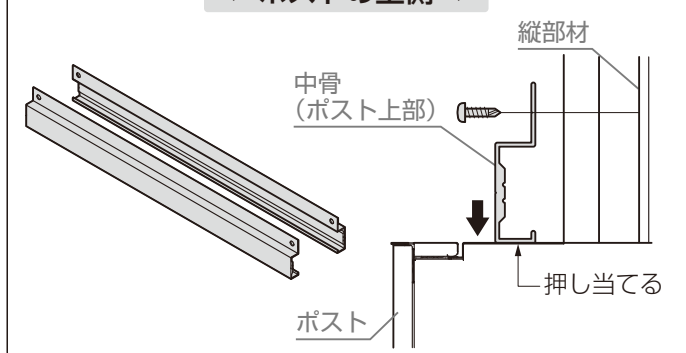
名 称	略 図	員 数	
		H24	H29
ボード 中骨		6	6
【4a】φ4×13ナベドリルネジ		36	40

1: 中骨を縦部材に【4a】で取付け

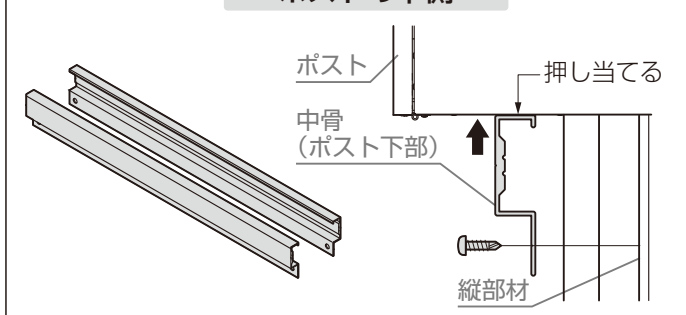
施工上のお願い

- 中骨の向きをよく確認して取り付けてください。
- 中骨はポストに押し当てて取付けてください。

▼ ポストの上側 ▼



▼ ポストの下側 ▼



■ポスト(面付け)、表札用ベースの場合

【5】袖パネルボード中骨セット

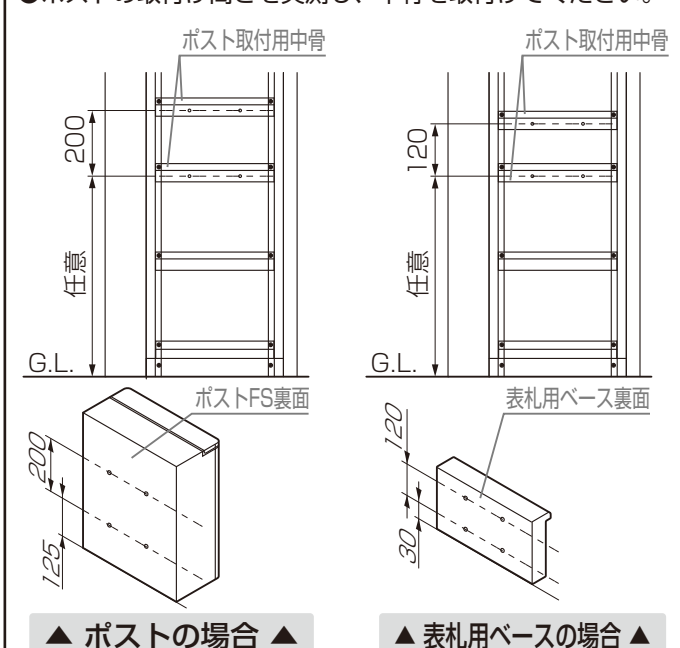
名 称	略 図	員 数
中骨		2
【5a】φ4×13ナベドリルネジ		4

1: ポスト、表札用ベース取付け用の中骨2本にφ3.5の穴加工

2: 中骨を縦部材の道路側に【5a】で取付け

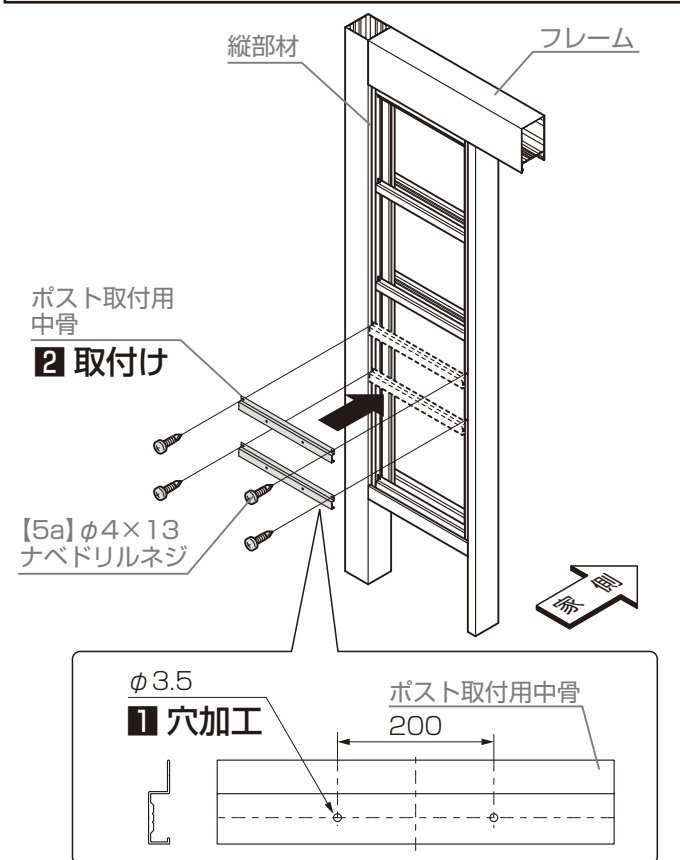
施工上のお願い

- ポストの取付け高さを実測し、中骨を取付けてください。



▲ ポストの場合 ▲

▲ 表札用ベースの場合 ▲



7-8 ボードの取付け

1:両面テープを縦部材、中骨、巾木に貼付け

施工上のお願い

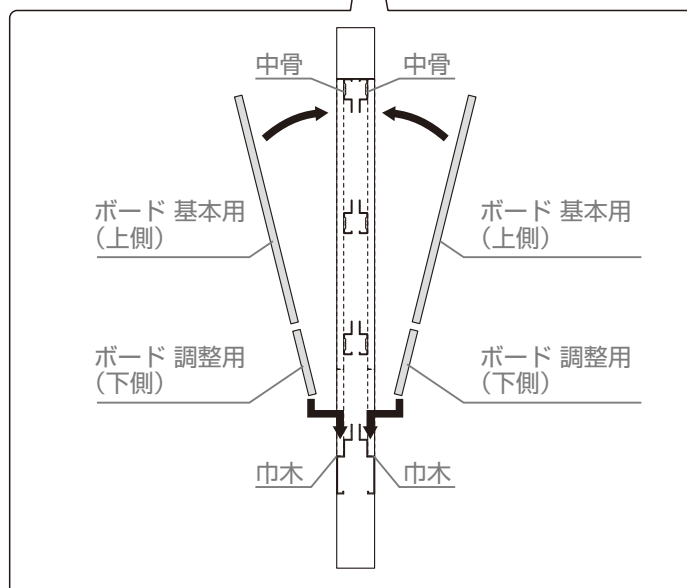
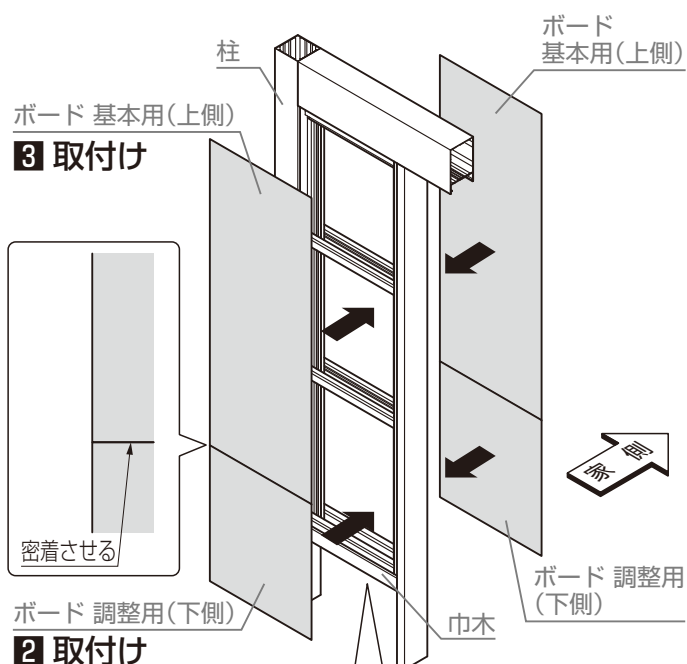
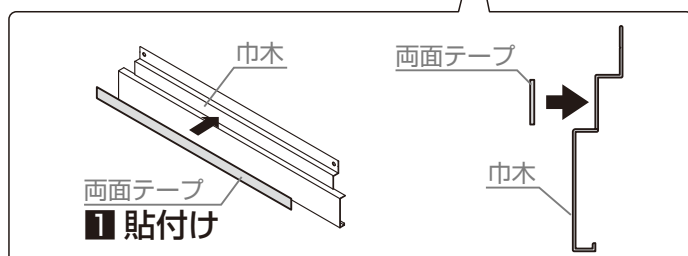
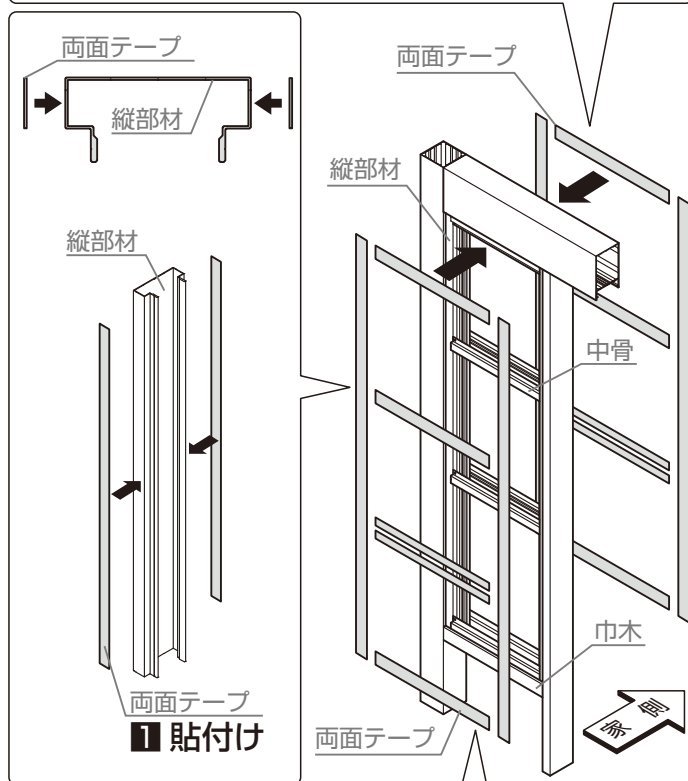
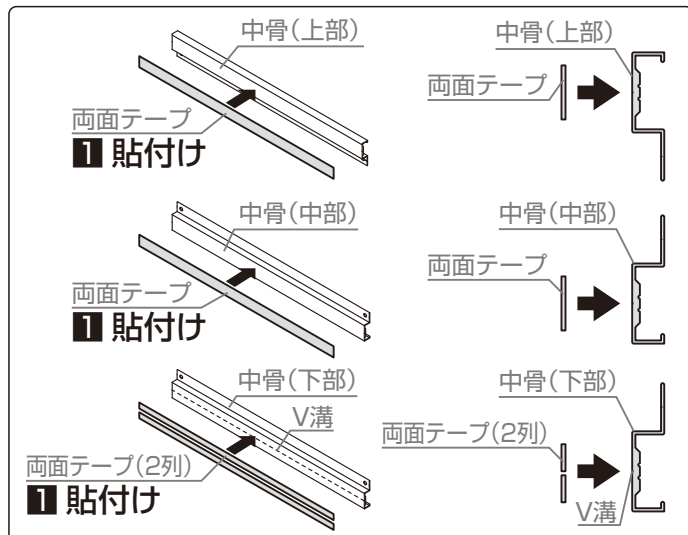
- 両面テープを貼る時は、ゆっくり貼ってください。急いで貼ると両面テープが伸びて使用できなくなります。
- 両面テープ貼付けの際は部材表面の汚れ、水分などを除去の上で貼付けてください。
- 両面テープを貼付け後は一度指で圧着してからボードを貼付けてください。
- 中骨(下部)にはV溝を挟んで2列で両面テープを貼付けてください。

2:ボード 調整用(下側)を取付け

3:ボード 基本用(上側)を取付け

施工上のお願い

- ボード調整用は巾木に乗せてから上に向かって貼ってください。
- 切断したボードを貼付ける場合、切断面が端部(継ぎ目でない)側になるように貼ってください。
- ボードを両面テープに十分な力(5kg/cm²)で圧着させてください。ボードを圧着させないと脱落するおそれがあります。
- ボード調整用とボード基本用は隙間がないように取付けてください。



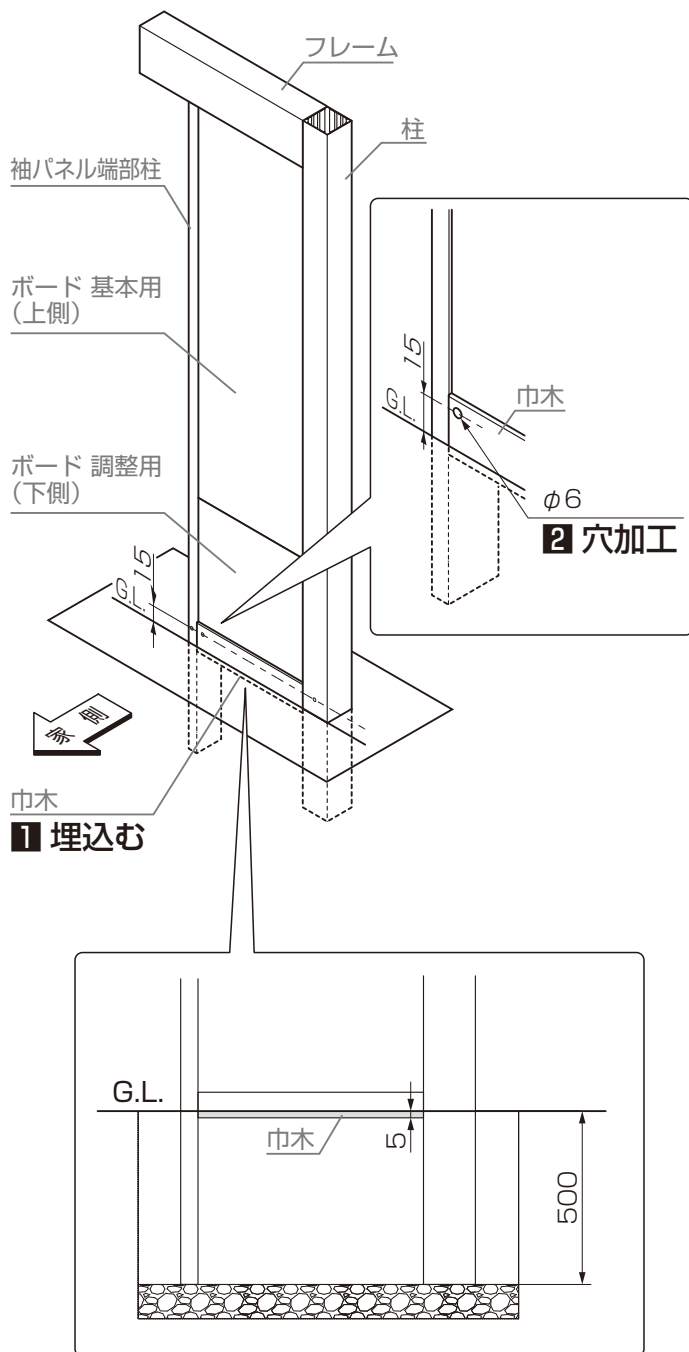
7 ボードタイプの施工方法

7-9 柱と袖パネルの埋込、水抜き穴の加工

⚠ 注意

●水抜き穴をあけないと、巾木やボードの故障や水漏れ、腐食の原因になるおそれがあります。

- 1: G.L.位置に合わせて巾木の下部を埋込む
- 2: 巾木にφ6の水抜き穴加工



施工上のお願い

●続けて「8.仕上げ」を参照しフレームカバーなどの取付けをしてください。

7-10 ポスト(面付け)の取付け

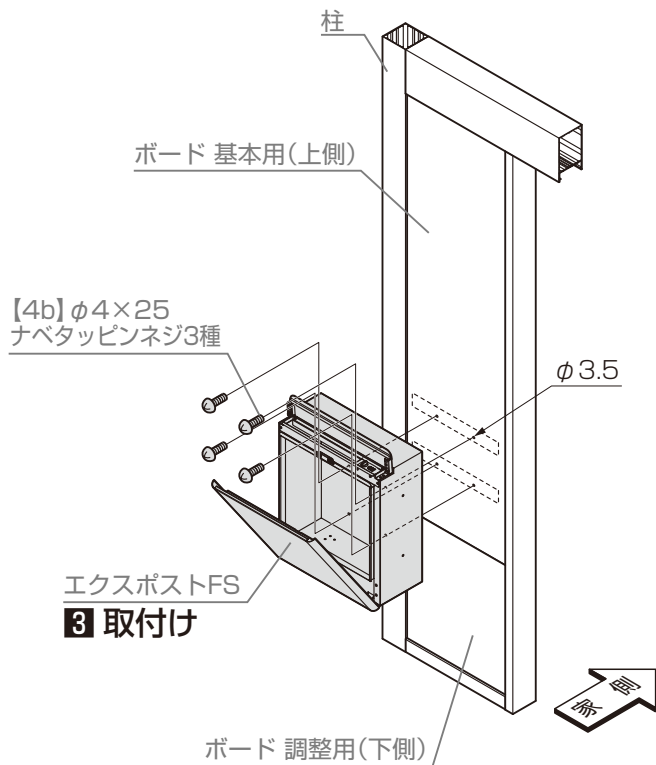
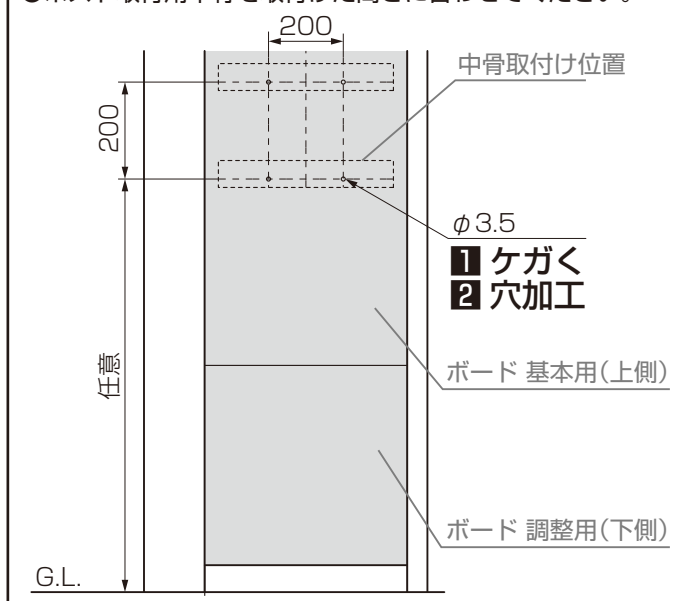
【4】袖パネルボードタイプ部材セット

名 称	略 図	員 数	
		H24	H29
【4b】φ4×25ナベタッピンネジ3種	(+) 〰〰〰〰	4	4

- 1: ボードにポスト取付穴の位置をケガく
- 2: ボードにφ3.5の穴加工
- 3: ポスト本体をボードに【4b】で取付け

施工上のお願い

●ポスト取付用中骨を取付けた高さに合わせてください。



施工上のお願い

●表札用ベースを取付ける場合は「表札用ベースの取付説明書」を参照してください。

8 仕上げ

8-1 柱キャップ、フレームカバーの取付け、シーリング

※パネルファンクションの場合、フレームカバー（アーチ部）の取付けはありません。

※図は格子タイプです。

- 1: フレームカバー（アーチ部）をフレームのアーチ部にはめ込む
- 2: 柱キャップを柱に取付け
- 3: 柱とフレームの接合部、ネジ周りにシーリング

施工上のお願い

●LEDダウンライトを取付ける場合は「LEDダウンライト取付説明書（Z536）」を参照してください。

